

令和6年度 文部科学省
専修学校の国際化推進事業

九州地域での留学生受入強化および
就職・定着促進のための体制モデル構築事業

事業報告書

令和7年3月
学校法人九州総合学院

目次

1. 事業概要	5
1.1. 事業の趣旨・目的	5
1.2. 事業背景	5
1.2.1. 九州における行政の方針と地域の産業	5
1.2.2. 九州における人材不足	7
1.2.3. 九州における留学生への期待	8
1.3. 今年度事業の取組概要	8
1.3.1. 会議の開催実績	8
1.3.2. 調査実績	11
1.3.3. 体制整備【①入学前の留学希望者等に対する取り組み】	11
1.3.4. 体制整備【②在学中の教育指導に関する取り組み】	12
2. 調査報告	13
2.1. 専門学校アンケート調査	13
2.1.1. 調査概要	13
2.1.2. 調査結果（IT・情報分野の学科を持つ専門学校）	14
2.1.3. 調査結果（自動車整備分野の学科を持つ専門学校）	27
2.1.4. 調査結果（介護分野の学科を持つ専門学校）	40
2.1.5. 調査結果のまとめ	55
2.2. 企業対象ヒアリング調査	59
2.2.1. 調査概要	59
2.2.2. 調査結果（IT・情報分野）	59
2.2.3. 調査結果（自動車整備分野）	62
2.2.4. 調査結果（介護分野）	63
2.3. 就職・定着に向けた取り組み事例調査	66
2.3.1. 調査概要	66
2.3.2. 調査結果（IT・情報分野）	66
3. 体制整備【①入学前の留学希望者等に対する取り組み】	68
3.1. 多言語パンフレットの制作	68
3.2. 留学生インタビュー動画の制作	71
3.3. 海外日本語教育機関との連携	72
3.4. SNSの運用	72
4. 体制整備【②在学中の教育指導に関する取り組み】	75
4.1. ITキャリア教材の実証	75

4.2. IT および自動車整備キャリア教材の改訂.....	77
4.3. 介護キャリア教材の試作.....	78
付録.....	81

実施委員会の構成

組織名	役割等	都道府県
学校法人九州総合学院	事業統括	熊本県 鹿児島県 長崎県
学校法人宮崎総合学院	調査・開発・実証・ 評価	宮崎県
鹿児島情報ビジネス公務員専門学校	調査・開発・実証・ 評価	鹿児島県
九州工科自動車専門学校	調査・開発・実証・ 評価	熊本県
宮崎福祉医療カレッジ	調査・開発・実証・ 評価	宮崎県
宮崎情報ビジネス専門学校	調査・開発・評価	宮崎県
西鉄自動車整備専門学校	調査・開発・評価	福岡県
琉球大学	調査・開発・評価	沖縄県
五島日本語学校	調査・開発・評価	長崎県
T-Under	調査・開発・評価	ベトナム ハノイ
(一社)鹿児島県専修学校協会	評価	鹿児島県
(一社)熊本県専修学校各種学校連合会	評価	熊本県
(一社)宮崎県専修学校各種学校連合会	評価	宮崎県
(一社)鹿児島県情報サービス産業協会	調査・実証・評価	鹿児島県
(一社)熊本県自動車整備振興会	調査・実証・評価	熊本県
(福)つよし会	調査・実証・評価	宮崎県
(特非)鹿児島インフアーメーション	調査・実証・評価	鹿児島県
(特非)みやざき国際サポートセンター	評価	宮崎県
(一財)日本教育基盤財団	開発・実証・評価	東京都
(一財)日本検定基盤財団	事業統括支援 調査・開発・実証・ 評価	東京都
(株)フォーエバー	評価	鹿児島県
熊本日野自動車(株)	評価	熊本県
(株)VIT JAPAN	調査・開発・実証・ 評価	ベトナム ホーチミン
鹿児島県総務部学事法制課	評価	鹿児島県
宮崎県総合政策部みやざき文化振興課	評価	宮崎県

1. 事業概要

1.1. 事業の趣旨・目的

九州では地理的優位性を活かし「アジアのゲートウェイとして持続的な発展を目指す」ための地方成長産業戦略をとりまとめており、「先端技術・ビッグデータ」の活用や「次世代自動車」「医療・福祉機器・サービス」などが挙げられている。鹿児島県や宮崎県はIT、熊本県は自動車産業に注力しているほか、九州全体で介護・ヘルスケア産業の振興を図ろうとしている。

今後も九州で継続的に当該産業が発展していくためには、IT エンジニアや自動車整備士、介護士といった人材が不可欠だが、日本全体でこのような人材が不足している現状がある。これに対し、これらの分野は留学生に人気があり、専門学校による受け入れと教育が進んでおり、多くの元留学生が既に地域の企業や産業に貢献している実績もある。

今後、九州の産業人材ニーズに応えるために、専門学校は留学生への教育にも注力し、質の高い教育と就職支援を提供することが重要であり、そのための仕組みを構築する必要がある。

この事業では、九州の IT・情報分野、自動車整備分野、介護分野の専門学校で留学生を「入学前」「在学中」「就職・定着」の各段階で支援する体制を産学官の連携により構築し、ベトナム、ネパール、インドをターゲット国として支援体制のモデル化を目指す。

1.2. 事業背景

1.2.1. 九州における行政の方針と地域の産業

九州・沖縄地域の知事と経営者による九州・沖縄地方産業競争力協議会は令和3年3月、地理的なアドバンテージを活かし「アジアのゲートウェイとして持続的な発展を目指す」ための地方成長産業戦略を取りまとめた。その中では、「先端技術・ビッグデータ」の活用や「次世代自動車」「医療・福祉機器・サービス」などが挙げられている。

(1) 鹿児島県・宮崎県における IT 産業

近年、様々な地方自治体が新たな産業として IT の振興に注力する例が増加している。鹿児島県は、平成29年に施行された「地域未来投資促進法」において、重点的に取り組む地域経済牽引分野に情報通信関連産業（≒IT 産業）を選定した。また、情報通信関連業種の立地・移転への補助金も充実させ、IT 系企業の誘致を進めているほか、IT 関連のスタートアップ支援にも取り組んでいる。さらに、肝付町の国内初の自治体主導によるスマート畜産や東町の ICT を活用したブリの養殖管理等、県の主要産業にも IT を活用した技術革新が進んでいる。

同様に、宮崎県でも IT 企業の誘致が盛んで、宮崎市における GMO インターネットグループのサテライトオフィスの開業、日南市の油津商店街における 10 社以上の IT 企業進

出等が例として挙げられる。また、2007年に宮崎市に設立されたITベンチャー企業株式会社アタラナ（2020年株式会社ZOZOに吸収合併）の出身者が次々とITベンチャー企業を宮崎県内に設立し、「アタラナマフィア」として紹介されるなど、魅力のあるIT系企業が続々と誕生している。さらに、鹿児島県・宮崎県はニアショア開発の拠点としても注目されており、多数の企業やオフィスが進出している。

(2) 熊本県における自動車産業

自動車産業は我が国の主要産業のひとつである。特に九州は「カーアイランド」とも呼ばれており、特に熊本県には数多くの自動車関連産業が立地している。また、先進的な自動車の実証実験や導入にも熱心である。

熊本市は令和元年度に内閣府から「SDGs 未来都市」として選定されおり、電気自動車やEVバスの電力供給に係る官民連携、EVバスの運行による電力を中核としたライフラインの強靱化など、EV車を通じた社会変革に取り組んでいる。また、県南部の芦北町における道の駅を拠点とした自動運転技術の実証実験が実施されたほか、今後も熊本市、JR九州、住友商事の三社連携による自動運転技術の実証実験が予定されている。

(3) 九州における介護・ヘルスケア産業

高齢化は日本全国での課題であるが、九州経済産業局『九州地域における次世代ヘルスケア戦略に関する調査報告書』（2018年3月）によれば、九州では医療・介護需要のピークが2025年に到来する。全国平均は2042年であり、九州は日本で最も早いと予想されている。

2018年度には「九州地域における次世代ヘルスケア戦略に関する研究会」を設置し、AI・IoTを活用して介護などのヘルスケア分野に技術革新を起こし、「健康寿命の延伸」、ひいては世界に先駆けた「生涯現役社会」の実現に向けて取り組んでいる。



図表 1 九州における地域の重要な産業

1.2.2. 九州における人材不足

今後も九州で継続的に IT 産業や自動車産業、介護・ヘルスケア産業が発展していくためには、IT エンジニアや自動車整備士、介護士といった当該産業に携わる人材が不可欠である。特に、Society5.0 の到来や SDGs にもとづく持続可能な社会の実現に向けて、AI・IoT・ビッグデータといった先端技術を扱うことができる IT 人材や EV 車・自動運転車といった次世代のモビリティに対応できる整備士、次世代ヘルスケアを支える介護士の需要はますます増加することが予想されている。

しかし、2016 年の経済産業省の試算によると日本は 2030 年時点で最大約 79 万人の IT 人材不足に直面する恐れがある。また、同省の 2019 年の試算によれば、「AI やビッグデータ、IoT 等、第 4 次産業革命に対応した新しいビジネスの担い手として、付加価値の創出や革新的な効率化等により生産性向上等に寄与できる IT 人材」と定義された「先端 IT 人材」も 55 万人不足する見込みであるという。

自動車整備要員数は、日本全体で見ると 2013 年度から 2023 年度の 10 年間で 11,955 人も減少している状態である。また、2022 年には有効求人倍率が 5.02 となっており人手不足が深刻になっている。さらに、平均年齢が 47.2 歳となっており高齢化も進んでいる。

介護士の不足に関しては厚生労働省『第 8 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について』によれば、ピークは 2025 年度の約 5 万人の不足となっているが、ピーク後の 2040 年度においても毎年 3 万人程度の不足になるという。

さらに、九州経済調査協会がまとめた 2024 年版九州経済白書によると、九州の人手不足数は 2022 年の 16 万 6 千人から 2030 年は約 3 倍の 49 万 5 千人に急増するとみられる。九州では人口の減少や首都圏等の大都市への人材流出といった問題を常に抱えており、人材の養成・獲得と定着が喫緊の課題となっている。



図表 2 企業マネジメント DX を推進するバックオフィス人材に必要なスキル

1.2.3. 九州における留学生への期待

人手不足が深刻な状況の中で、九州・沖縄地方産業競争力協議会は、様々な分野の課題を解決するための横断的取り組みとして「グローバル人材の確保・育成」を挙げており、自治体と企業の連携による留学生の域内企業への就職などが期待されている。特に IT・情報分野や自動車整備分野、介護分野は留学生に比較的人気が高く、専門学校における受け入れが進んでいる。また、専門学校は県内就職率が高く、既に多くの元留学生が外国人材として地域の企業や産業に貢献している実績がある。

しかし、近年はコロナ禍により専門学校における留学生の受け入れは大きな影響を受けた。日本学生支援機構の調査によれば、専門学校＝専修学校（専門課程）に在籍する留学生は大きく減少している。これは、主要な進学元である日本語教育機関の在籍生が大きく減っていたことも影響しており、日本語教育機関の在籍者数が現在大きく増加していることから、今後 2 年程度で国内全体の専門学校の留学生数は上昇すると予想される。一方で、全教育機関における熊本県・宮崎県・鹿児島県の留学生はここ数年微増または微減となっている。したがって、九州内の専門学校において今後数年で留学生が増加し、最大数を記録したコロナ禍前の水準に戻ると単純に予想することはできない。

今後も九州において業界の人材ニーズに応えるため、専門学校は日本人だけでなく留学生への教育に注力する必要がある。そして、留学生に対してより質の良い教育を提供し就職の支援をしていくためには、留学生に来日前後で一貫した教育内容を提供する体制や国内の企業・団体との連携による就職と定着の仕組みを構築することが重要となる。

1.3. 今年度事業の取組概要

今年度事業では、「会議」、「調査」、「体制整備【①入学前の留学希望者等に対する取り組み】」、「体制整備【②在学中の教育指導に関する取り組み】」を実施した。

1.3.1. 会議の開催実績

(1) 実施委員会

第 1 回実施委員会は、令和 6 年 10 月 29 日（火）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. 委員長挨拶
2. 委員紹介
3. 本事業の計画
4. 意見交換
5. その他、事務局からの連絡

今年度の事業計画を説明し、了承をいただいた。

第2回実施委員会は、令和7年1月14日（火）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. 委員長挨拶
2. 委員紹介
3. 調査に関する検討と報告
4. SNS 及びキャリア学習実証の中間報告
5. 意見交換
6. その他、事務局からの連絡

今年度の調査、SNS 運用、キャリア学習教材の実証について中間報告を行い、教材等の開発方針や実証の実施方針について説明し、了承をいただいた。

第3回実施委員会は、令和7年2月19日（水）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. 委員長挨拶
2. 今年度成果報告
3. 意見交換
4. その他、事務局からの連絡

今年度の成果について報告を行い、次年度の計画について説明し、了承をいただいた。

(2) IT 分科会

第1回 IT 分科会は、令和6年11月7日（木）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. 事業概要確認
2. 専門学校対象アンケートについて
3. 企業対象ヒアリングについて
4. キャリア教育について

今年度の IT・情報分野に関わる取り組み内容を把握し、アンケート・ヒアリング項目の検討やキャリア教育の現状について確認した。

第2回 IT 分科会は、令和7年2月19日（木）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. アンケート結果確認
2. IT キャリア教材実証について
3. 次年度の取り組みについて

今年度の IT・情報分野における成果の確認をするとともに、次年度の計画に向けて取り組み内容を検討した。

(3) 自動車整備分科会

第1回自動車整備分科会は、令和6年11月28日（木）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. 事業概要確認
2. 専門学校対象アンケートについて

今年度の自動車整備分野に関わる取り組み内容を把握し、アンケート項目を検討した。

第2回自動車整備分科会は、令和7年2月13日（木）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. 企業対象ヒアリング調査について
2. 専門学校対象アンケートについて
3. 次年度の取り組みについて

今年度の自動車整備分野に関わる調査の結果を概観し、次年度の計画に向けて取り組み内容を検討した。

(4) 介護分科会

第1回介護分科会は、令和6年11月12日（火）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. 事業概要確認
2. 現状とニーズの整理

今年度の介護分野に関わる取り組み内容を把握し、事業に関わる開発内容のニーズについて検討した。

第2回介護分科会は、令和6年12月23日（月）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. アンケート項目について
2. キャリア教育について

介護分野の専門学校へのアンケート項目の検討や介護キャリア教育の現状について確認した。

第3回実施委員会は、令和7年2月6日（木）に開催した。議事内容は以下の通りである。

1. 留学生インタビューについて
2. キャリア学習教材試作について

介護分野留学生インタビュー実施に関する確認や介護キャリア学習教材試作の内容の

チェックと活用方針について検討した。

1.3.2. 調査実績

(1) 専門学校アンケート調査

IT・情報、自動車整備、介護系学科を持つ専門学校に対して留学生教育内容に関する調査を行うことで、留学生支援体制を構築する際の参考情報を収集することを目的として、日本全国のIT・情報、自動車整備、介護系学科を持つ専門学校のべ600校程度にアンケートを発送し、回答を集めた。

(2) 企業対象ヒアリング調査

IT・情報通信系企業・団体や自動車整備工場・自動車系企業、介護事業者等に対して、外国人材の雇用実態等に関する調査を行うことで、留学生の学習支援・就職支援を検討する際の基礎資料を収集すると共に、事業活動の周知と事業活動への協力可能性を把握することを目的として、ヒアリング調査を3分野合計で20件行った。

(3) 就職・定着に向けた取り組み事例調査

留学生の就職や地域定着に向けた官民の様々な取り組みの事例を調査することで、留学生の就職や日本および九州地域での定着を促進するための取り組みを行う際の参考資料を収集することを目的として、日本国内の事例を30件収集した。

1.3.3. 体制整備【①入学前の留学希望者等に対する取り組み】

(1) 多言語パンフレットの制作

本事業に参画する専門学校のパンフレットを英語とベトナム語に翻訳した。また、同内容のウェブ版も制作した。

(2) 留学生インタビュー動画の制作

現役の専門学校留学生に対して、実際の留学生活に関するインタビューを日本語と母語（または母国語）行い、動画コンテンツ化した。

(3) 海外日本語教育機関との連携

上記のパンフレットや動画を連携・協力関係のある海外日本語教育機関において活用した。

(4) SNSの運用

Facebookを活用して、事業参画校の情報を翻訳して投稿したり、日本文化・社会の情報、ニュースなどを発信したりした。また、TikTokのテスト運用を開始した。

1.3.4. 体制整備【②在学中の教育指導に関する取り組み】

(1) キャリア学習教材の改訂・試作

IT キャリア教材と自動車整備キャリア教材の改訂、介護キャリア教材の試作を実施した。

2. 調査報告

本事業では、IT・情報、自動車整備、介護系学科を持つ専門学校に対して留学生教育内容に関する調査を行う「専門学校アンケート調査」、IT・情報通信系企業・団体や自動車整備工場・自動車系企業、介護事業者等に対して外国人材の雇用実態等に関する調査を行う「企業対象ヒアリング調査」、留学生の就職や地域定着に向けた官民の様々な取り組みの事例を調査する「就職・定着に向けた取り組み事例調査」の3種類の調査を実施した。

2.1. 専門学校アンケート調査

2.1.1. 調査概要

(1) 調査目的

IT・情報、自動車整備、介護系学科を持つ専門学校に対して留学生教育内容に関する調査を行うことで、留学生支援体制を構築する際の参考情報を収集することを目的とした。

(2) 調査対象

日本全国のIT・情報、自動車整備、介護系学科を持つ専門学校のリストを作成し、のべ約600校にアンケートを発送した。その結果、IT・情報分野の学科を持つ専門学校64校（回答率21.5%）、自動車整備系学科を持つ専門学校41校（回答率50.0%）、介護系学科を持つ学校68校（回答率24.4%）から回答を得た。

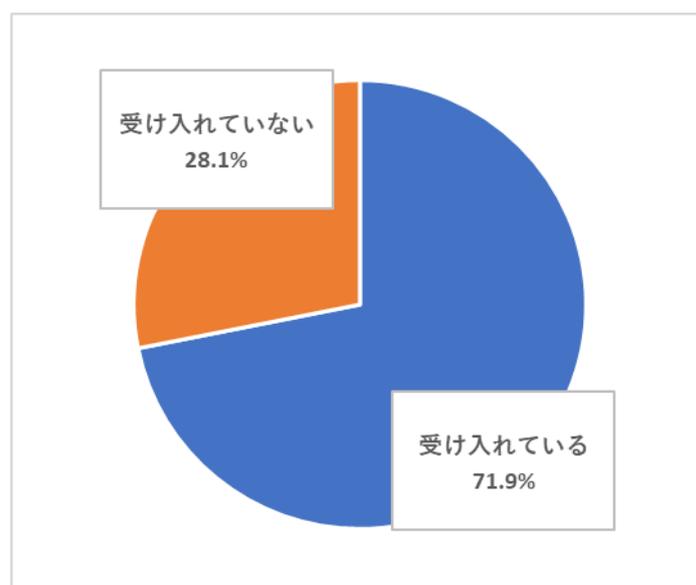
(3) 調査手法

留学生の受け入れ状況、留学生への教育内容、留学生への生活支援体制、留学生の就職状況と傾向、現在の課題などの質問項目を設定したアンケート質問票を作成して、印刷した質問票とオンラインアンケートフォームのURLとQRコードを記載した依頼状と同封し発送した。回答はオンラインアンケートフォームを基本としたが、学校からの要望があればFAXやメールでの回答も受け付けた。そして、IT・情報、自動車整備、介護の分野ごとに調査結果の集計を行った。

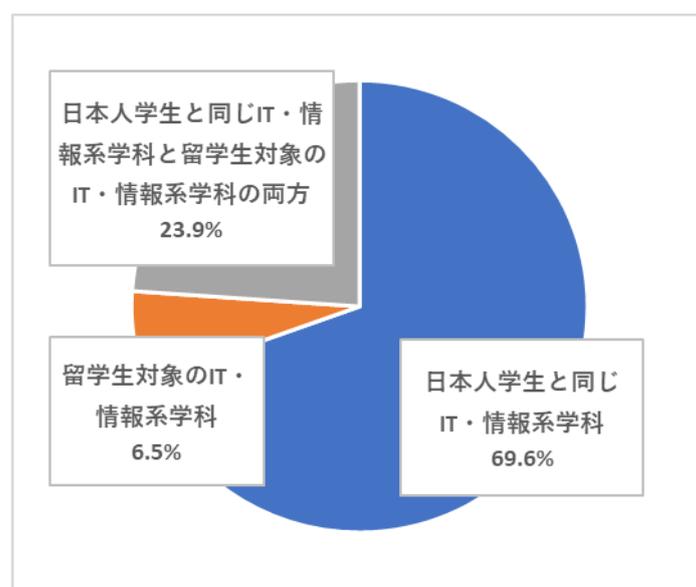
2.1.2. 調査結果（IT・情報分野の学科を持つ専門学校）

1. 留学生の受入について

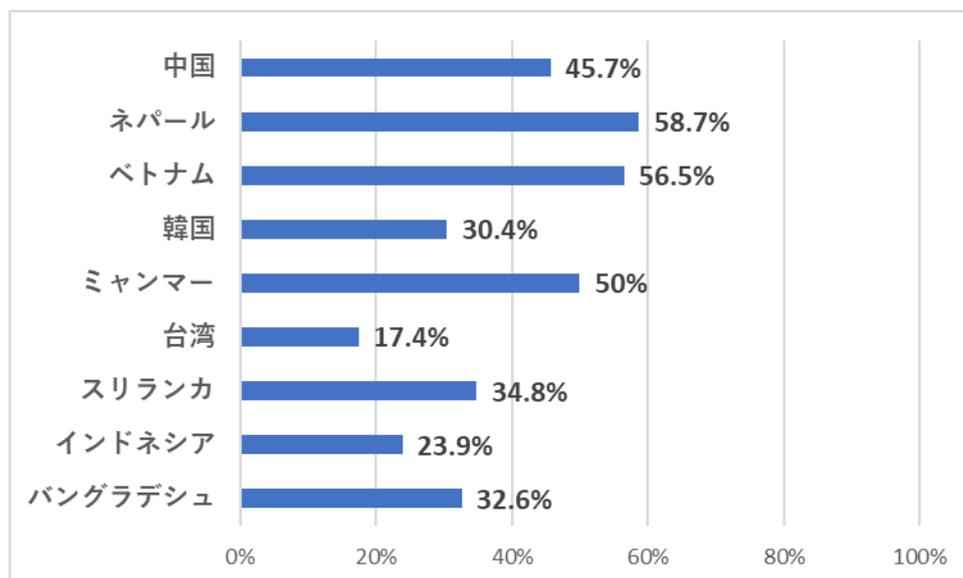
(1) 御校では留学生の受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を1つ選んでください。



(2) 御校はどのような学科で留学生受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を1つ選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

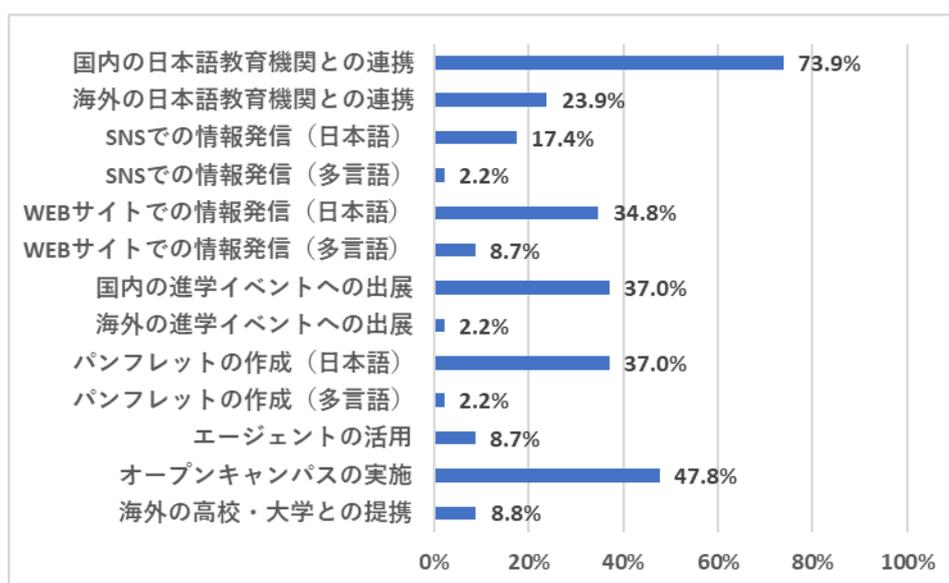


- (3) 御校に現在（令和6年度）在籍している留学生の出身国として当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

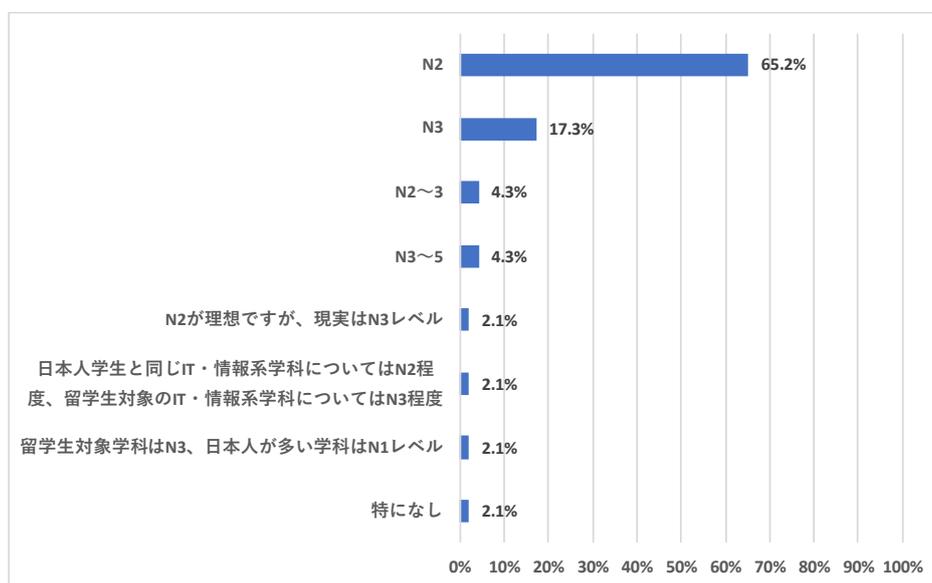


その他：モンゴル(26.1%)、ロシア(13%)、インド(10.9%)、タイ・アメリカ(8.7%)など
ウクライナ、西欧や南米からも少数

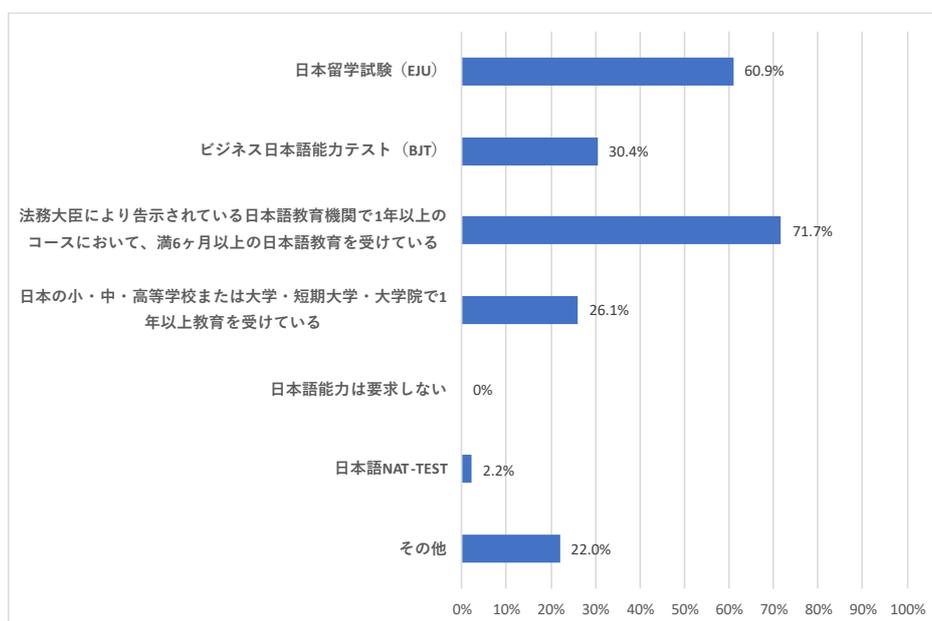
- (4) 留学生の募集にあたり御校ではどのような取り組みを行っていますか。特に力を入れている取り組みを3つまで選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



(5) 御校の留学生の入学資格として、どの程度の日本語能力を基準としていますか。日本語能力試験（JLPT）のレベルを具体的にご記入ください。



(6) 御校では、入学資格として日本語能力試験（JLPT）以外にどのような基準を採用していますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

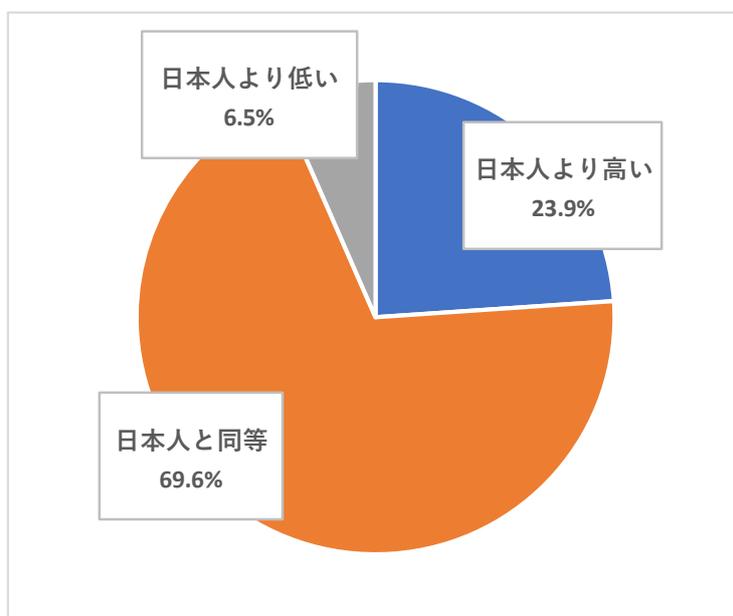


- その他：
- ・外国において通常課程による12年間以上の学校教育を受けたもの
 - ・在籍中に必要となるすべての経費支払い能力がある者等
 - ・1年以上の日本語教育を修了
 - ・特になし。

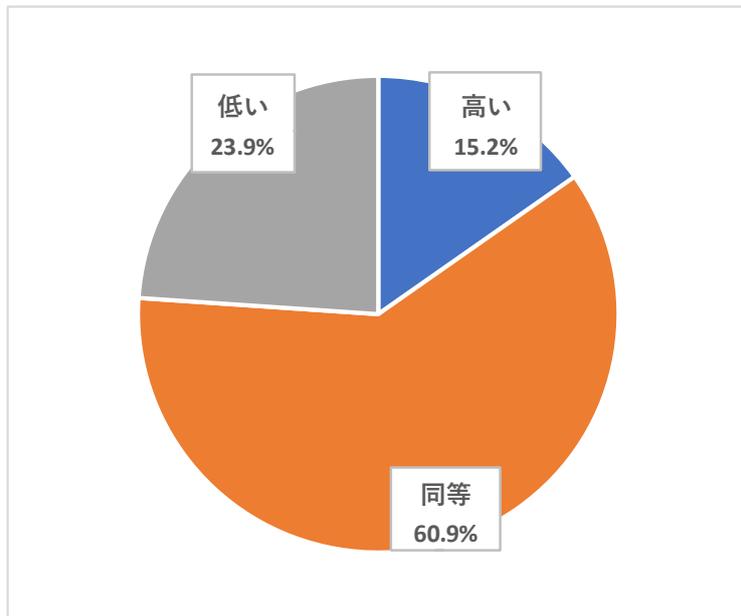
- ・資格としては求めておりませんが、入学試験時に本校の筆記試験等を行い合否を決めています。
- ・本校独自の日本語試験及び作文
- ・JPT、JTEST
- ・入試での日本語試験・作文・面接
- ・日本国内の日本語教育機関で出席時間率が90%程度である。
- ・本校の入学試験（面接、筆記、作文）、および出席率

(7) 御校で留学生教育を行う中で、日本人学生と比較して、留学生全般にどのような特性があると感じますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

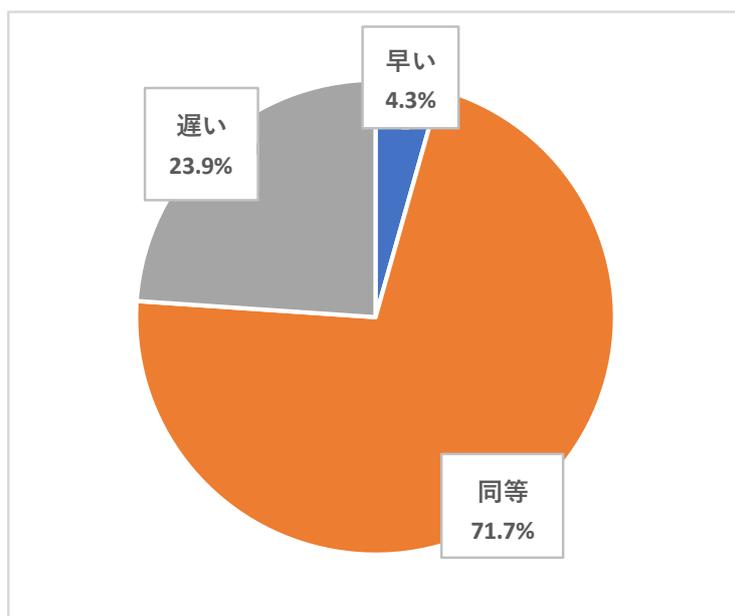
①学習へのモチベーション



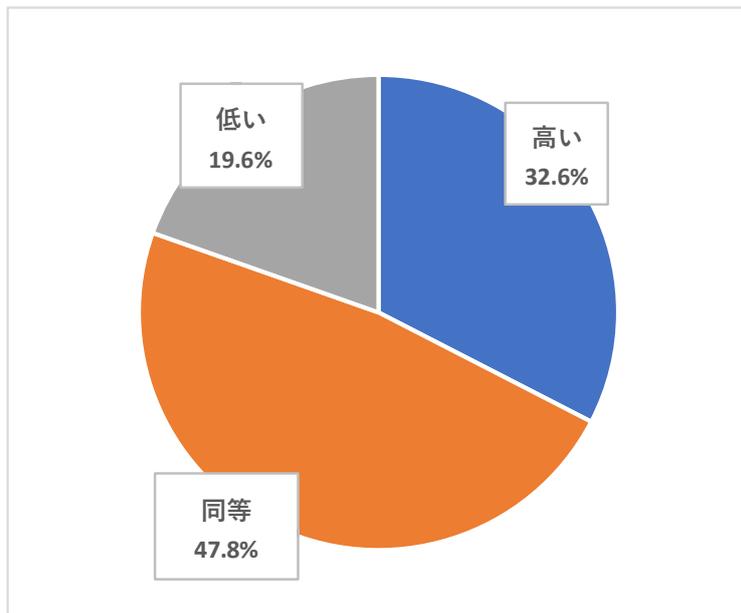
②基礎学力



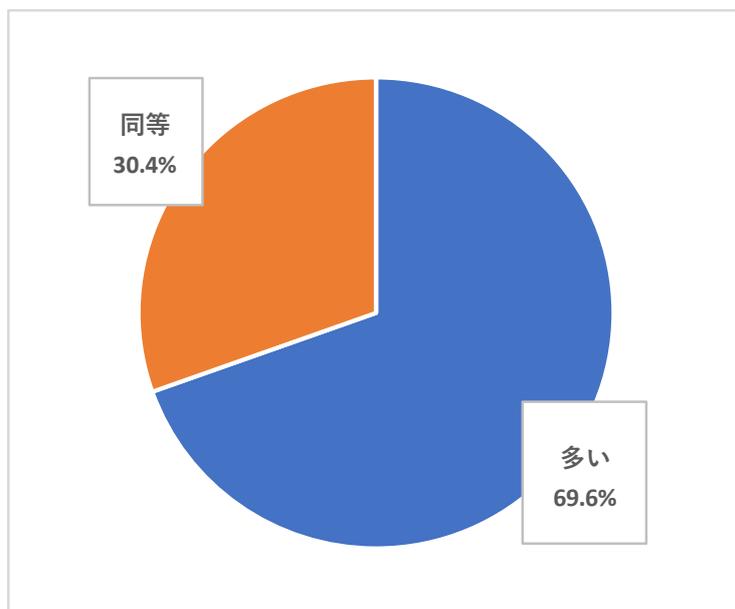
③専門知識・技術の習得



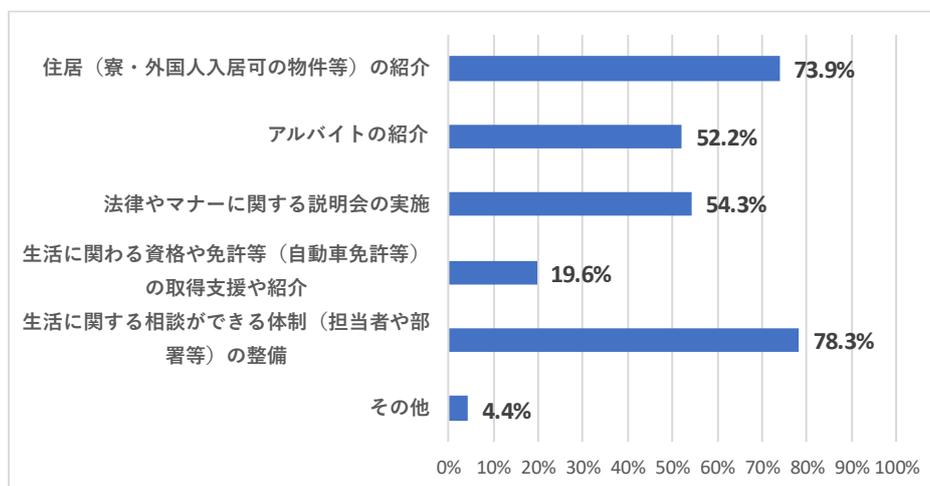
④自身のキャリアに対する意識



⑤就職に苦労する学生



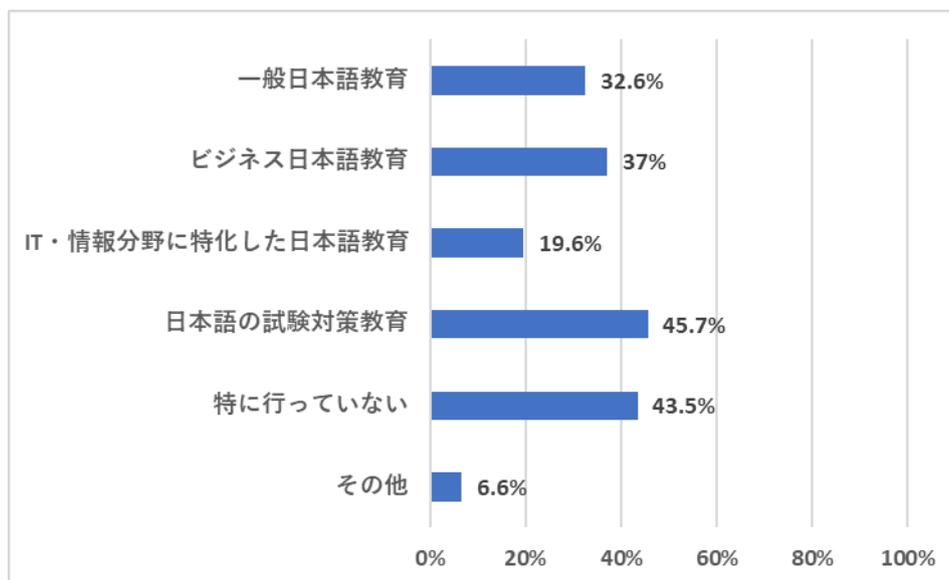
- (8) 御校が留学生を受け入れるにあたり、生活面でどのような支援を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



その他：特になし

2. 留学生への教育内容について

- (9) 御校で専門課程のカリキュラム内でどのような日本語教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

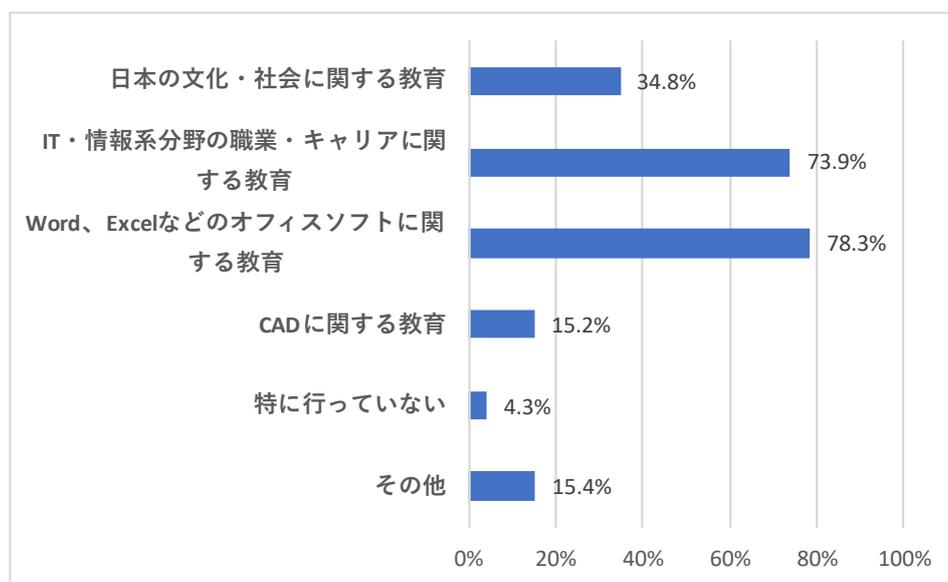


その他：・発話が弱い学生向けの日本語

- ・特に行っていない、特には行っていないが、N3の学生にはN2対策を個人個人で行っている

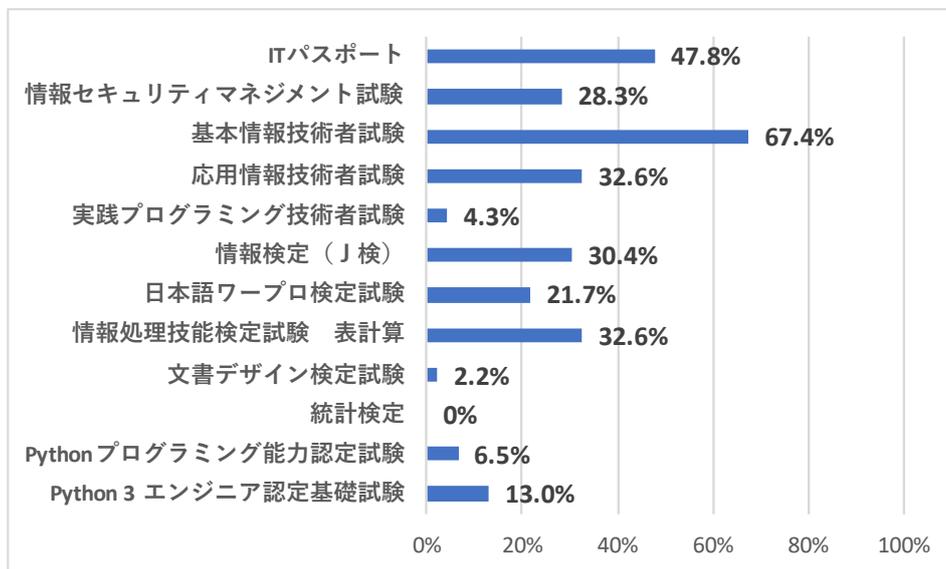
- ・留学生クラスがありますので、そちらの留学生と一緒に日本語の試験対策を行います

(10) 御校では IT・情報系分野の専門科目や日本語教育の他にどのような教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



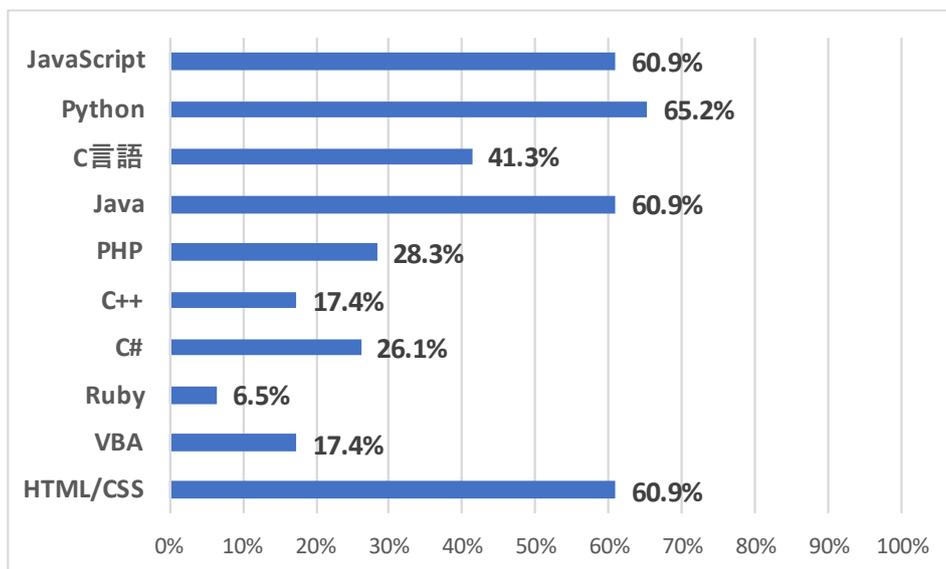
- その他：
- ・商業実務関連
 - ・アントレプレナーシップ

- (11) 御校のカリキュラムでは、留学生がどのような資格の合格を目指していますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



その他：MOS、G 検定、B 検定など

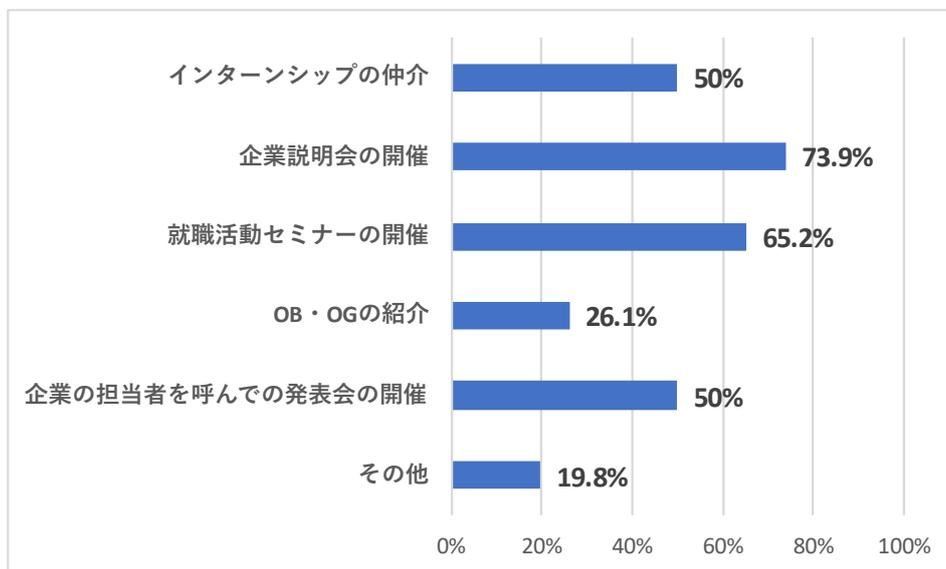
- (12) 御校では現在（令和 6 年度）留学生にどのようなプログラミング言語を学ばせていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



その他：SQL

3. 留学生の就職について

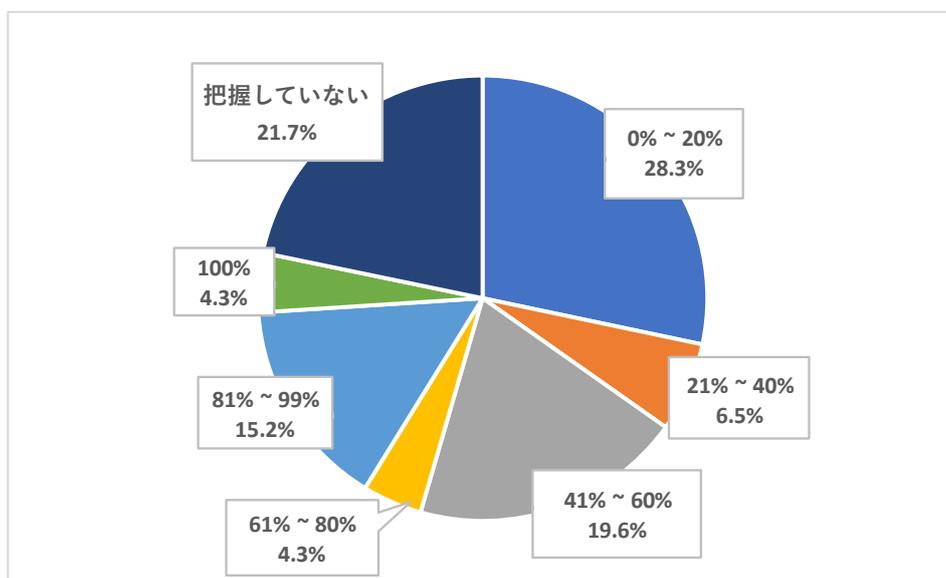
(13) 留学生に対する日本での就職の支援として、御校ではどのような取り組みを行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



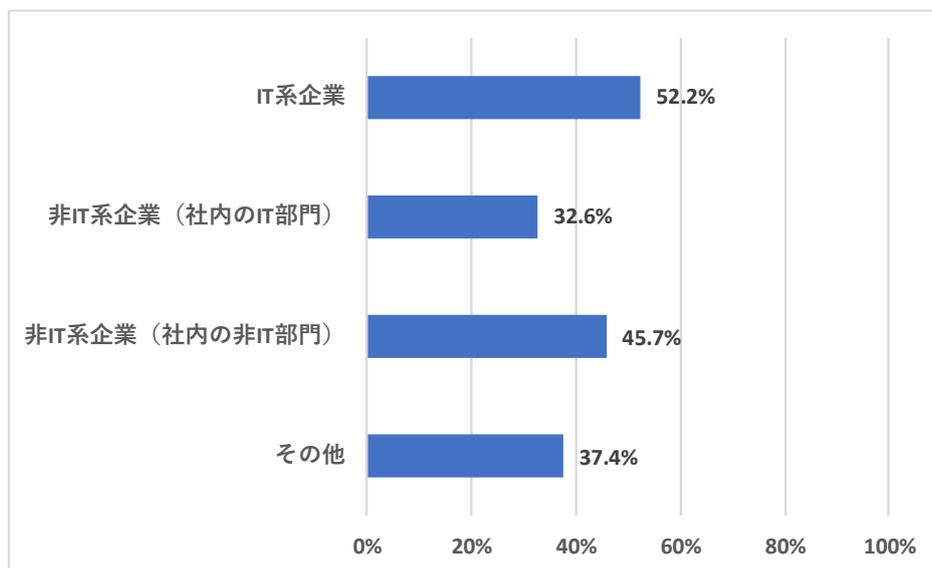
その他：・ハローワークとの連携

- ・ JLPT 受験対策、就職面接対策、個別相談
- ・ 業界説明会、模擬面接、各種試験対策、履歴書・ES 添削、校内入社試験等
- ・ 就職サポーターセンターや担任を通じて留学生受け入れ可の企業の紹介
- ・ 求人紹介
- ・ 学校求人紹介
- ・ 企業説明会等への教員の帯同

(14) 御校の留学生の昨年度の御校所在都道府県内就職率について1つ選んでください。



(15) 御校の留学生の昨年度の就職先の実績について、次の選択肢の中から該当するものを当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

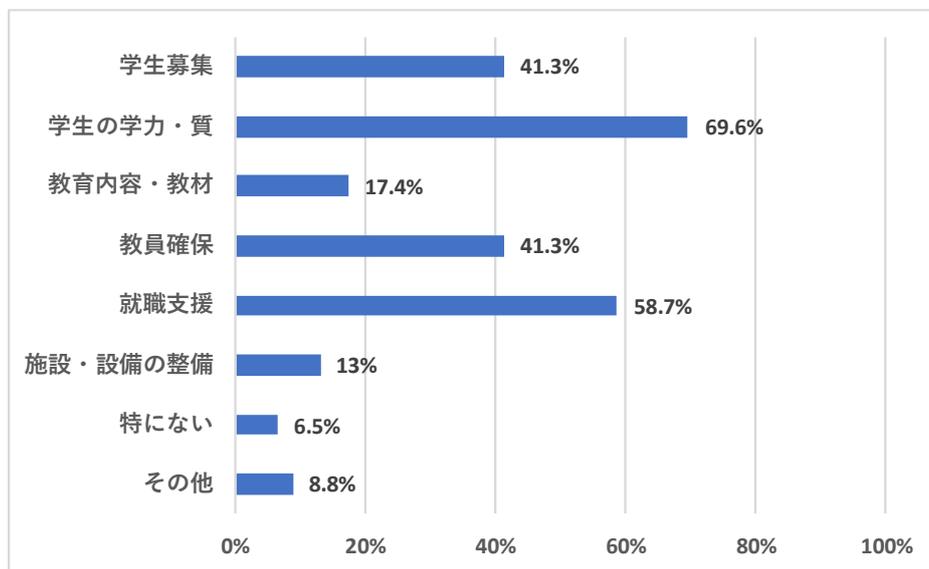


その他：・昨年度留学生の在籍者や卒業生なし

- ・特定活動
- ・帰国

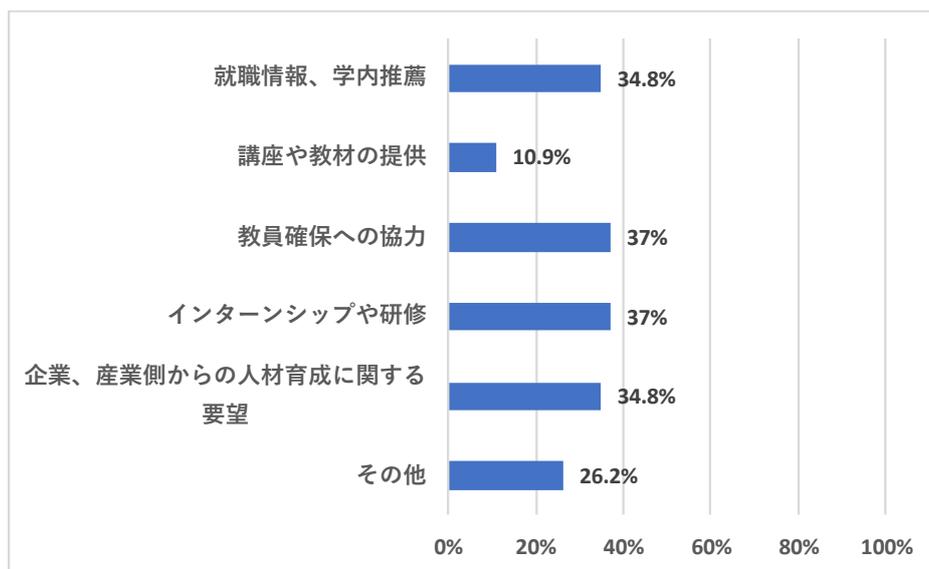
4. 留学生教育における課題等について

(16) 御校の留学生への教育について、課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。



その他：日本語能力

(17) 企業・団体、産業界との連携について、御校が現在課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。

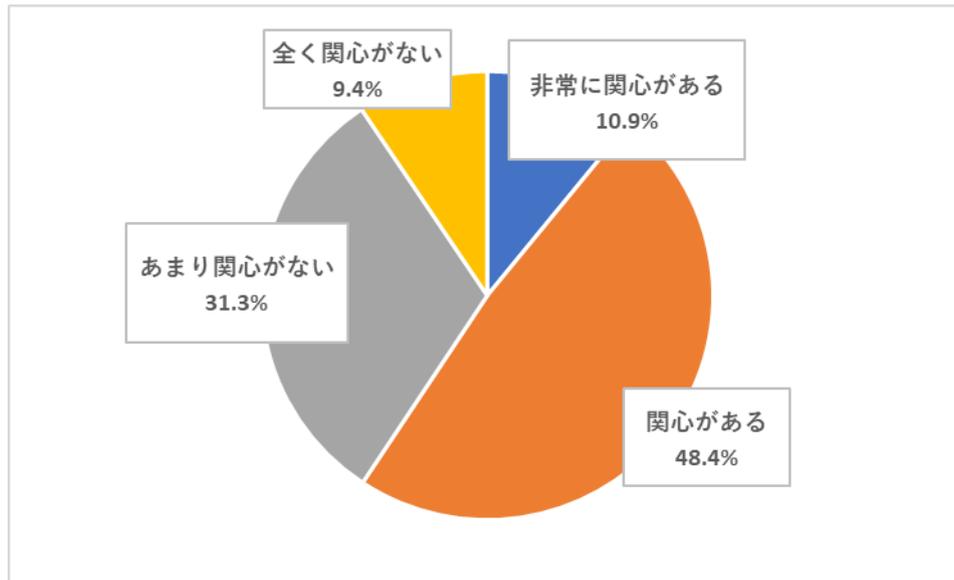


その他：・特になし

- ・就職先の確保
- ・専門の学力が足りないので、連携自体がむづかしい。

5. 本事業について

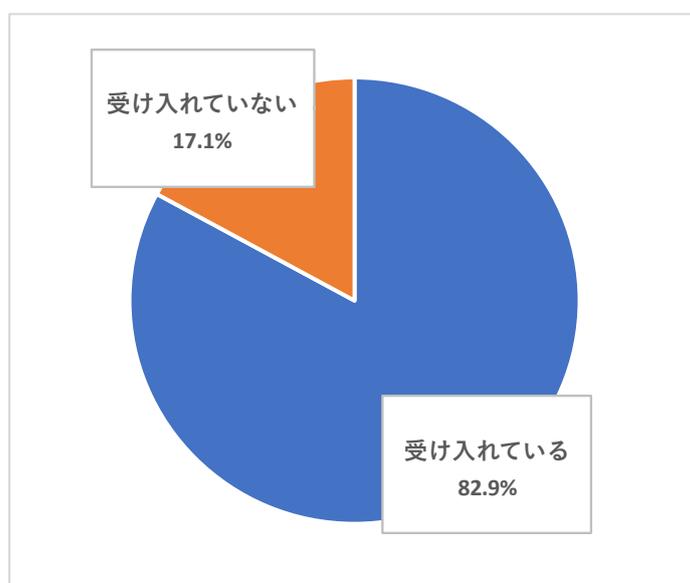
- (18) 当法人は文部科学省委託事業の一環で専門学校や海外の日本語教育機関、企業及び業界団体等との連携のもと、留学生の募集・教育・生活・就職をトータルパッケージで支援する体制整備の事業を推進しています。本プログラムにご関心はございますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選んでください。



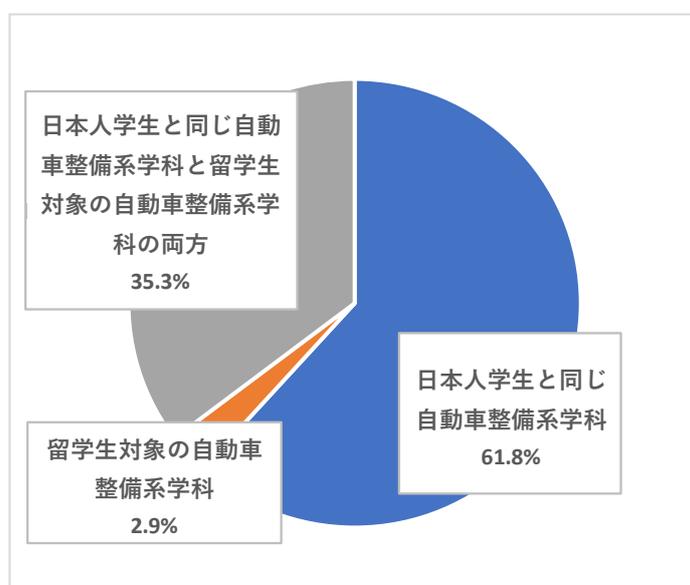
2.1.3. 調査結果（自動車整備分野の学科を持つ専門学校）

1. 留学生の受入について

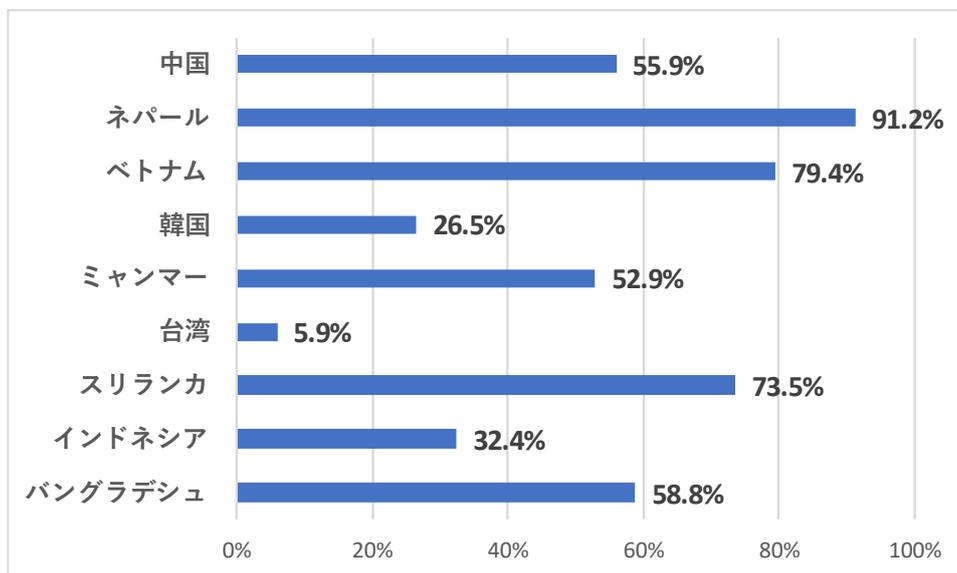
(1) 御校では留学生の受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を1つ選んでください。



(2) 御校はどのような学科で留学生受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を1つ選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

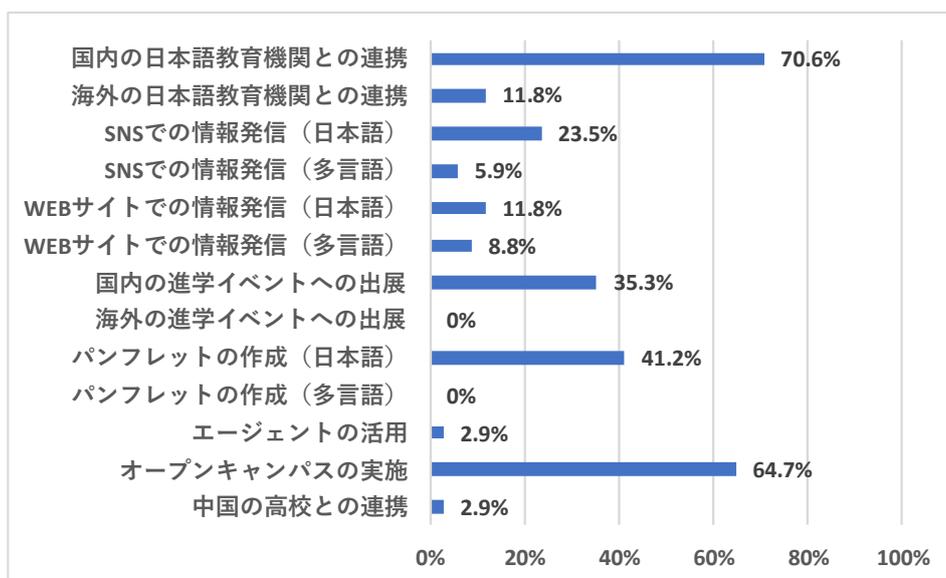


- (3) 御校に現在（令和6年度）在籍している留学生の出身国として当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

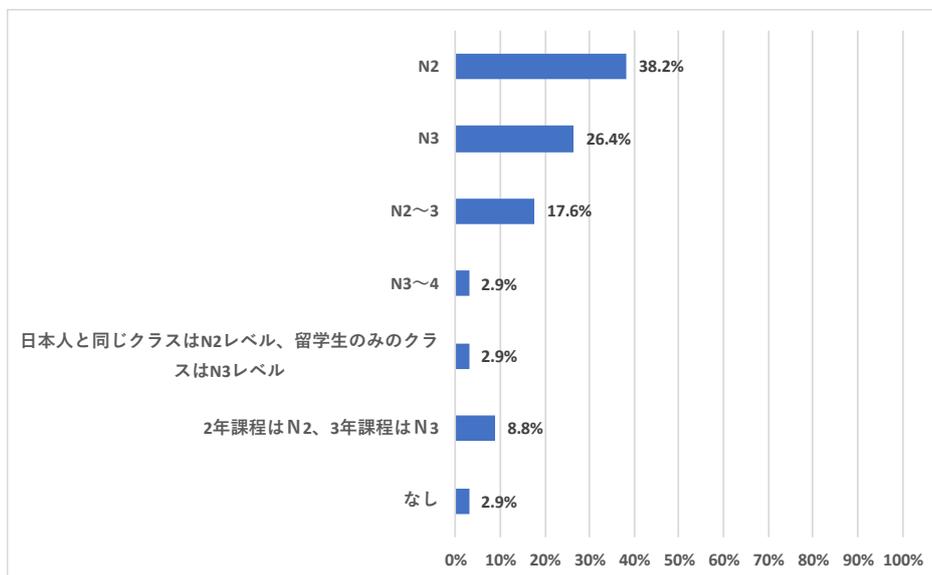


その他：モンゴル(17.6%)、インド(14.7%)、パキスタン(11.8%)など
他のASEAN諸国やアフリカからも少数

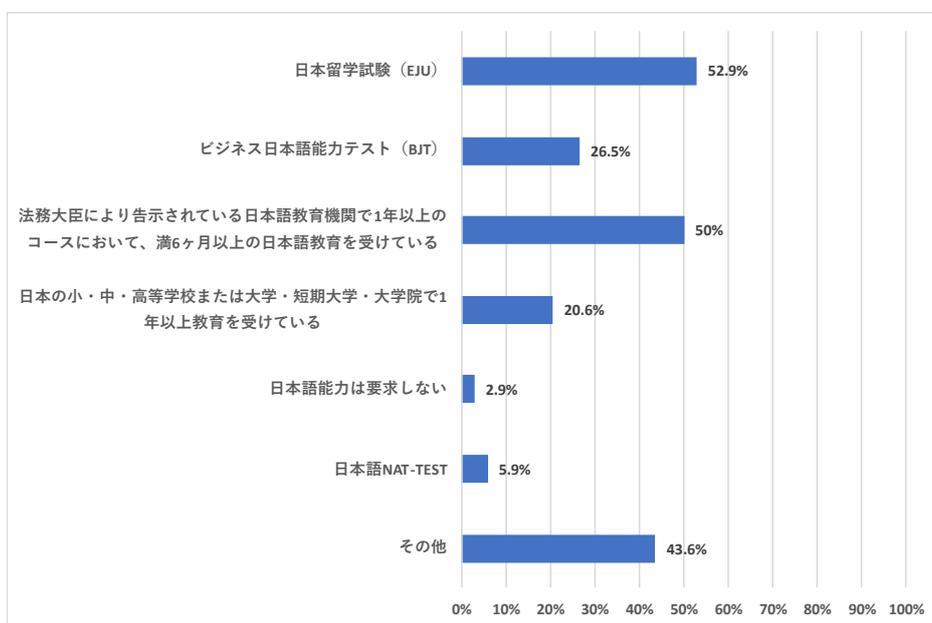
- (4) 留学生の募集にあたり御校ではどのような取り組みを行っていますか。特に力を入れている取り組みを3つまで選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



(5) 御校の留学生の入学資格として、どの程度の日本語能力を基準としていますか。日本語能力試験（JLPT）のレベルを具体的にご記入ください。



(6) 御校では、入学資格として日本語能力試験（JLPT）以外にどのような基準を採用していますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



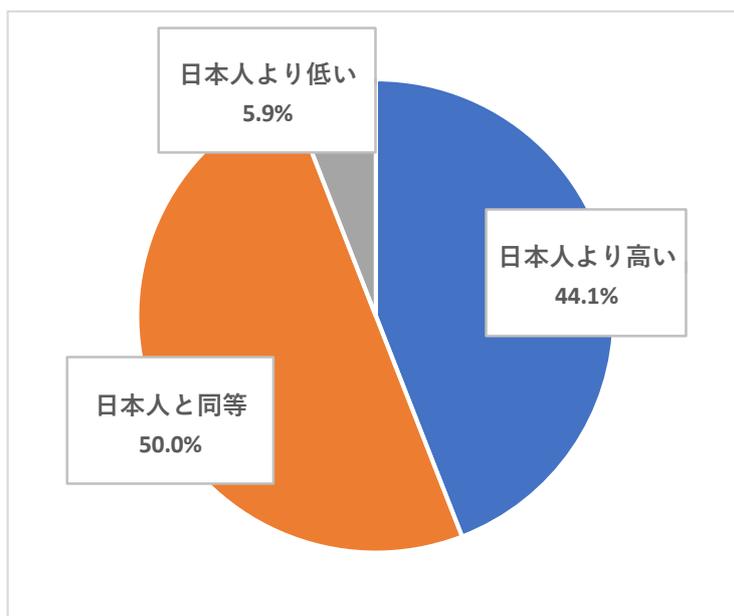
その他：・適性検査

- ・面談による判断
- ・N2 以外は求めている
- ・面接および日本語試験

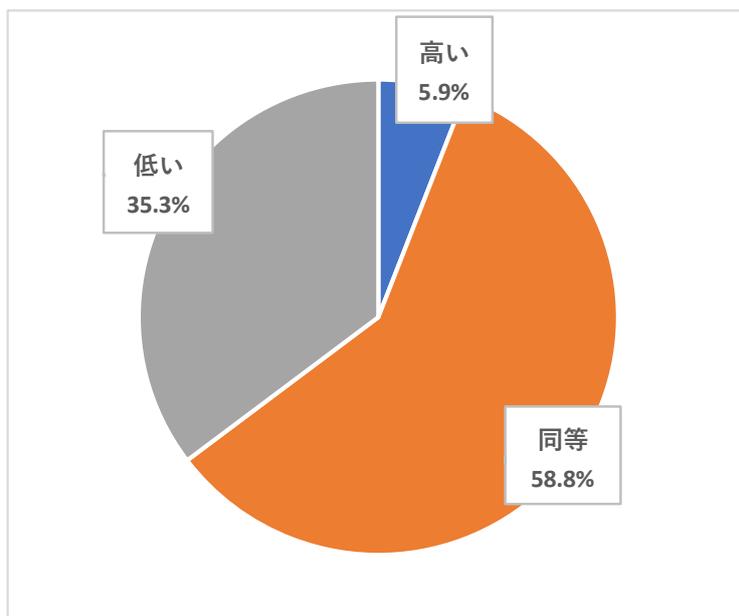
- ・面接での日本語によるコミュニケーション能力、専門教科書の音読
- ・筆記試験および面接試験にて判断

(7) 御校で留学生教育を行う中で、日本人学生と比較して、留学生全般にどのような特性があると感じますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

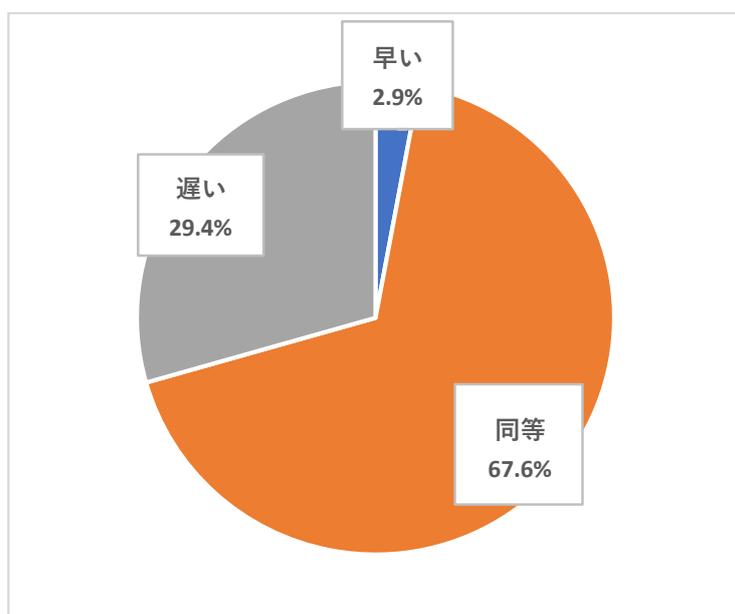
①学習へのモチベーション



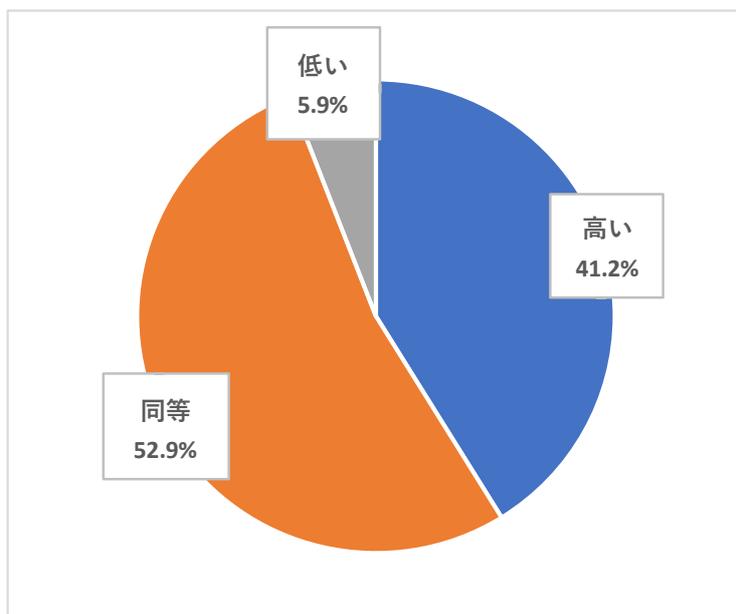
②基礎学力



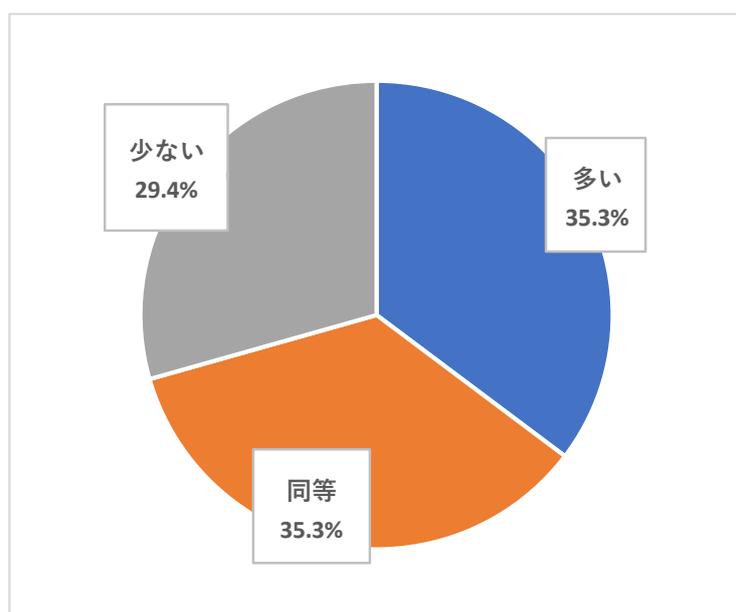
③専門知識・技術の習得



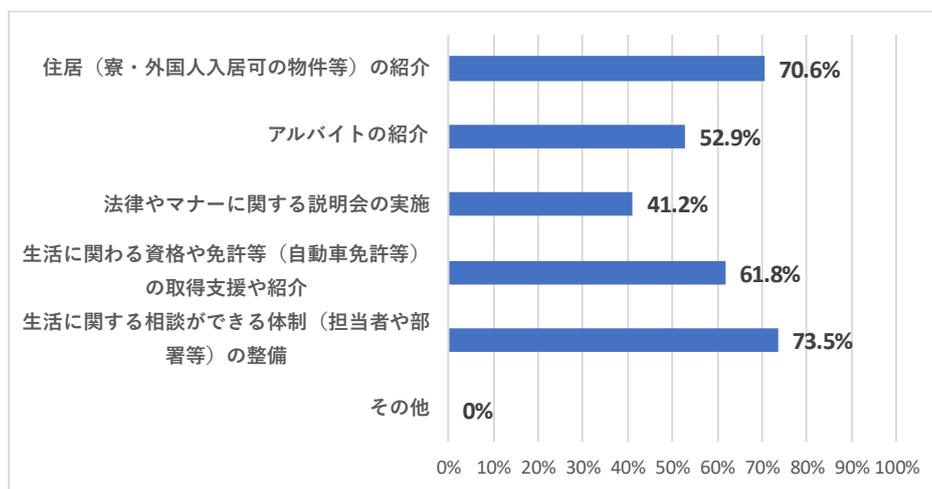
④自身のキャリアに対する意識



⑤就職に苦労する学生

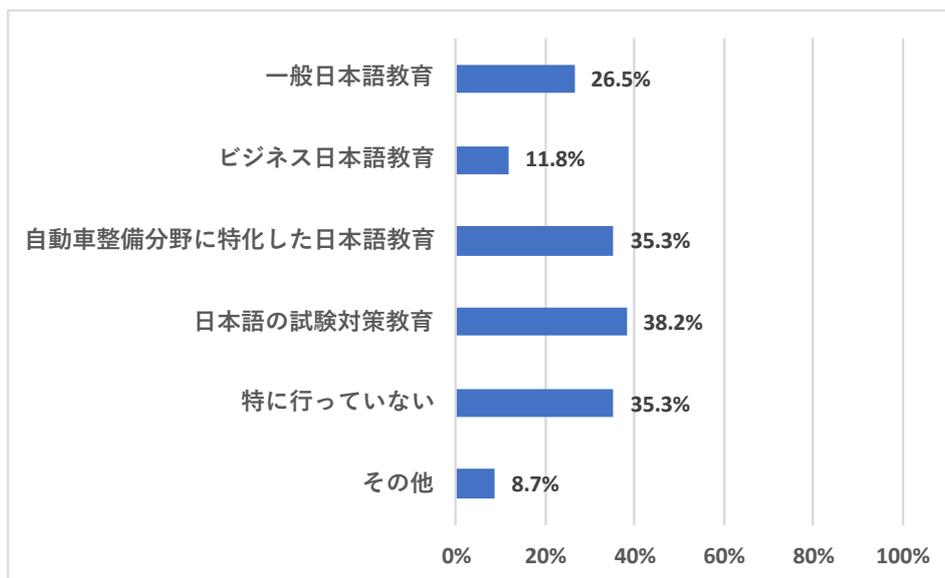


- (8) 御校が留学生を受け入れるにあたり、生活面でどのような支援を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



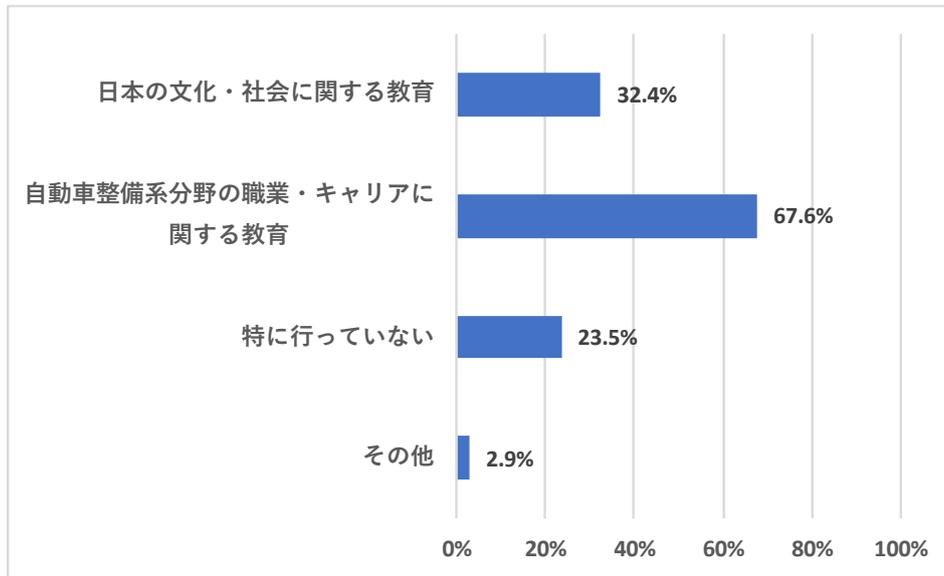
2. 留学生への教育内容について

- (9) 御校で専門課程のカリキュラム内でどのような日本語教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



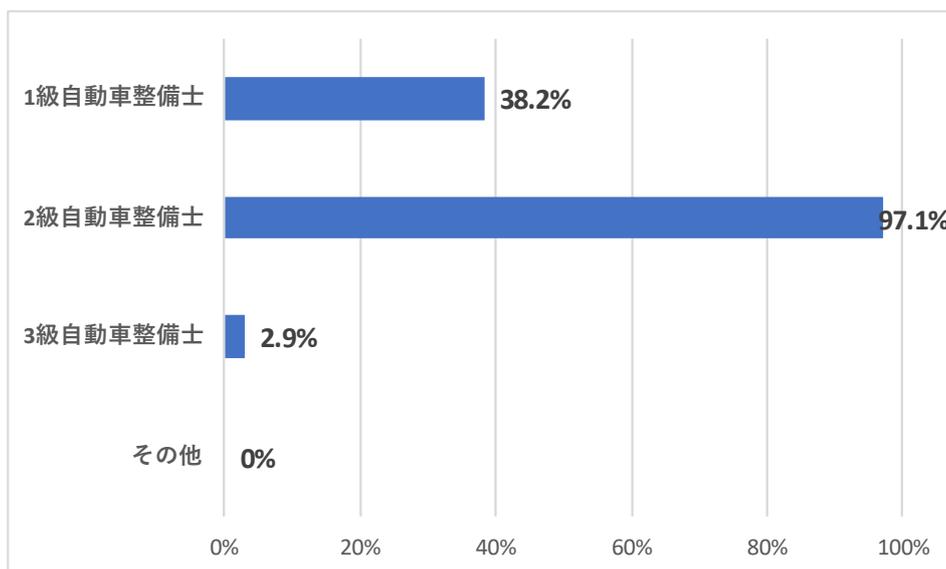
- その他：
 ・N3 レベルの学生においては個人個人でN2 対策
 ・留学生のクラスのみ上記授業を行っている
 ・国際自動車整備科(3年コース)のみ自動車整備分野に特化した日本語教育

- (10) 御校では自動車整備系分野の専門科目や日本語教育の他にどのような教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

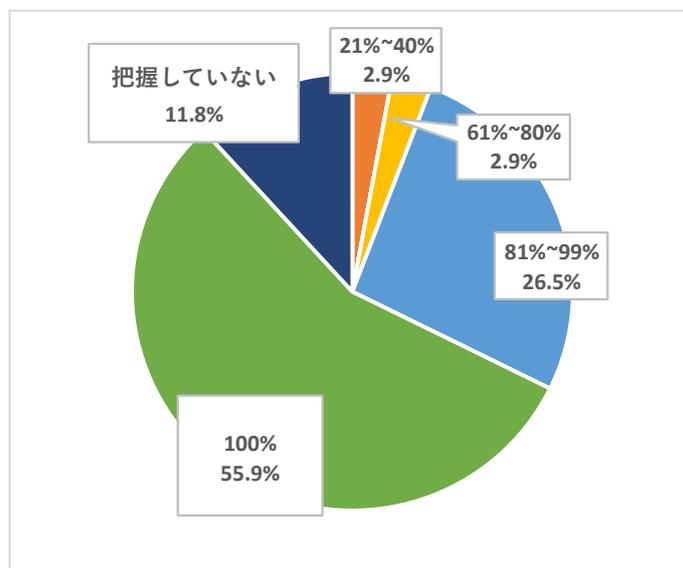


その他：・資格取得

- (11) 御校のカリキュラムでは、留学生がどのような国家資格の合格を目指していますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

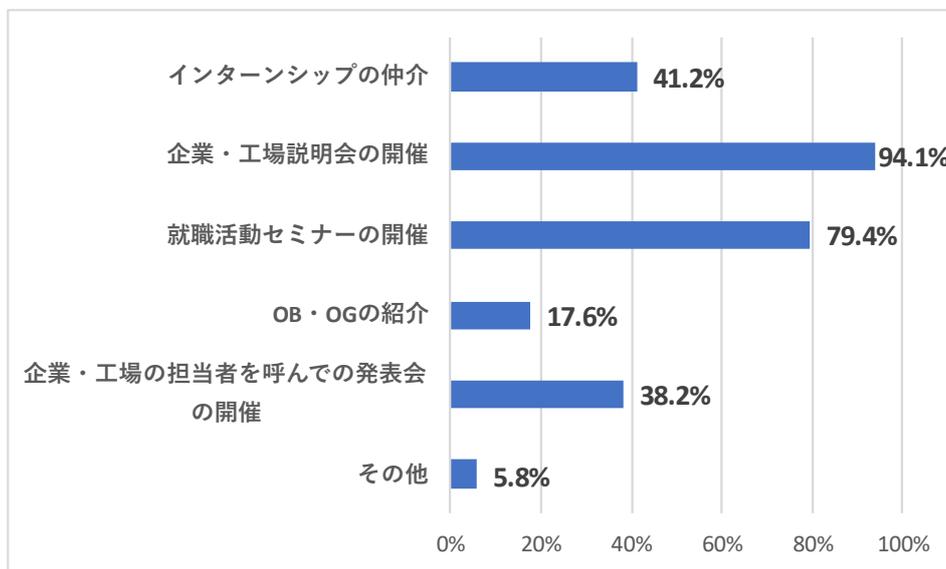


- (12) 御校の昨年度の留学生の国家試験合格率について当てはまる選択肢を1つ選んでください。



3. 留学生の就職について

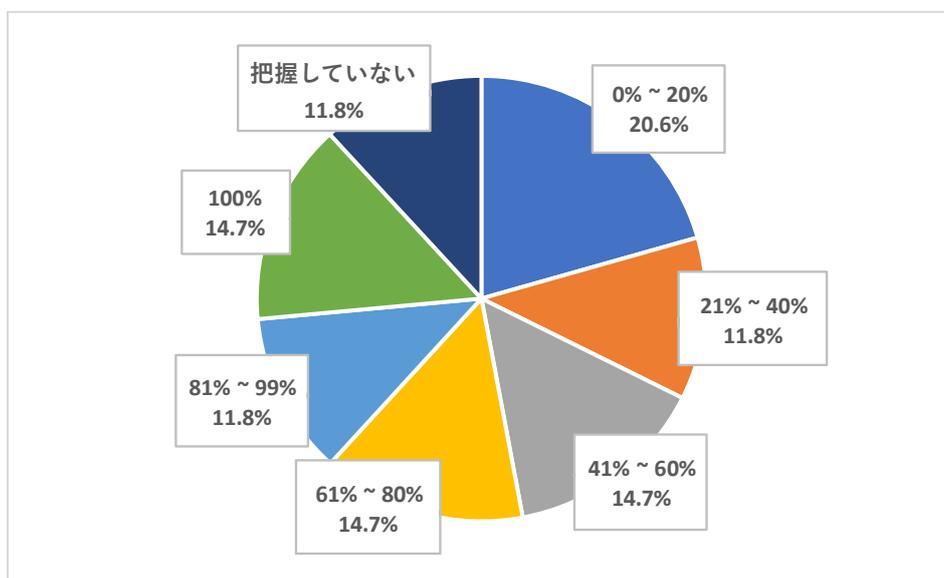
(13) 留学生に対する日本での就職の支援として、御校ではどのような取り組みを行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



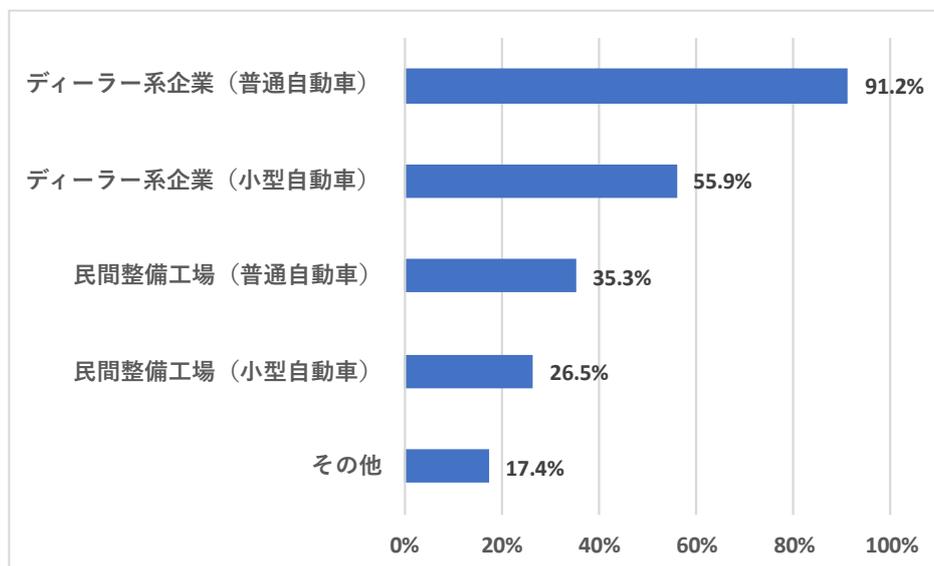
その他：・内定先でのインターンシップの実施

・履歴書作成指導、面接指導

(14) 御校の留学生の昨年度の御校所在都道府県内就職率について1つ選んでください。



(15) 御校の留学生の昨年度の就職先の実績について、次の選択肢の中から該当するものを当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

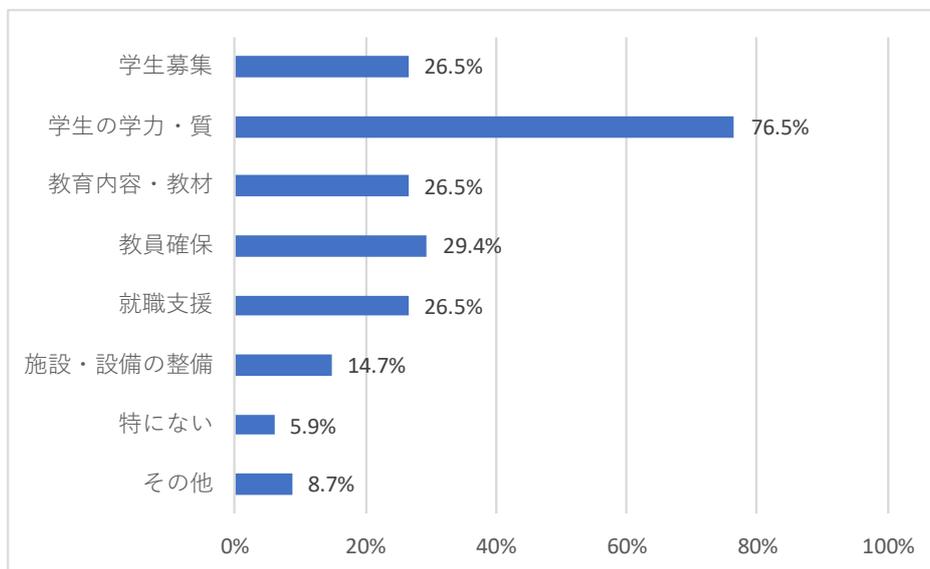


その他：・昨年度留学生の在籍者や卒業生なし

- ・人材派遣会社
- ・中古車販売店

4. 留学生教育における課題等について

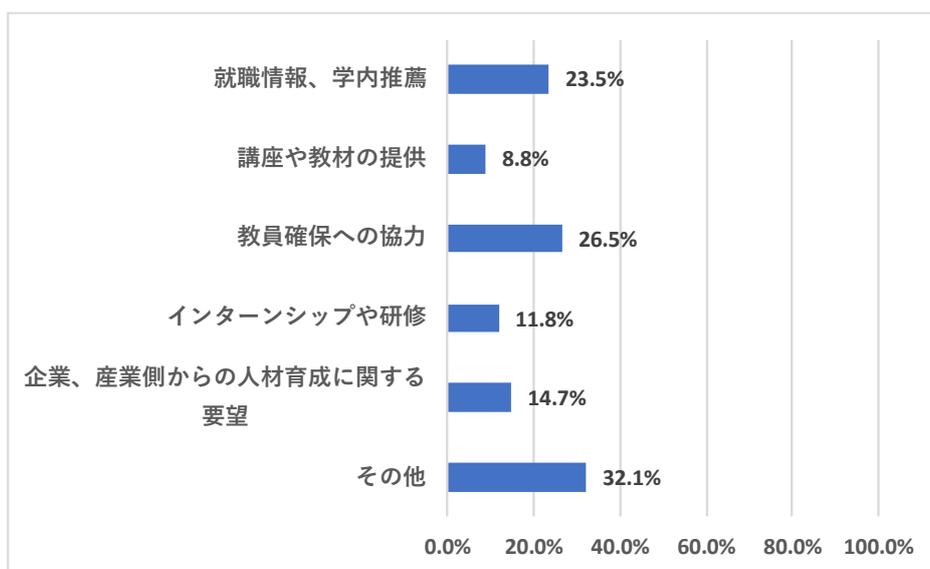
(16) 御校の留学生への教育について、課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。



その他：・運転免許取得の苦勞

- ・学費の支払い
- ・語学力

(17) 企業・団体、産業界との連携について、御校が現在課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。

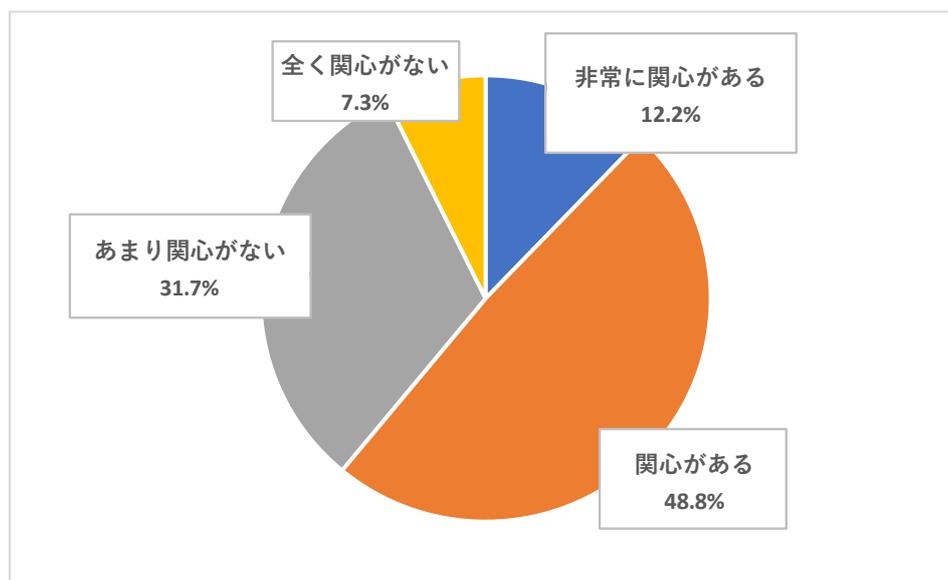


その他：・特になし

- ・奨学金制度
- ・奨学金などのサポート。

5. 本事業について

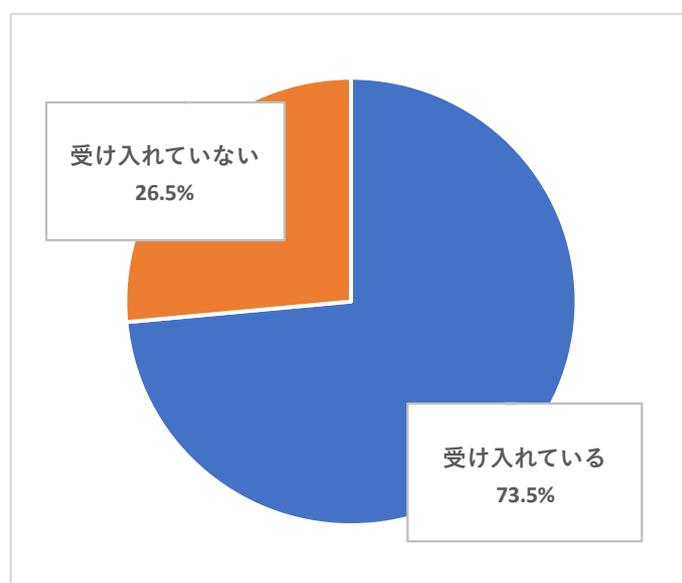
(18) 当法人は文部科学省委託事業の一環で専門学校や海外の日本語教育機関、企業及び業界団体等との連携のもと、留学生の募集・教育・生活・就職をトータルパッケージで支援する体制整備の事業を推進しています。本プログラムにご関心はございますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選んでください。



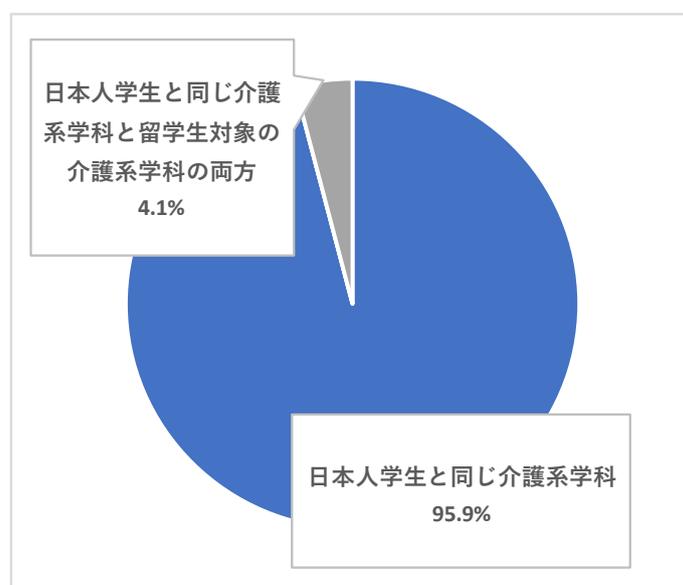
2.1.4. 調査結果（介護分野の学科を持つ専門学校）

1. 留学生の受入について

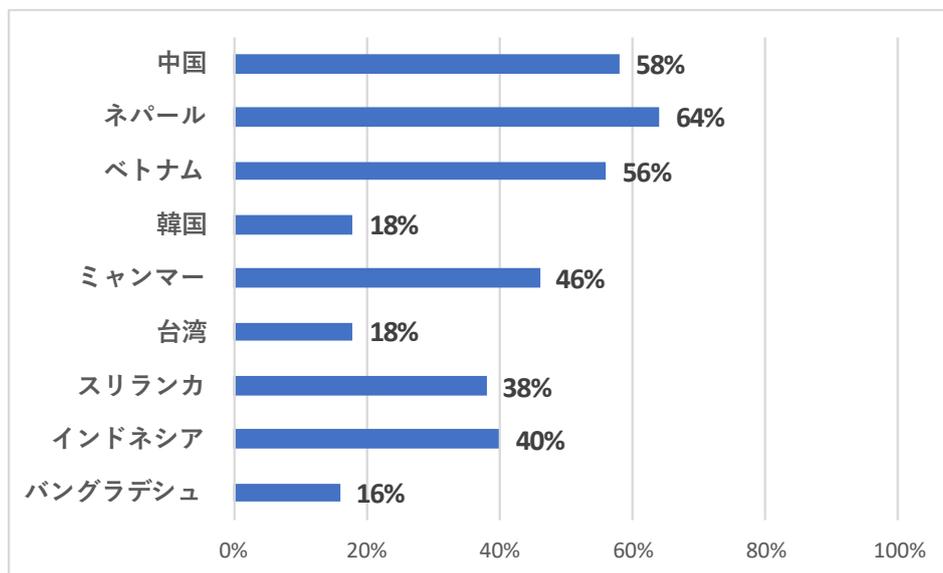
(1) 御校では留学生の受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を1つ選んでください。



(2) 御校はどのような学科で留学生受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を1つ選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

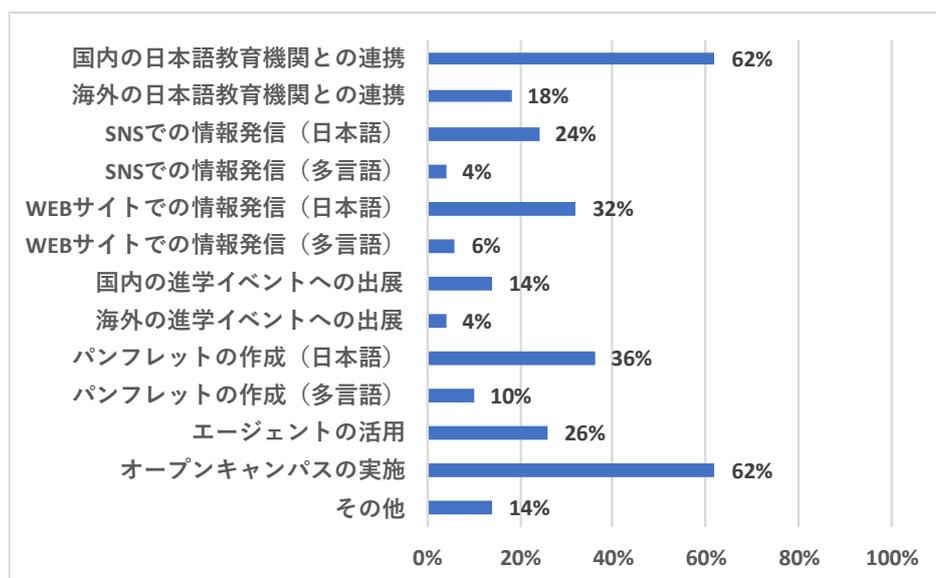


- (3) 御校に現在（令和6年度）在籍している留学生の出身国として当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



その他：モンゴル(17.6%)、インド(14.7%)、パキスタン(11.8%)など
他のASEAN諸国やアフリカからも少数

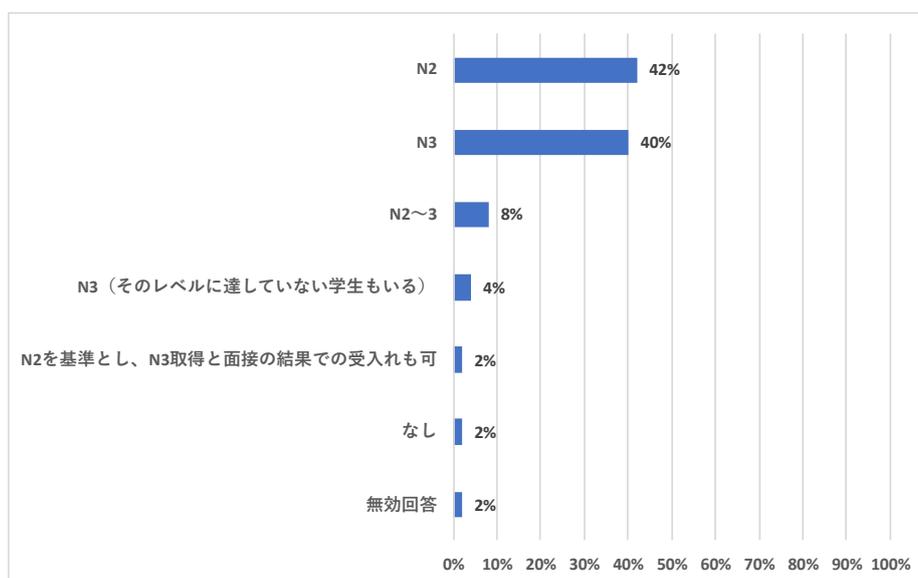
- (4) 留学生の募集にあたり御校ではどのような取り組みを行っていますか。特に力を入れている取り組みを3つまで選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



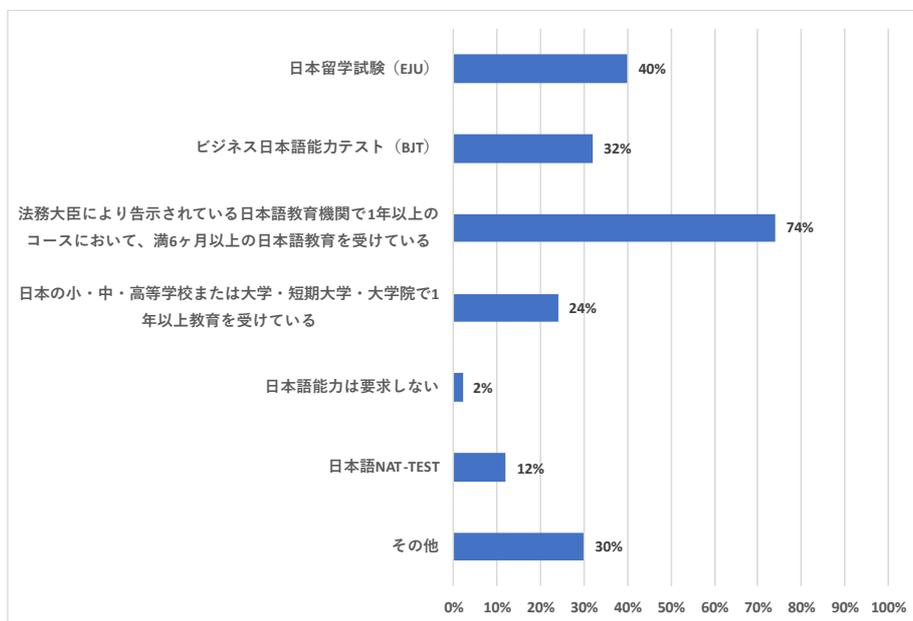
その他：・オンラインガイダンスの実施
・人材派遣会社、県介護留学生事業受託団体との協力

- ・留学生の為の学校説明会の実施
- ・採用が決定している留学生のみ法人からの相談により受け入れ
- ・同法人の日本語科との連携
- ・留学生受け入れ施設の拡大
- ・エージェントかは分かりませんが、中国の大学と提携しています。

(5) 御校の留学生の入学資格として、どの程度の日本語能力を基準としていますか。日本語能力試験（JLPT）のレベルを具体的にご記入ください。



- (6) 御校では、入学資格として日本語能力試験（JLPT）以外にどのような基準を採用していますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

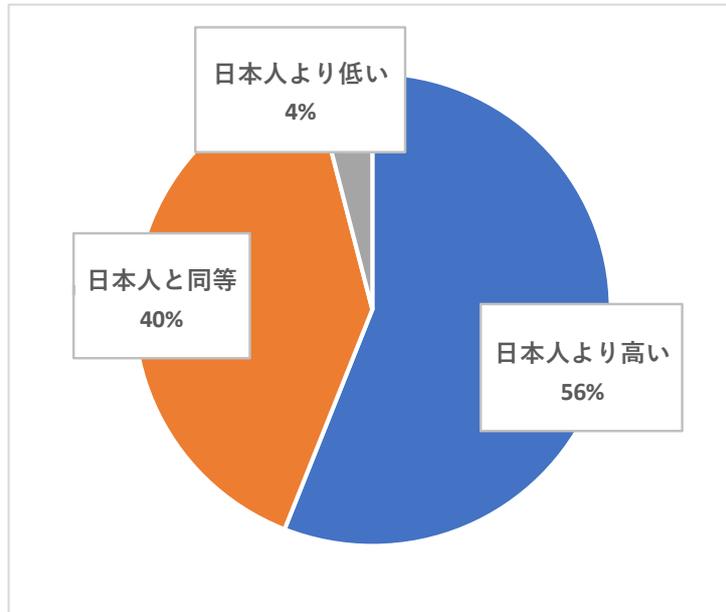


その他：・介護の仕事への理解と意欲

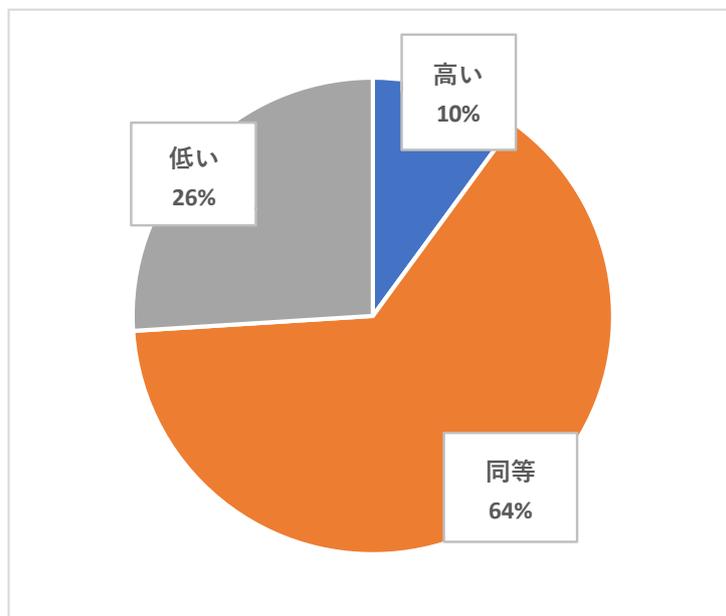
- ・当校独自の日本語試験の理解力、面接時の語学理解力・会話力
- ・JLPT が基準
- ・法務大臣により告示されている日本語教育機関で1年以上のコースにおいて、満1年以上の日本語教育を受けている
- ・面接 志望動機 意欲
- ・日本語 NAT-TEST, JLPT 日本語能力試験、J・TEST 実用日本語検定
- ・永住者または日本国籍の方から推薦を得られるもの。施設から推薦を得られるもの。国内外の高校卒業と同等の資格を持っているもの。
- ・外国において学校教育における12年の課程を修了している
- ・J. TEST 実用日本語検定
- ・出席率90%以上 経費支払い能力
- ・日本語学習機関の教育課程で60時間以上の学習を修了した者
- ・J-test、日本語学力テスト
- ・①授業料が払えるか ②Nなしであっても簡単な会話ができるか

(7) 御校で留学生教育を行う中で、日本人学生と比較して、留学生全般にどのような特性があると感じますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

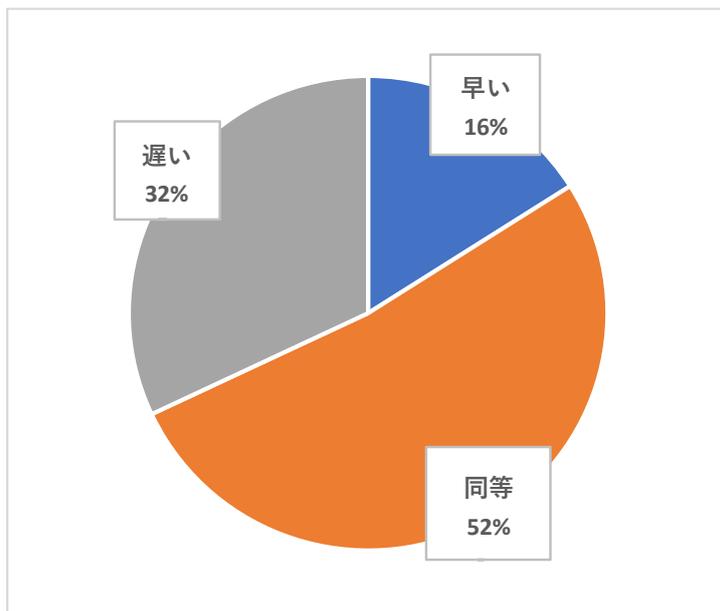
①学習へのモチベーション



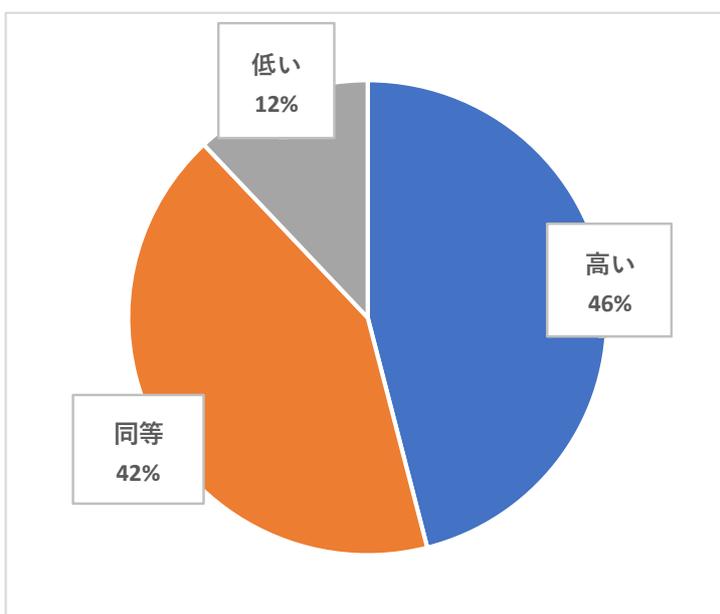
②基礎学力



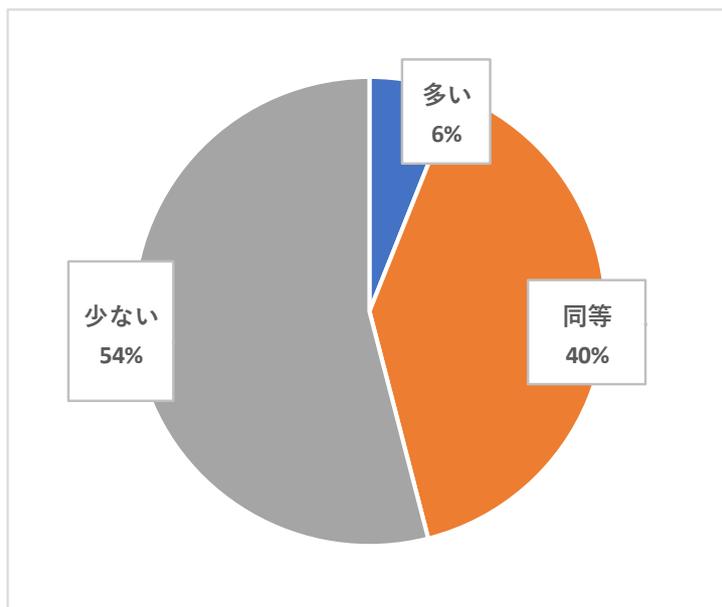
③専門知識・技術の習得



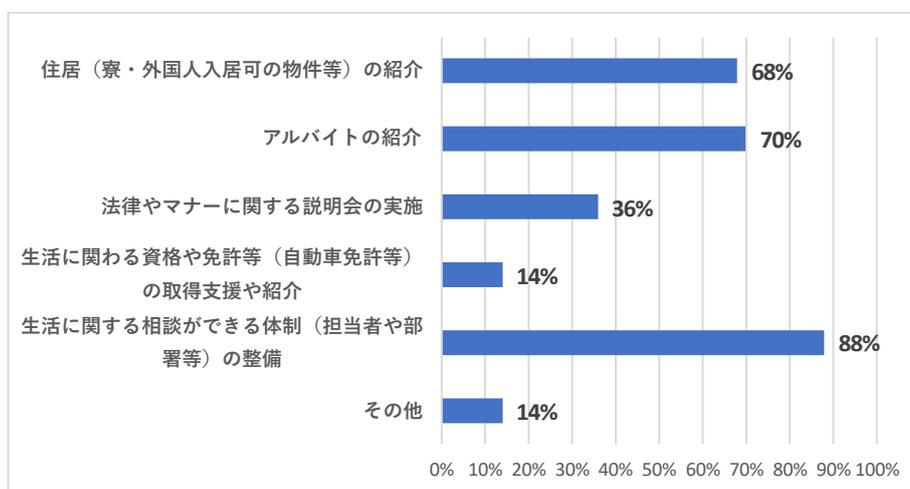
④自身のキャリアに対する意識



⑤就職に苦勞する学生



(8) 御校が留学生を受け入れるにあたり、生活面でどのような支援を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



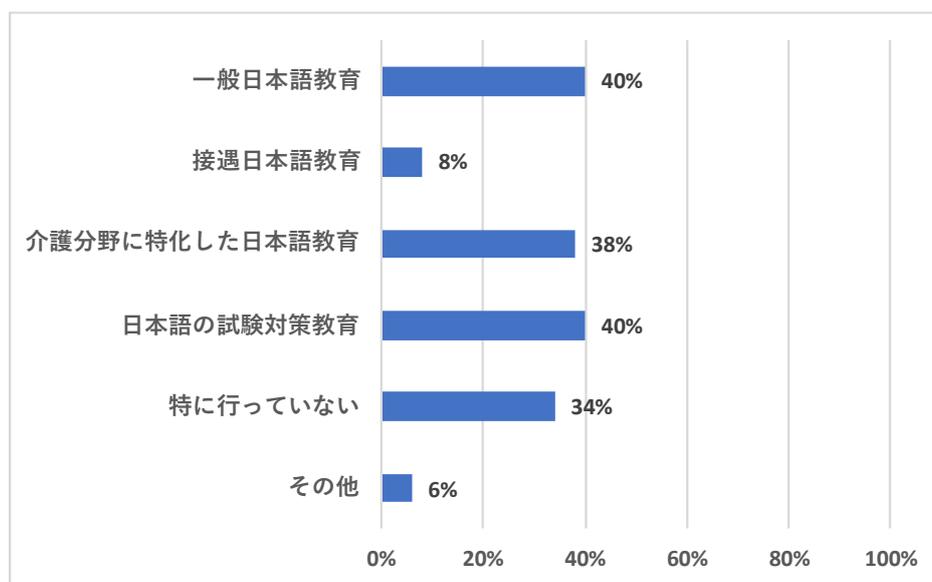
その他：・各種手続き 年金申請等

- ・ビザの更新
- ・学費を工面する修学資金貸付制度の利用サポート
- ・留学生用付帯学総の加入や保険請求代行、介護事業所との連携
- ・生活面については採用法人が主に支援を行っている
- ・地域・県からの活動紹介及び食料品のご提供

- ・ビザの更新手続き、奨学金の保証人探し、年金関係事務手続き、フードドライブの実施、学費の分納

2. 留学生への教育内容について

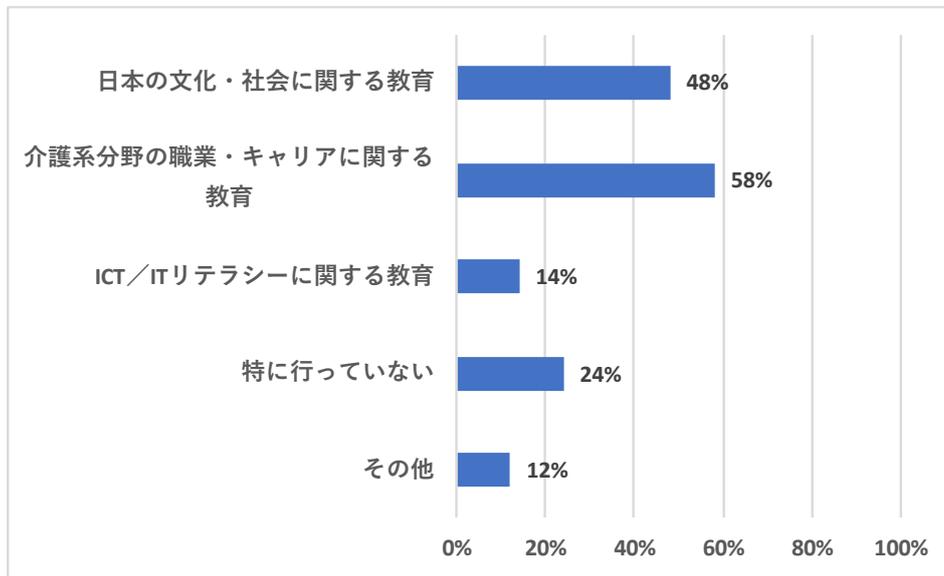
- (9) 御校で専門課程のカリキュラム内でどのような日本語教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



その他：・検討中

- ・カリキュラム外に日本語授業を行っている
- ・令和7年度から介護分野に特化した日本語教育も開始する

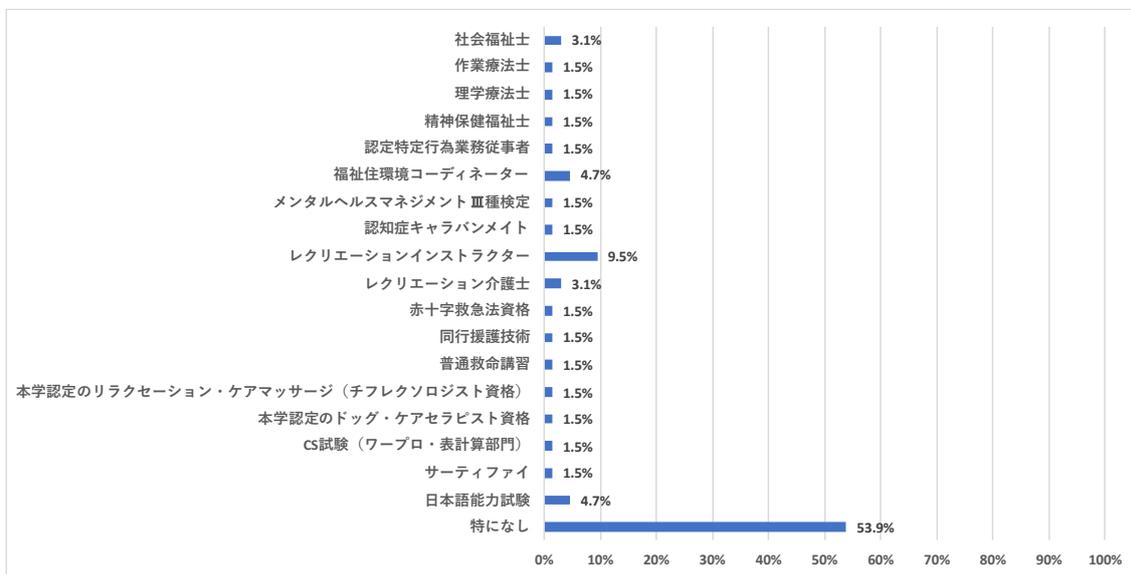
(10) 御校では介護系分野の専門科目や日本語教育の他にどのような教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。



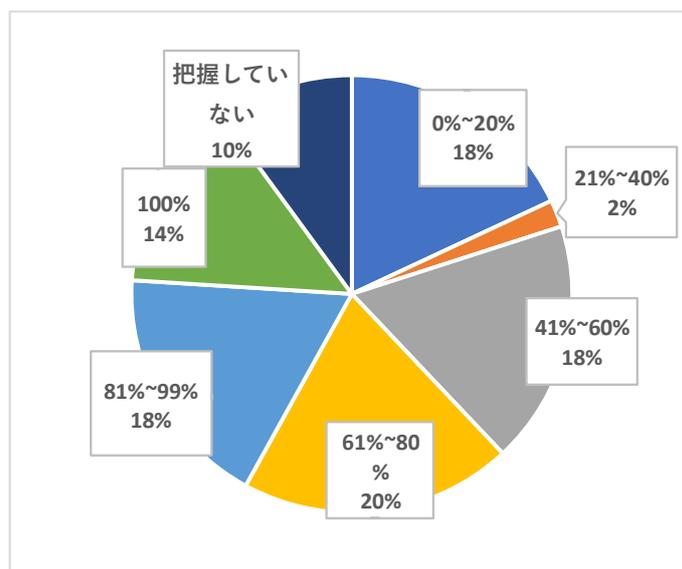
その他：・キリスト教に関する教育

- ・レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方
- ・情報処理のカリキュラムを取り入れている
- ・体育・地域活動実践
- ・検討中
- ・金融教育（年金の講義）、ネット犯罪について

(11) 御校のカリキュラムでは、留学生が「介護福祉士」以外に合格を目指している資格はありますか。ある場合には、具体的にご記入ください。ない場合には、「特になし」とご記入ください。

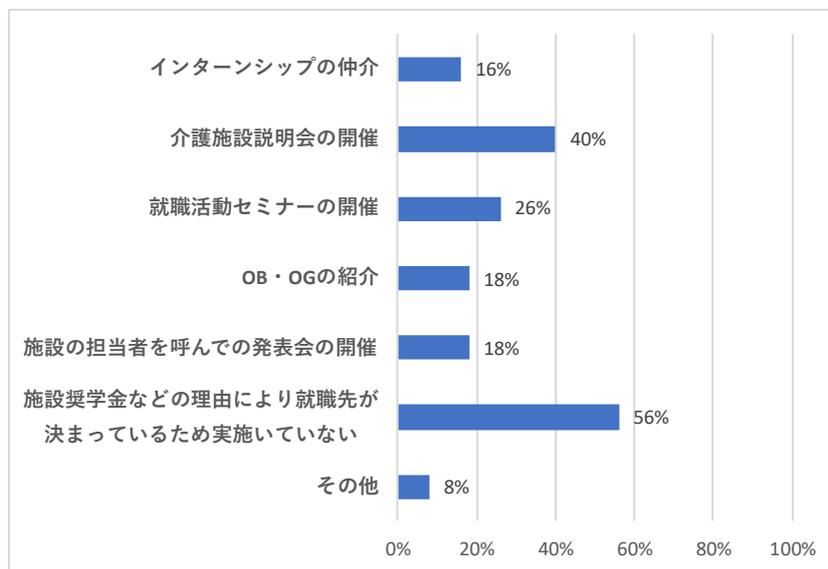


(12) 御校の昨年度の留学生の介護福祉士国家試験合格率について当てはまる選択肢を1つ選んでください。



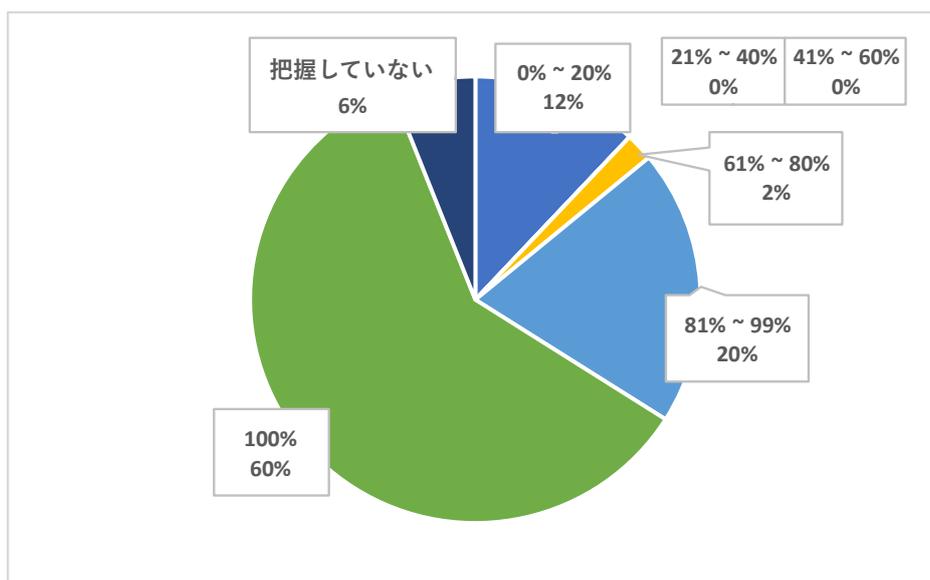
3. 留学生の就職について

(13) 留学生に対する日本での就職の支援として、御校ではどのような取り組みを行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

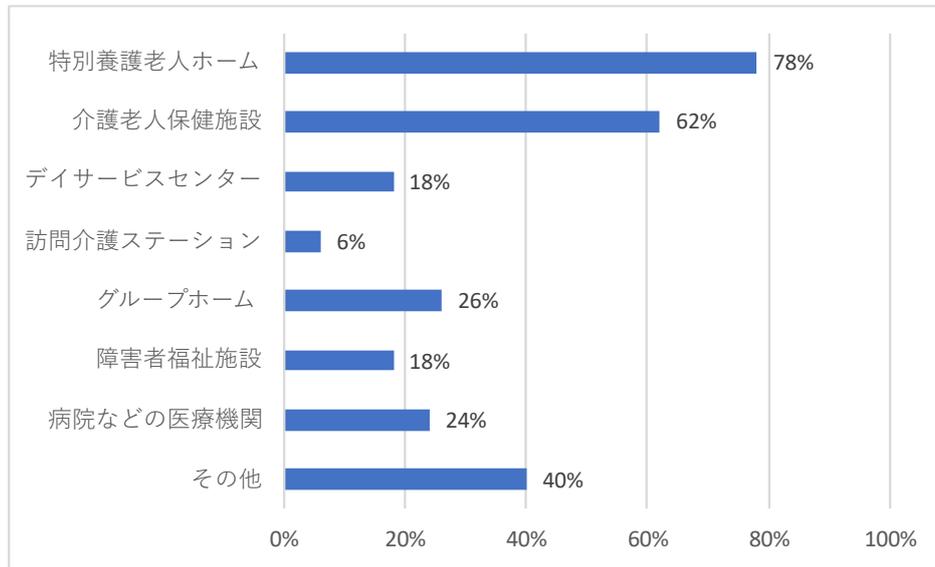


その他：
 ・中国留学生はほぼ施設奨学金（プロジェクト）、その他は上記対応
 ・就職ガイダンスや面接・履歴書指導等を実施
 ・留学生の受け入れ開始から卒業までの間に、就職先が決まっていない留学生を対象に、企業説明会を実施します
 ・介護実習を通し企業へ外国人就労者への理解を図る

(14) 御校の留学生の昨年度の御校所在都道府県内就職率について1つ選んでください。



(15) 御校の留学生の昨年度の就職先の実績について、次の選択肢の中から該当するものを当てはまる選択肢をすべて選んでください。「その他」を選択する場合には、具体的にご記入ください。

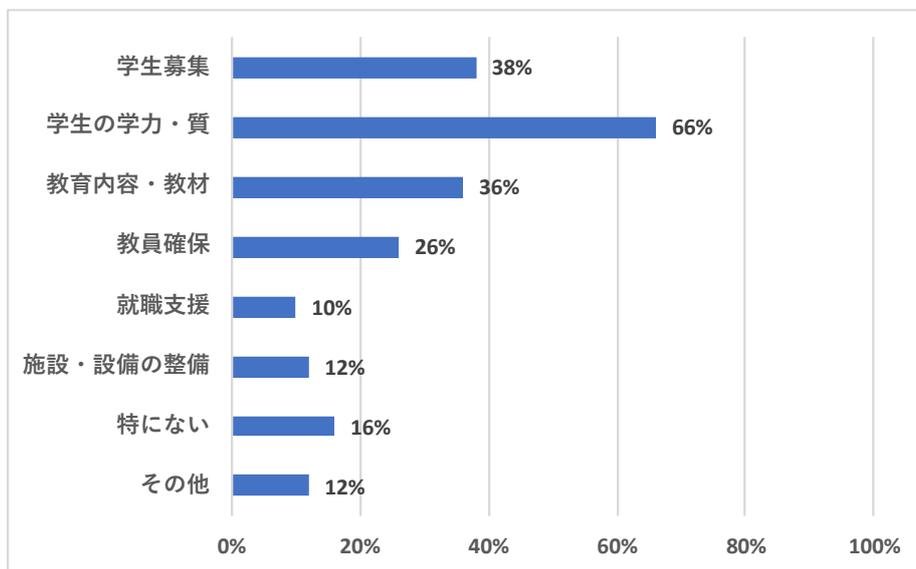


その他：・有料老人ホーム

- ・介護医療院
- ・多機能ホーム
- ・サービス付き高齢者住宅
- ・ケアハウス
- ・看護小規模多機能型居宅介護
- ・在籍者や卒業生なし
- ・配属先不明

4. 留学生教育における課題等について

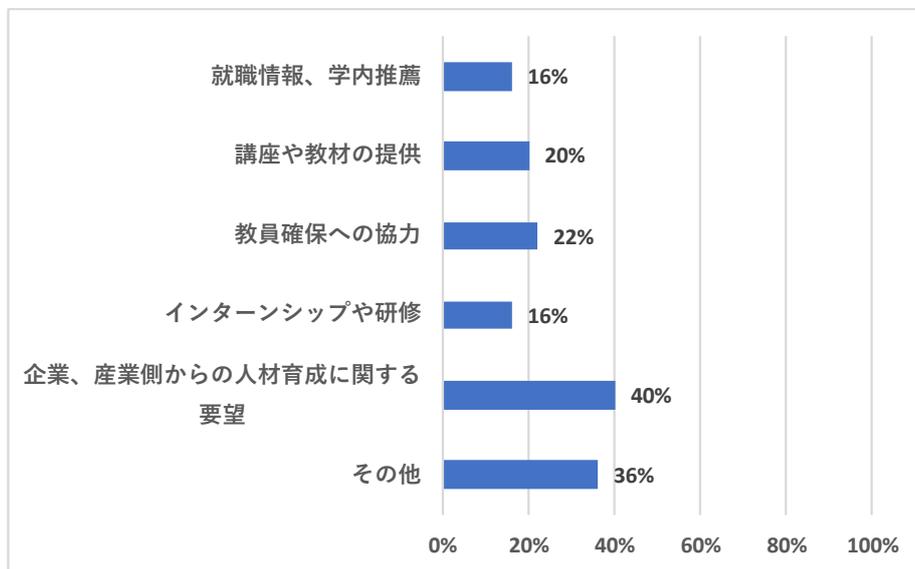
(16) 御校の留学生への教育について、課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。



その他：・学費工面

- ・学内での留学生受け入れ体制が明確ではなく、学科の教員の負担が大きい
- ・日本語能力
- ・小規模校のため、一般学生と留学生が同じカリキュラムで学習し進級試験を受けた際、再試験となってしまう。
- ・介護福祉士修学資金貸付制度の保証人問題
- ・日本語教育に力を入れるための費用と人材が必要

(17) 企業・団体、産業界との連携について、御校が現在課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。

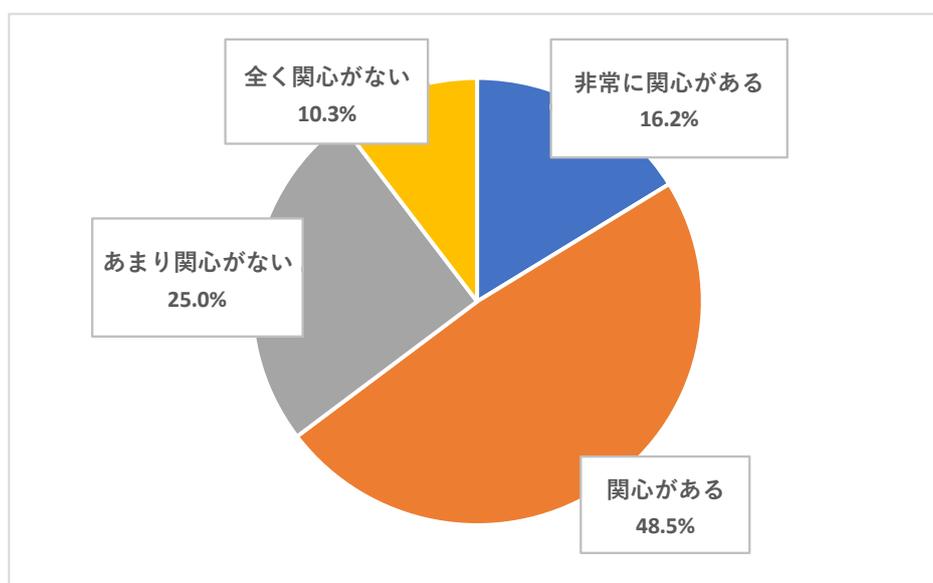


その他：・特になし

- ・施設奨学金実施先を増やし学生募集に繋げていきたい
- ・留学生を受け入れている施設とは定期的に情報交換をしていますのでその点では問題はありませんが、地域性の特性により留学生受け入れに積極的ではない施設が多い
- ・連携不足
- ・留学生を支援する法人（奨学金制度）の増加を期待したい。
- ・修学資金の保証人かつ、アルバイト先・就職先になっていただける施設の開発（特に留学生が自力で通える範囲）
- ・卒業後のフォローアップ体制
- ・学業とアルバイトの両立が難しい場合がある。

5. 本事業について

(18) 当法人は文部科学省委託事業の一環で専門学校や海外の日本語教育機関、企業及び業界団体等との連携のもと、留学生の募集・教育・生活・就職をトータルパッケージで支援する体制整備の事業を推進しています。本プログラムにご関心はございますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選んでください。



2.1.5. 調査結果のまとめ

今回実施した専門学校アンケートの調査結果について、調査項目を構成する大項目ごとに特に注目すべき点のまとめを行う。

1. 留学生の受け入れについて

この項目では、IT・情報系、自動車整備系、介護系の専門学校における受入状況、留学生の属性・特徴、留学生への生活支援状況等について尋ねている。

回答のあった専門学校に関していえば、調査項目(1)の結果より、留学生を受け入れている学校の割合が、自動車整備系の学校が8割を超え、他の2分野の7割台と比べて突出していた。このことから、自動車整備系の分野は、特に留学生を受け入れることに積極的であると考えられる。一方、IT・情報系と介護系の両分野でも、留学生の受け入れが比較的進んでいる傾向がある。しかし、調査項目(2)の結果より、多くの学校が日本人と同じ学科で留学生を受け入れていて、留学生のみ対象とした学校を設置している学校は少なかった。中でも、介護系の学校の9割以上は、日本人と同じ学科のみを設置している点が特徴的である。

留学生の出身を見ると、調査項目(3)の結果より、それぞれの分野に共通点と相違点が見られる。共通点としては、3分野全てでネパールとベトナムの留学生が高い割合を占めていることが挙げられる。特に、自動車整備系の分野では、ネパールが9割以上、ベトナムが約8割と極端に割合が高い。また、韓国は3分野全てで3割以下の割合となっており、他国に比べて割合が低い。一方、相違点としては、自動車整備系の分野ではスリランカが7割以上、バングラデシュが約6割と高い割合だが、他の2分野では割合が低いことが挙げられる。

調査項目(4)の結果より、留学生の募集に関しては、3分野全ての学校で国内の日本語教育機関との連携が最も割合が高く、オープンキャンパスの割合がこれに続いている。全ての学校が国内での募集活動に力を入れていることがわかる。一方、3分野全ての学校で多言語の情報発信(SNS、WEBサイト、パンフレット)の割合は10%以下で極端に低い。これらの情報発信は他の募集活動よりも優先度が低くなっている可能性がある。

留学生の入学資格とされる日本語能力の基準として多く挙げたのは、「日本語能力試験(JLPT)」である。調査項目(5)の結果より、3分野全てでN2レベル以上を求める学校が最も多い。これは、日本人と同じ学校で学ぶ際に必要となる日本語能力の基準として広く考えられているためである。ただし、N3相当のレベルから留学生を受け入れている学校も一定数あり、自動車整備系と介護系ではその傾向が顕著である。特に留学生対象の3年生学科の場合、日本語を学習する時間を多くとることができるため、卒業時までにはしっかりと日本語能力を身につけた人材の養成が可能になっていると考えられる。

一方、調査項目(5)の結果より、日本語能力試験以外の入学資格として、3分野全ての学

校が、法務大臣により告示されている日本語教育機関で 1 年以上のコースにおいて、満 6 ヶ月以上の日本語教育を受けていることを採用していることがわかる。特に、IT・情報系と介護系の学校では 7 割以上の学校が採用していて、日本語能力試験よりも重視している可能性がある。

日本人と比較した留学生の特性について「学習へのモチベーション」「基礎学力」「専門知識・技術の習得」「自身のキャリアに対する意識」「就職に苦勞する学生」という 5 つの観点から尋ねた。調査項目(7)の結果より、3 分野全てにおいて、5 つの観点全てについて日本人と同等であると考えている学校の割合が高い。ただし、「学習へのモチベーション」「自身のキャリアに対する意識」は日本人よりも高い留学生が多い傾向がある。一方で、IT・情報系と自動車整備系では、就職に苦勞する留学生が日本人よりも多いと考える学校が多数で、留学生のモチベーションやキャリアへの意識と現実との間にギャップがあることが推測される。

留学生に対する生活支援の面では、調査項目(8)の結果より、3 分野全ての多くの学校で、「住（寮・外国人入居可の物件等）の紹介」や「生活に関する相談ができる体制（担当者や部署等）の整備」に関する取り組みが行われている。なお、自動車整備系の分野では、「生活に関わる資格や免許等（自動車免許等）の取得支援や紹介」の取り組みが 6 割以上の学校で行われていて、他の 2 分野の 3 倍以上の割合となっている。自動車整備という分野の特徴から、自動車免許の取得が推奨されていると考えられる。

2. 留学生への教育内容について

専門課程のカリキュラム内で行われる日本語教育に関しては、調査項目(9)の結果より、3 分野全てで「日本語の試験対策教育」と「特に行っていない」の割合がそれぞれ 3~4 割となっている。就職活動で履歴書に書ける日本語能力試験（JLPT）の取得に力を入れる学校がある一方で、同試験で既に N2 レベル以上の留学生が多いからか、日本語教育を行わない学校もある。

専門科目や日本語教育の他に行われる教育に関しては、調査項目(10)の結果より、各分野の職業・キャリアに関する教育が多くの学校で行われている。特に、IT・情報系では、約 8 割の学校が Word、Excel などのオフィスソフトに関する教育を行っているが、これはオフィスソフトの利用がコーディングなどで必要になるからだと考えられる。

留学生にカリキュラムで合格・取得を目指させている資格に関しては、調査項目(11)の結果より、分野ごとの違いが顕著である。IT・情報系の分野では、約 7 割の学校が「基本情報技術者試験」の合格を、約 5 割の学校が「IT パスポート」の合格を目指している。自動車整備系の分野では、仕事において必須となる国家資格の中でも、ほぼすべての学校が「2 級自動車整備士」の合格を目指している。一方、介護系の分野では、5 割以上の学校が「介護福祉士」以外の資格を目指していない。

留学生の国家資格合格率は、調査項目(12)の結果より、自動車の学校では 100%が 5 割

以上である。一方、介護系の学校では、0～100%がそれぞれ同じくらいの割合で、これは留学生が介護福祉士になることの難しさを示唆している。IT・情報系の学校では、国家資格の取得よりも、Python・Java・JavaScriptなどのプログラミング言語の習得に力を入れている。

3. 留学生の就職について

留学生の就職支援の取り組みとしては、調査項目(13)の結果より、IT・情報系と自動車整備系の分野で「企業説明会の開催」と「就職活動セミナーの開催」を実施している学校が多い。一方、介護系の分野では「施設奨学金などの理由により就職先が決まっているため実施していない」と回答した学校が5割以上あり、これは介護の分野に特有の事情である。

調査項目(14)の結果は留学生の学校所在都道府県内就職率を表しているが、介護の分野は100%が6割で突出している。これは、留学生が学校所在都道府県内の施設から奨学金を受け取る一方で、一定期間働くことを契約する施設奨学金制度が理由である。他の2分野では、卒業後に他都道府県で就職する留学生の割合が高いが、東京や大阪などの大都市での就職を夢見る留学生が多いのかもしれない。

昨年度の就職実績に関して、調査項目(15)の結果より、自動車整備系の学校の卒業生はディーラー系企業への就職が9割以上、介護系の学校の卒業生は特別養護老人ホームや介護老人保健施設への就職が6～7割台である。一方、IT・情報系の学校の卒業生は、非IT系企業の非IT部門への就職がIT系企業への就職に次いで多いので、就職の際に選択肢に入る企業の幅が広いといえる。

4. 留学生教育等における課題について

留学生教育に関する課題としては、調査項目(16)の結果より、3分野全てで「学生の学力・質」が挙げられている。具体的には、留学生の日本語能力の低いことを指摘する学校が多い。また、IT・情報系の分野では、約6割の学校が就職支援を課題と感じていて、これは約4割の学校が学生募集を課題と感じていることにも連動している可能性がある。他の2分野の学校は、就職支援を課題と感じている学校が比較的少ないのとは対照的といえる。

調査項目(17)の結果は、企業・団体、産業界との連携における課題についての回答だが、IT系の分野では「就職情報、学内推薦」「教員確保への協力」「インターンシップや研修」「企業、産業側からの人材育成に関する要望」のそれぞれが3割を超えている。IT系の学校は企業・団体や産業界との連携が取れていない現状を示唆する。一方、自動車整備系の分野では、多くの学校が「その他」で「特になし」と記入していることから、自動車業界との連携は比較的良好であると考えられる。介護系では「企業、産業側からの人材育成に関する要望」を課題と感じる学校が4割で突出している。

5. 本事業について

本事業のプログラムへの関心という点では、調査項目(19)において、3分野全ての専門学校半数以上の約6割が「非常に関心がある」または「関心がある」と回答した。留学生の受入を行っている専門学校の関心はかなり高いことがわかった。

2.2. 企業対象ヒアリング調査

2.2.1. 調査概要

(1) 調査目的

IT・情報通信系企業・団体や自動車整備工場・自動車系企業、介護事業者等に対して、外国人材の雇用実態等に関する調査を行うことで、留学生の学習支援・就職支援を検討する際の基礎資料を収集すると共に、事業活動の周知と事業活動への協力可能性を把握することを目的とした。

(2) 調査対象

主に九州地域または日本国内の IT・情報通信系企業・団体・有識者や自動車整備工場・自動車系企業、介護事業者など 20 主体を対象とした。

(3) 調査手法

ヒアリング方法は、あらかじめヒアリング項目「外国人材雇用に関する実績」「外国人材雇用に関する意向」「外国人材に求める資質・能力」「外国人材雇用に関する課題」を提示し、当日は主にオンラインで実施をした。

2.2.2. 調査結果（IT・情報分野）

①外国人材雇用に関する実績

外国人材雇用の実績がある企業では、ベトナム・韓国・マカオ出身の外国人を新卒採用した。どの企業も学歴には拘らない方針で、外国人従業員の学歴は、大学・大学院卒だけでなく、IT系専門学校卒も含まれる。

雇用に至った経緯としては、日本人・外国人を問わず、人間性やコミュニケーション能力を平等に評価した結果、外国人を採用したと回答した企業がある。この企業は、採用した外国人が、日本に対する愛情や将来の夢を流暢な日本語で素直に語ってくれたことに好印象を抱いた、という。また、スキルさえあれば外国人採用する方針を以前から貫いている企業もある。この企業では、外国人従業員の職種がデザイナー・エンジニア・営業と幅広い。

一方、外国人材雇用の実績がない企業は全て、求人で外国人の応募がなかった。企業によっては、リモートワーク中心のワークスタイルで、外国人を排除するわけではないが、そもそも応募がないのが現状である。前身となる企業で外国人を雇用した経験のある企業の話によると、この外国人はコーディングに特化した業務に従事していたが、漢字の読み書きまでできる日本語能力があり、コミュニケーションに全く問題がなかったという。能力の高い外国人は採用されやすい傾向にあると考えられる。

②外国人材雇用に関する意向

採用実績のある企業もない企業も全て、外国人雇用に関しては前向きな意向を示した。特に、採用実績のある企業の中には、外国人従業員の母国との強いつながりを感じるようになり、現地に赴いて優秀な IT 人材を確保したい、と回答した企業もあった。この企業は、将来の人材不足を外国人材で補うことも視野に入れ、生産年齢人口が増える国にビジネスチャンスを見出している。また、積極的に外国人材雇用を考えている一方で、国際情勢の理由から一部の国々の出身者については採用の可否を慎重に検討しなければならない、という回答もあった。特に大企業は、取引先との信頼関係構築を考えた採用も必要となる。

採用実績のない企業に関しては、外国人材雇用に関する積極的な回答が多数だった。組織の規模拡大に伴って再現性を確認する目的で幅広く採用したいという回答があった。また、地方の人材流出を問題視していて、その地方で働きたいという外国人を採用したい、という回答もあった。企業によっては、未経験者を中途採用していて、今後も社員を増やすことを考えているが、外国人材雇用の優先順位は高くないという。また、外国人材雇用に関する消極的ではないものの、現時点では検討していない企業もあった。

③外国人材に求める資質・能力など

採用実績のある企業はいずれも、外国人従業員が自社に定着してくれることを望む。外国人従業員には突然の帰国や失踪などのリスクがあるため、そのリスクを最小限に抑えることを企業は重視する。一方、やる気や未来ビジョンを持って夢を追いかけることや、キャリアパスとして設計者を目指すことを求める企業もあり、外国人従業員にも会社の中核で活躍してほしいという期待が現れている。

コーディングなどの IT スキルに関しては、多くの企業が外国人に求めるレベルは決して高くない。専門学校などで学ぶ程度のスキルがあれば十分で、実際の業務に必要なスキルは研修や OJT で習得すればよいと考えるからである。AI の知識についても、自分が作れなくても、限界でどういうことができるのかを知ってほしい、という回答があった。一方、基本情報技術者試験の取得を応募の必須条件にしている企業もある。実際の業務についていくだけのスキルがあるかどうかを資格で判断されるため、外国人に限らず日本人にとっても狭き門であると考えられる。また、面接で学歴や能力よりも趣味を重視する企業もある。この企業は、知識や技術が好きな方が勉強するよりも習得が早いという理由から、ゲームやアプリの制作といった IT 関連の趣味を持つ人材を求めている。

一方、全ての企業が外国人材に一定水準以上の日本語能力を求める。もっとも、この水準は、日本語でのコミュニケーションに支障がないレベルから、プログラミングを教わって理解するレベル、言語設定が日本語の PC で作業ができるレベル、業務に関するドキュメントを漢字があっても読めるレベルまで、企業によって異なる。また、英語などのメ

ジャーな言語を話せる外国人材に対して、日本人が取って来られない案件を取って来る可能性に期待する、という回答もあった。しかし、多くの企業では日本語以外の英語などの能力はあまり重視していない。

さらに、企業の多くは、外国人材に対して、日本文化の理解や日本で生活経験を重視する傾向がある。一人で仕事をこなせる人材を求める企業は、その独り立ちの中に、日本での生活でトラブルを抱えていないことを含めている。会社側で社員の日常生活まではフォローできないからである。特に小規模な企業は、フォローや教育にかかるコストが増大すると、それがそのままリスクになることを懸念する。逆に、日本の風習や地域文化を理解してなじもうとする姿勢は、企業に好印象を与えやすい。たとえば、飲み会に積極的に参加する外国人従業員を高く評価する企業があった。また、日本と他国で「約束」の意味が異なるため、企業によっては、納期厳守といった日本基準に合わせることを外国人従業員に強く求めている。

今回ヒアリングした有識者から、大企業のブリッジSEに求められる資質・能力についても話を聞いたので追記する。ブリッジSEには、日本語と英語が堪能であることが求められる。しかも、この言語能力を、通訳だけでなく、円滑に業務を行うことにも活かさなければならぬ。たとえば、オフシェア開発の案件を獲得する役割を担う場合、営業としてのコミュニケーション能力も必要となる。こうした事情もあり、大企業のブリッジSEは全員が大学卒で、レベルの高い人材だったという。

④外国人材雇用に関する課題など

外国人材雇用の実績がある企業からは、外国人従業員が帰国や失踪で突然辞めてしまうリスクを懸念する回答を得た。また、外国人従業員が日本基準の約束を守らないことでトラブルが発生したこともあったというが、これはその従業員に日本基準を教えたという。一方で、外国人従業員に関して何の問題もなかった企業は、特に課題はないと回答した。

外国人材雇用の実績がない企業の多くは、特に課題はない、と回答した。ただし、労働法規・社会保障の適用範囲や在留資格の取得・更新の手続きに関して理解が不十分なことから、外国人従業員を受け入れることにやや不安を感じているという企業がある。こうした法律的・制度的な問題を社内の人材で解決できるかがわからないため、現状では外国人材雇用に消極的になっている企業もある。

また、外国人従業員を雇った場合、生活の中で起こる特殊なイベントには対応できるが、食事などの日常生活まではサポートできない、という回答もあった。特に小規模な会社は、リスクを最優先で考えるため、どうしても外国人材雇用については優先順位が低くなるを得ないという。

大学勤務の経験がある有識者からも、外国人材雇用に関する課題の話聞いたので追記する。大学卒の外国人は、地元企業ではなく、東京・大阪・福岡の大都市での就職を希望

することが多い。また、企業が学生に学歴を求めるため、専門学校卒業後に大学に進学した方が就職につながりやすい。さらに、地元の IT 企業が大学にブースを出しても学生が集まらず、広報が上手く機能していなかった。この点に関しては、特別講義などを実施することで改善しつつあり、学生の間で地元企業の認知度が高まってきた。こうした状況をふまえると、大学生が地元での就職を希望しない以上、専門学校とコラボした採用がますます重要になってくるだろう。その中で、地元の IT 人材不足を解消するため、外国人留学生の受け入れも必要になると考えられる。

2.2.3. 調査結果（自動車整備分野）

①外国人材雇用に関する実績

今回ヒアリング対象となった企業 6 社に関しては、国内の自動車整備系専門学校の卒業生を新卒採用していて、従業員数が多いほど外国人従業員数も多い傾向がある。一部の企業では、中途採用や技能実習生の受入も行っている。ただし、中途採用を行った企業は、専門学校から紹介された外国人を採用しているため、専門学校が採用で果たす役割は大きいといえる。雇用の経緯としては、全社が日本人の人材不足を挙げた。日本で少子化が進んでいることに加え、整備士を目指す日本人が減ったことを指摘する企業もあった。また、自動車整備士の有資格者であることを強調する企業もあり、外国籍の従業員にはキャリアチェンジを求めず、整備士として最後まで働いてもらいたいという意向があると考えられる。外国人従業員の国籍の面から見ると、ベトナム・ネパール・スリランカが多数だが、フィリピン・インドネシア・インド・中国の出身者も見られる。

②外国人材雇用に関する意向

本項目においては、今回ヒアリング対象となった企業 6 社全てが、今後も採用する意向を示している。積極的に、もしくは、継続的に採用していきたいと回答する企業もあり、自動車整備士の資格を有する外国人に対する期待が大きいと考えられる。外国人従業員が非常に勤勉であることを評価した上で、会話も問題なくできて、日本人と比較しても全く変わりなく仕事を任せられることを強調する企業もあった。この企業は 2 年前より外国人材雇用を始めたという経緯があり、2024 年時点で外国人従業員数は 2 名で、どちらも国内の自動車整備系専門学校の卒業生である。このことから、専門学校は留学生に、自動車の整備技術だけでなく、社会人としてのマナーや日本語など、国内企業に順応するために必要なスキルを身に付けさせていると考えられる。専門学校が企業の要望をふまえた教育を実施していることで、企業の外国人材雇用にイメージが向上している可能性がある。

③外国人材に求める資質・能力など

本項目においては、今回ヒアリング対象となった企業 6 社全てが、外国人材に求める能力として日本語能力を挙げた。日本語能力試験（JLPT）で N2 以上を理想とする企業もあ

り、日本語能力試験の級が採用の可否を決める要因になり得ることを示唆している。一方、日常会話が問題なくできるレベルを求める企業もあれば、話すだけでなく書くことにも支障を来さないレベルの日本語能力を求める企業もある。企業が外国人材に求める日本語能力のレベルは一律ではない。また、自動車整備士資格は必須で、2級自動車整備士以上を求める企業もあった。留学生の場合、専門学校在学中に2級自動車整備士まで合格していることで、就職の幅が広がると考えられる。

他に求める資質・能力などとしては、複数の企業がコミュニケーション能力・協調性・積極性を挙げた。日本語能力以外は日本人と求める能力は同じと回答した企業もあり、外国人だからといって日本人よりも採用基準を低くするわけではない企業が大半であると推測される。

④外国人材雇用に関する課題など

本項目においては、今回ヒアリング対象となった企業6社全てが、外国人従業員の離職をリスと捉えていることが明らかとなった。離職の原因は、最も多いのが帰国だが、配属先に外国人従業員のコミュニティがないことを挙げる企業もあった。外国人従業員本人の事情だけでなく、その従業員を取り巻く環境も重要であると考えられる。また、離職する外国人従業員が多いと、社内教育を行うモチベーションを維持するのが困難になると回答した企業がある。一方で、外国人従業員の定着率を高めるため、乙種第4類危険物取扱者免状など、自動車整備士以外の日本国の専門技術資格取得を支援するといった施策を行っている企業もある。

離職以外の課題としては、企業側が把握しなければいけない在留資格の手続き・更新、宗教や食文化の違いから生じる価値観の違い、保証人がいないことによる住居・車両購入のハードルを挙げる企業があった。また、複数の企業は、外国人従業員の日本語能力に不安を抱いていて、整備士以外のポジションへのキャリアアップが難しいことを指摘する回答も見られた。企業によっては選考の際に日本語能力試験（JLPT）の結果を確認するようにしているが、認定を受けていない外国人も多く、面接だけで日本語能力を正確に把握できないことも課題となっている。

2.2.4. 調査結果（介護分野）

①外国人材雇用に関する実績

今回ヒアリング対象となった2事業者に関して、外国人従業員数はそれぞれ2名から5名と少数であり、その雇用に至った経緯は多岐にわたる。一つ目の事業者では、外国人従業員の一人が日本語学校で1年間日本語を学び、その後介護系の専門学校に進学した。専門学校を卒業後、学校から紹介されたことで、現在の職場に就職することとなった。もう一つの事業者では、同様に日本語学校・介護系専門学校を経て、さらに他の障害者施設や

高齢者施設での勤務経験を積んだ後、最終的にはハローワークや他社からの紹介を受けて入社に至った。

今回ヒアリング対象となった2事業者に関して、国籍はどちらにもミャンマーとネパールからの従業員が在籍しており、さらに一社にはベトナム出身の従業員も含まれている。このことから、特にアジア地域からの人材流入が顕著であるといえる。日本国内では、介護職を担う日本人労働力が不足しているという課題が深刻化していて、外国人従業員の雇用がますます重要になっていくと考えられる。

②外国人材雇用に関する意向

本項目において、今回ヒアリング対象となった2事業者はいずれも、状況を見ながら今後も外国人材の採用を継続する意向を示している。介護業界における人手不足の深刻化を背景に、外国人材の採用が選択肢として重視されていることが示唆される。

ただし、採用に関しては事業者ごとに一定の条件や制限も存在していて、外国人従業員を増やすかどうかは事業者ごとの判断に委ねられる。今回ヒアリング対象となった2事業者のうち1事業者は、採用人数上限の兼ね合いを考慮すると回答した。外国人材雇用には、業務内容や職場環境、そして日本人従業員とのバランスなど、事業者が抱えるさまざまな要素が関係する。たとえば、外国人従業員が増えることで、チーム内の調整や言語・文化面での支援なども必要となるため、事業者側としては安定した運営を維持する上で、外国人材の雇用に一定の人数制限を設ける可能性も考えられる。

③外国人材に求める資質・能力など

本項目においては、今回ヒアリング対象となった2事業者のいずれも、外国人材に求める能力として日本語能力と協調性を挙げた。その理由として、介護などが必要な高齢者に対して、周囲と協働・連携する必要があることを強調する事業者があった。介護はチームワークを必要とする仕事であり、介護スタッフが利用者、さらには同僚や他の医療従事者と密に連携を取ることが求められる。このような環境では、コミュニケーションの障壁を最小限に抑え、円滑な協力を図るために、日本語能力が欠かせないといえる。また、外国人従業員に対して日本文化の理解を求める回答もあった。

さらに、2事業者のいずれも、介護業界で外国人材を雇用するためには、介護に対する基本的な知識とスキルが必須であるという点も強調する。介護職は身体的なサポートにとどまらず、心理的サポートや医療的な知識を必要とする場面も多く、これらをしっかり理解していることが求められる。

④外国人材雇用に関する課題など

本項目において、今回ヒアリング対象となった2事業者はいずれも、外国人従業員の離職に対する懸念を示した。このことは、外国人従業員が特定の事業者に定着しないという課題を浮き彫りにしている。

ある事業者は、外国人従業員が将来的に母国へ帰ってしまう可能性を指摘する。この事業者では、国籍の違いが原因で、異なる文化的背景などが離職につながる可能性があるとして回答した。特に、外国人従業員は日本での生活において孤立感を感じたり、母国の家族やコミュニティとのつながりが強かったりする場合、帰国を考えることが少なくないと考えられる。

別の事業者では、奨学金契約終了の3年経過後に転職するという事情を挙げた。ここでいう奨学金契約とは、介護施設などの施設が介護系専門学校で学ぶ外国人学生に対して奨学金を提供する一方、卒業後の学生にその施設で一定期間働くことを契約として求める施設奨学金制度である。この制度は、在学中の学生が学費の工面できるだけでなく、施設でのアルバイトを通して日本語や介護技術を学べるという利点もある。一方で、今回の回答で見られるような事情も事業者の課題になり得ることを示唆している。

2.3. 就職・定着に向けた取り組み事例調査

2.3.1. 調査概要

(1) 調査目的

留学生の就職や地域定着に向けた官民の様々な取り組みの事例を調査することで、留学生の就職や日本および九州地域での定着を促進するための取り組みを行う際の参考資料を収集することを目的とした。

(2) 調査対象

主に日本国内で行われている留学生の就職や地域定着に向けた官民の取り組みの事例を30件収集した。

(3) 調査手法

インターネットによる文献・資料・報告の収集にて調査を実施をした。

2.3.2. 調査結果（IT・情報分野）

留学生の就職や地域定着に向けた官民の様々な取り組みの事例を調査し、30件まとめた。以下にそのリストを提示する。各取り組みの詳細は、本事業の成果報告書にて記す。

- ①外国人材の受入活躍推進に向けた鹿児島県の取組
- ②高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援
- ③DATEntre 東北イノベーション人材育成プログラム
- ④外国人留学生の国内就職支援に関する協定
- ⑤外国人留学生等就職・採用支援事業
- ⑥特定技能外国人受け入れ支援サービス
- ⑦外国人住民向けの日本語教室
- ⑧外国人児童の「不就学ゼロ」を目指す適応指導教室「ばら教室 KANI」
- ⑨防災訓練に外国人住民が参加
- ⑩多文化共創担い手育成事業「Roots インターン」
- ⑪留学生就職支援コンソーシアム SUCCESS
- ⑫外国人材の国内定着実現に向けた取組み～損保ジャパンと新サービス開発へ協業開始～
- ⑬ふくい雇用創出・定着支援事業
- ⑭一般社団法人 泉佐野市外国就労者サポートセンター
- ⑮周南公立大学留学生地域定着支援プログラム
- ⑯地方自治体向けの外国人介護人材の受入れ・定着支援サービス
- ⑰留学生キャリア形成・地域定着プロジェクト「Link KAGAYAKI」
- ⑱外国人向けの相談窓口「仙台多文化共生センター」
- ⑲夜間学習支援教室「Minami こども教室」
- ⑳外国人向け介護職員初任者研修及び就業支援事業
- ㉑宮崎ーバングラデシュ・スタイル
- ㉒理工系外国人留学生紹介の『リュウカツ®』
- ㉓アジア等 IT 人材定着支援協議会

- ②④事業者団体と県の共同による外国人介護人材のマッチングから定着等の一貫支援の実施
- ②⑤外国人介護人材受入事業所への巡回相談や研修交流会の実施等のメンタルヘルスケア
- ②⑥受入支援セミナーや受入に役立つガイドブック作成等の事業所等への受入支援
- ②⑦自動車整備事業者が外国人材を採用するための支援サービスを開始
- ②⑧外国人材向け自動車整備分野の教材
- ②⑨外国人自動車整備要員紹介事業で初めての契約を締結
- ③⑩外国人介護人材雇用支援事業

図表 3 就職・定着に向けた取り組み事例調査のリスト

ここで収集した取り組みに関しては、次年度分析を行い、今後の留学生の就職・定着に向けた取り組みの中で参考としていく。なお、事例の詳細は本報告書の巻末の附録にて掲載する。

3. 体制整備【①入学前の留学希望者等に対する取り組み】

本事業では、令和6年度の「体制整備【①入学前の留学希望者等に対する取り組み】」の一環として、「多言語パンフレットの制作」「留学生インタビュー動画の制作」「海外日本語教育機関との連携」「SNSの運用」という4つの取り組みを行った。以下に各取り組みについて述べていく。

3.1. 多言語パンフレットの制作

本事業に参画する専門学校のパンフレットをターゲット国（地域）の言語に翻訳し、同内容のウェブ版も制作するという取り組みを行った。今年度は本事業の参画機関であるIT・情報分野の鹿児島情報ビジネス公務員専門学校、自動車整備分野の九州工科自動車専門学校、介護分野の宮崎福祉医療カレッジの3校を対象とした。本事業のターゲット国であるベトナム、ネパール、インドにおける国語や多くの国民が理解できる言語を検討した結果、今年度は英語とベトナムへの翻訳を行った。

次のページに例として鹿児島情報ビジネス公務員専門学校の英語版パンフレットの一部を示す。

Take the first step towards your dreams at KBCC!!

▷ About KBCC

Kagoshima College of Computer Business and Public Service (KBCC), established in 1987 with the approval of the Governor of Kagoshima prefecture, is a vocational school with a long history and proven track record in business education. Located in Kagoshima City in southern Kyushu, the climate is mild and comfortable. Situated in the most bustling area of Kagoshima Prefecture, it offers convenient access to transportation, shopping, dining, part-time jobs, and leisure activities.



▶ International Business: Highlights

The "International Business Department," established in 2019, is a specialized course for international students who aim to work in Japan. In two years, students will gain knowledge and skills in their specialized field, as well as Japanese language and communication skills. Upon graduation, students will receive the "Diploma" qualification and aim to find employment in companies.



▶ Japanese Language: Highlights

Students develop Japanese proficiency through balanced training in listening, speaking, reading, and writing. They also receive career guidance to enter their desired graduate school, university, or vocational school.



Principal's Greeting

Slowly, steadily, surely.

Many international students study at KBCC. Student life at KBCC is fulfilling, with classrooms filled with smiling students, energetic school events, and career counseling sessions with teachers who have a serious look in their eyes. All of our faculty and staff are looking forward to your enrollment.

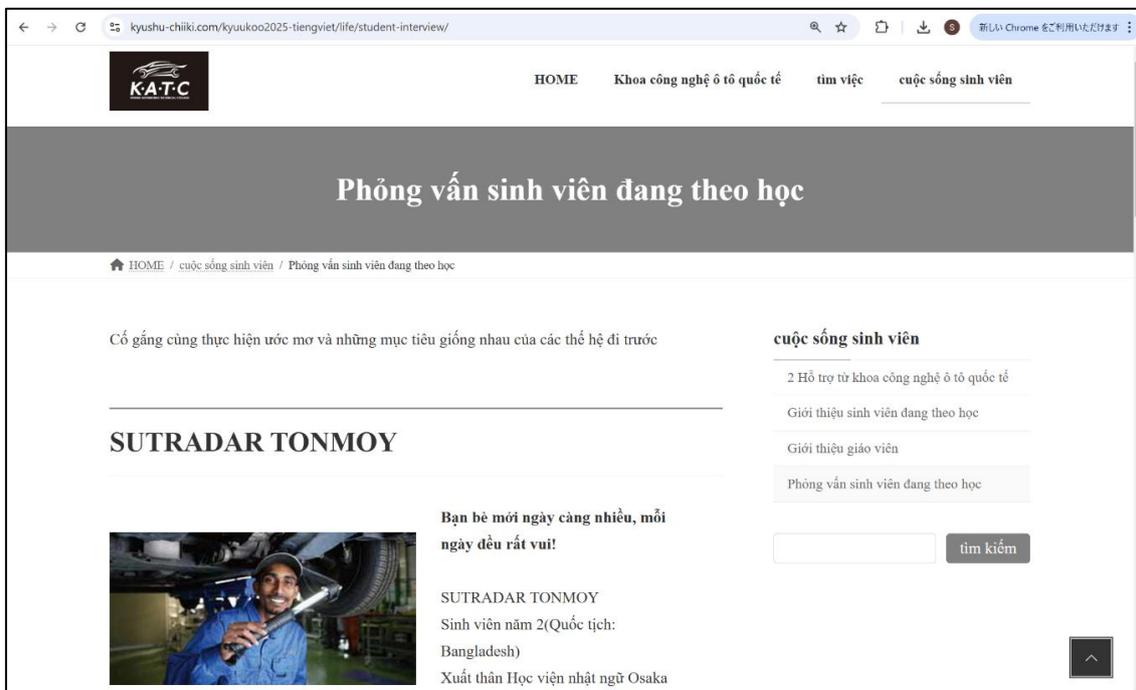
Yoshitaka Nakahiro, Principal of Kagoshima College of Computer Business and Public Service



2

図表 4 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校の英語版パンフレット

また、PC スマートフォンでも学校情報へのアクセスを容易にできるよう、ウェブサイトも制作した。例として九州工科自動車専門学校のベトナム語版サイトを提示する。



図表 5 九州工科自動車専門学校のベトナム語版パンフレットウェブサイト

3.2. 留学生インタビュー動画の制作

現役の専門学校留学生に対して、実際の留学生活に関するインタビューを日本語と母語（または母国語）の両方で1人当たり2回行い、動画コンテンツ化した。今年度は鹿児島情報ビジネス公務員専門学校の留学生3名（ネパール2名、ミャンマー1名）、九州工科自動車専門学校の留学生2名（ネパール）、宮崎福祉医療カレッジの留学生3名（ベトナム）、計8名分で16本のインタビュー動画を作成した。例として、宮崎福祉医療カレッジのベトナム人留学生の日本語インタビューと九州工科自動車専門学校のネパール人学生のネパール語インタビューの動画の画面を掲載する。



図表 6 宮崎福祉医療カレッジのベトナム人留学生の日本語インタビュー



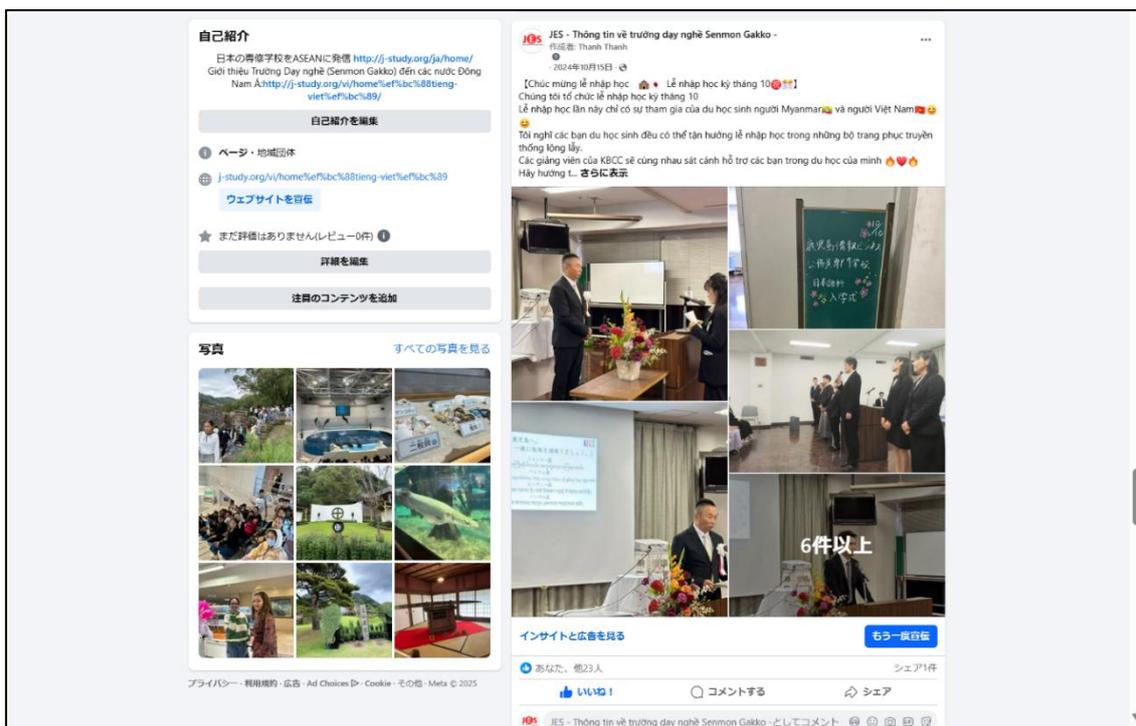
図表 7 九州工科自動車専門学校のネパール人学生のネパール語インタビュー

3.3. 海外日本語教育機関との連携

上記のパンフレットや動画を本事業において連携・協力関係のある海外日本語教育機関において活用している。まだ日本語の能力がそれほど高くない状態で母国にいる日本留学希望者にとって、自身が理解できる言語で詳細な学校情報を得ることができるのは貴重な機会なので、今後も継続していきたい。

3.4. SNS の運用

本事業では SNS を活用して、専門学校や日本文化・社会の情報、ニュースなどを発信していく。本事業に連携機関として参画している各専門学校は、特に Facebook などでの情報を発信している。しかし、基本的には日本語での発信であるため、日本に留学する前の留学希望者には情報がなかなか届きにくい。そこで、本事業では連携機関として参画している一般財団法人日本教育基盤財団がベトナム語で運営している Facebook ページ「JES」（フォロワーは2025年2月現在7,531人）において、連携機関の専門学校の投稿や情報をベトナム語に翻訳して継続的に発信した。以下は鹿児島情報ビジネス公務員専門学校の日本語科の秋学期入学式に関するベトナム語の投稿である。

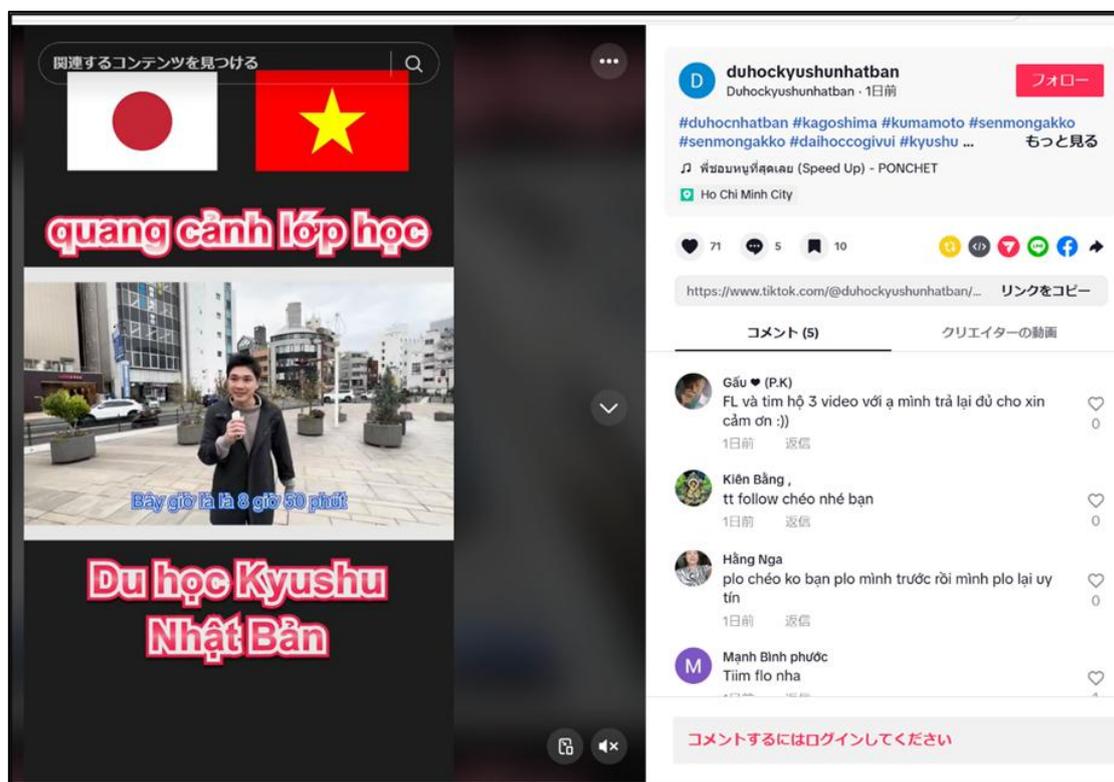


図表 8 Facebook ページ「JES」における投稿

Facebook での投稿の結果を分析した結果、文字と写真や画像による投稿は多くのフォロワーに見てもらえ、リアクションを得やすい。しかし、動画の投稿や学校などの別のサイ

トへの誘導を目的とした投稿はリーチが伸びず、広告もほとんど機能しない結果となった。Facebook は複雑なアルゴリズムによって投稿がフォロワーに表示されるかどうかを決めており、その詳細についてユーザーは知ることができない。ただし、フェイクニュースに関わる動画の拡散や悪質なサイトへ誘導の対策として、動画や他サイトへのリンクに対してあまりフォロワーに表示されないよう設定している可能性がある。今後は学校の情報などを文字情報と画像で伝えていくことを行っていく。

一方で、現在の SNS は動画が隆盛しており、例えばベトナムでは若い世代において最も使用されている SNS は TikTok である。そこで、本事業では今年度から TikTok のアカウントを作成し、留学生のインタビュー動画や生活に密着した動画の投稿を行うテスト運用を開始した。以下に鹿児島情報ビジネス公務員専門学校 の留学生の一日に密着した動画の投稿のインサイトデータを示す。



図表 9 TikTok における投稿

2025 年 2 月現在、この TikTok アカウントには 815 人のフォロワーがいる。現在最も「いいね」を集めているのは、ベトナム人留学生が定食屋で自分が頼んだ食事の紹介をしている動画である。そのほか、プログラミングの授業の様子や別の留学生の昼食の様子もリアクションが多く、留学生の日常の動画へのフォロワーの関心が高いことが分かる。

現状の課題として、TikTok は動画内に大勢の声が入っていると、AI が問題のある発言

が記録されていると誤解し、動画が拡散できないという特徴である。そのため、投稿する動画が TikTok のポリシーに反していると誤解される可能性に備え、多めに動画コンテンツを作成したり、声を消した動画を作成して字幕を付けたりするなどの工夫が必要になる。また、TikTok は投稿者の IP アドレスなどから所在地を特定し、投稿者の現在いる国のユーザーにしか投稿がほとんど表示されないようになっている。現在はベトナム人留学希望者をターゲットとしていることから、連携機関の協力によりベトナムで運営を行っているが、今後日本での募集活動に活用する際には、日本で運用するアカウントも必要になってくる。今年度のテスト運用の結果を受けて、次年度も SNS の運用方法について検討を続けていく。

4. 体制整備【②在学中の教育指導に関する取り組み】

本事業では、令和6年度に「ITキャリア教材の実証」、「ITおよび自動車整備キャリア教材の改訂」、「介護キャリア教材の試作」を実施した。

4.1. ITキャリア教材の実証

ITと自動車整備のキャリア学習教材は、本事業に連携機関として参画している一般財団法人日本検定基盤財団による文部科学省委託事業で昨年度までに開発した教材を活用することとした。その一環として、鹿児島情報ビジネス公務員専門学校の国際ビジネス科情報ビジネスコース1年生17名に対して、授業『企業研究』においてITキャリア教材を活用する実証を行った。ITキャリア教材は、1テーマ約2分程度の動画教材で、16のテーマがある。講師役のアバターと生徒役のアバターが対話しながらITの職種や業界、キャリアパスなどについて説明しており、画面下部には話している内容の字幕もついている。



図表 10 ITキャリア教材動画イメージ

学生の反応としては、非常に分かりやすくなったという意見が多く挙がった。また、1本あたりの動画の長さも丁度よく、集中力も切れず取り組んでいたという意見も多かった。

授業では動画を4本見た後、理解度を確認するために課題のシートを配布した。留学生が回答を記入したシートの例を次に提示する。

①論理的思考とはどんな能力ですか。2つ書きなさい。

1: システムの仕様を教えるDCスケジュールを作ること。

2: トラブルを素直で対処時に余裕に付き考えること。

②どうして倫理観が必要なのでしょうか。

IT人材は個人情報を守るが、情報が外に流出した際の責任の押し付け合いからでも。

③どうして対応力が必要なのでしょうか。

ざいっや社会は日々変化で時々の新しいことを学んで、変化にあわせていくことかたどるので、いかに必要でも。

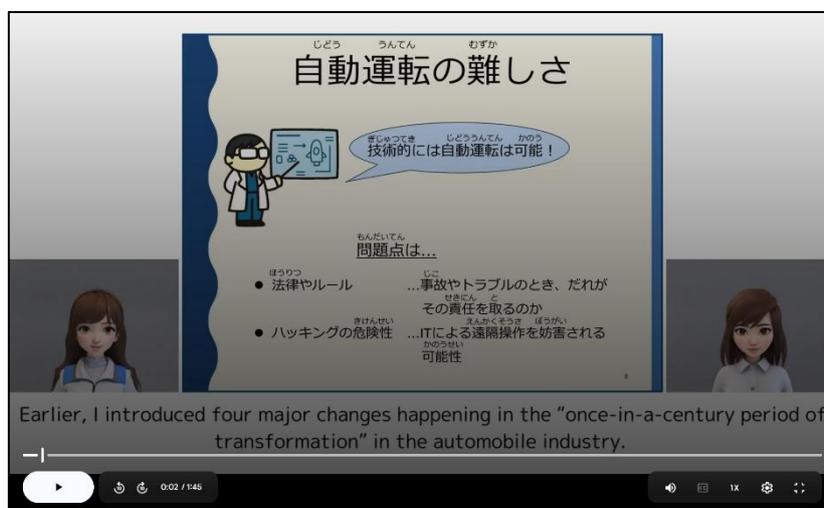
④どうして想像力が必要なのでしょうか。

予想では、いかにトラブルに備える、全く新しいアイデア

図表 11 留学生の提出したレポートの一部

4.2. IT および自動車整備キャリア教材の改訂

実証では、留学生から分かりやすいという意見が多かった一方で、課題をとけるレベルまで理解が進まなかった留学生もいた。彼らにとっては日本語の字幕があっても難しかったようだった。そこで、今年度はITと自動車整備のキャリア教材について、ネパールなどの出身の学生の多くが理解できる英語の字幕を付けることとした。これにより、内容が難しくなった時にも、自身が日本語より理解できる英語字幕を見ることで理解を促進させることができる。比較的に日本語能力が低い学生のための補助との位置づけとなる。



図表 12 自動車整備キャリア教材動画（英語字幕入り）イメージ

4.3. 介護キャリア教材の試作

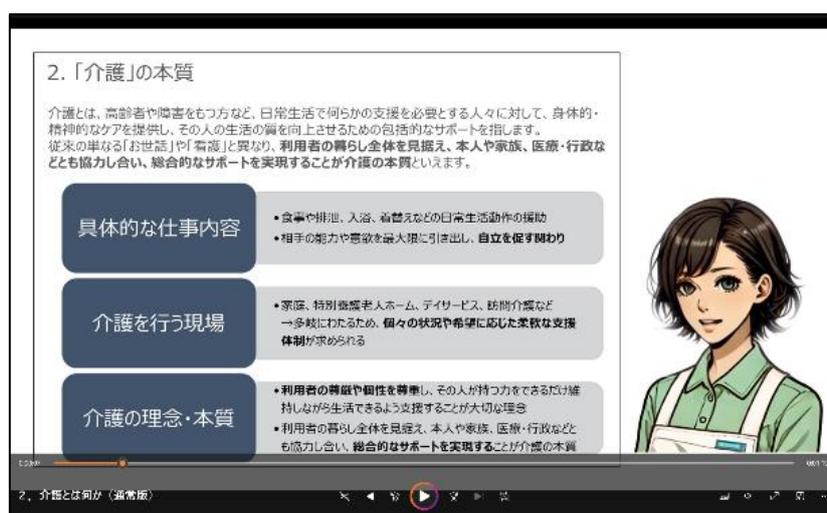
さらに、介護分野のキャリア教材については今年度から開発を開始することとなった。それに伴い、アバターによる説明を中心とした短い動画を以下の3パターンで試作した。

- A. ネイティブレベルの日本語での講義（資料に振り仮名なし）
- B. N3を基準とした平易な日本語での講義（資料に振り仮名あり）
- C. N3を基準とした平易な日本語での対話（資料に振り仮名あり）

そして、介護の基礎となるテーマとしてそれぞれのパターンで以下の5テーマ分動画を作成した。

1. 導入
2. 「介護」とは何か
3. 「介護」と「お年寄りのお世話」の違い
4. 「介護」と「看護」の違い
5. 「介護福祉士」とは何か

試作教材について、留学生を担当している教員との検討の結果、入学直後や進学が決まった日本語学校在籍者にはCパターンで介護のキャリアの基礎を学習させ、2年制にはAパターンで介護に関わるよりレベルの高いテーマについて学習させるのがよいということとなった。この方針を基本として、次年度も介護キャリア教材の開発を進めていく。以下にパターンAの動画とパターンCの動画のイメージを提示する。



図表 13 介護キャリア教材試作 パターン A イメージ



図表 14 介護キャリア教材試作 パターン C イメージ

以上が令和 6 年度の取り組みである。

付録

1. 専門学校アンケート調査票（IT・情報分野）
2. 専門学校アンケート調査票（自動車整備分野）
3. 専門学校アンケート調査票（介護分野）
4. 就職・定着に向けた取り組み事例調査 結果
5. 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校パンフレット（英語版）
6. 九州工科自動車専門学校パンフレット（英語版）
7. 宮崎福祉医療カレッジパンフレット（英語版）
8. 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校パンフレット（ベトナム語版）
9. 九州工科自動車専門学校パンフレット（ベトナム語版）
10. 宮崎福祉医療カレッジパンフレット（ベトナム語版）
11. 介護キャリア教材試作スライド

1. 専門学校アンケート調査票（IT・情報分野）

IT・情報系学科を持つ専門学校対象アンケート調査票

※御校の IT・情報系学科における留学生の受入、教育、就職等の現状についてお聞かせください。

1. 留学生の受入について

(1) 御校では留学生の受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を 1 つ選んでください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 受け入れている | 2. 受け入れていない |
|------------|-------------|

※ (1) で「1. 受け入れている」を選択された方は、以降の質問項目(2)から(18)にご回答ください。

※ (1) で「2. 受け入れていない」を選択された方は、質問項目(18)にご回答ください。

(2) 御校はどのような学科で留学生受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を 1 つ選んでください。「4. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|---|--|
| 1. 日本人学生と同じ IT・情報系学科 | |
| 2. 留学生対象の IT・情報系学科 | |
| 3. 日本人学生と同じ IT・情報系学科と留学生対象の IT・情報系学科の両方 | |
| 4. その他 () | |

(3) 御校に現在 (令和 6 年度) 在籍している留学生の出身国として当てはまる選択肢をすべて選んでください。「10. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 中国 | 2. ネパール | 3. ベトナム |
| 4. 韓国 | 5. ミャンマー | 6. 台湾 |
| 7. スリランカ | 8. インドネシア | 9. バングラデシュ |
| 10. その他 () | | |

(4) 留学生の募集にあたり御校ではどのような取り組みを行っていますか。特に力を入れている取り組みを 3 つまで選んでください。「13. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 国内の日本語教育機関との連携 | 2. 海外の日本語教育機関との連携 |
| 3. SNS での情報発信 (日本語) | 4. SNS での情報発信 (多言語) |
| 5. WEB サイトでの情報発信 (日本語) | 6. WEB サイトでの情報発信 (多言語) |
| 7. 国内の進学イベントへの出展 | 8. 海外の進学イベントへの出展 |
| 9. パンフレットの作成 (日本語) | 10. パンフレットの作成 (多言語) |
| 11. エージェントの活用 | 12. オープンキャンパスの実施 |
| 13. その他 () | |

(5) 御校の留学生の入学資格として、どの程度の日本語能力を基準としていますか。日本語能力試験 (JLPT) のレベルを具体的に記入してください。

- | |
|---------|
| ・ N () |
|---------|

(6) 御校では、入学資格として日本語能力試験 (JLPT) 以外にどのような基準を採用していますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「7. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | |
|--|
| 1. 日本留学試験 (EJU) |
| 2. ビジネス日本語能力テスト (BJT) |
| 3. 法務大臣により告示されている日本語教育機関で 1 年以上のコースにおいて、満 6 ヶ月以上の日本語教育を受けている |
| 4. 日本の小・中・高等学校または大学・短期大学・大学院で 1 年以上教育を受けている |
| 5. 日本語能力は要求しない |
| 6. 日本語 NAT-TEST |
| 7. その他 () |

(7) 御校で留学生教育を行う中で、日本人学生と比較して、留学生全般にどのような特徴があると感じますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 学習へのモチベーションが (高い ・ 同等 ・ 低い) |
| 2. 基礎学力が (高い ・ 同等 ・ 低い) |
| 3. 専門知識・技術の習得が (早い ・ 同等 ・ 遅い) |
| 4. 自身のキャリアに対する意識が (高い ・ 同等 ・ 低い) |
| 5. 就職に苦勞する学生が (多い ・ 同等 ・ 少ない) |

(8) 御校が留学生を受け入れるにあたり、生活面でのどのような支援を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「6. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 住居 (寮・外国人入居可の物件等) の紹介 |
| 2. アルバイトの紹介 |
| 3. 法律やマナーに関する説明会の実施 |
| 4. 生活に関わる資格や免許等 (自動車免許等) の取得支援や紹介 |
| 5. 生活に関する相談ができる体制 (担当者や部署等) の整備 |
| 6. その他 () |

II. 留学生への教育内容について

(9) 御校で専門課程のカリキュラム内でのような日本語教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「6. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 一般日本語教育 | 2. ビジネス日本語教育 |
| 3. IT・情報系分野に特化した専門日本語教育 | 5. 特に行っていない |
| 4. 日本語の試験対策教育 | 6. その他 () |

(10) 御校では IT・情報系分野の専門科目や日本語教育の他にどのような教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「6. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 日本の文化・社会に関する教育 |
| 2. IT・情報系分野の職業・キャリアに関する教育 |
| 3. Word, Excel などのオフィスソフトに関する教育 |
| 4. CAD に関する教育 |
| 5. 特に行っていない |
| 6. その他 () |

(11) 御校のカリキュラムでは、留学生がどのような資格の合格を目指していますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「15. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. ITパスポート | 2. 情報セキュリティマネジメント試験 |
| 3. 基本情報技術者試験 | 4. 応用情報技術者試験 |
| 5. 実践プログラミング技術者試験 | 6. 情報検定 (J 検) |
| 7. G 検定 | 8. CSBM |
| 9. 日本語ワープロ検定試験 | 10. 情報処理技能検定試験 表計算 |
| 11. 文書デザイン検定試験 | 12. 統計検定 |
| 13. Python プログラム能力認定試験 | |
| 14. Python 3 エンジニア認定基礎試験 | |
| 15. その他 () | |

(12) 御校では現在 (令和 6 年度) 留学生にどのようなプログラミング言語を学ばせていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「11. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | | | |
|---------------|--------------|---------|---------|
| 1. JavaScript | 2. Python | 3. C 言語 | 4. Java |
| 5. PHP | 6. C++ | 7. C# | 8. Ruby |
| 9. VBA | 10. HTML/CSS | | |
| 11. その他 () | | | |

III. 留学生の就職について

(13) 留学生に対する日本での就職の支援として、御校ではどのような取り組みを行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「6. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | |
|----------------------|
| 1. インターネットの仲介 |
| 2. 企業説明会の開催 |
| 3. 就職活動セミナーの開催 |
| 4. OB・OG の紹介 |
| 5. 企業の担当者を呼んでの発表会の開催 |
| 6. その他 () |

(14) 御校の留学生の昨年度の御校所在都道府県内就職率について1つ選んでください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 0%~20% | 2. 21%~40% | 3. 41%~60% |
| 4. 61%~80% | 5. 81%~99% | 6. 100% |
| 7. 把握していない | | |

(15) 御校の留学生の昨年度の就職先の実績について、次の選択肢の中から該当するものを当てはまる選択肢をすべて選んでください。「4. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | |
|--------------------------|
| 1. IT 系企業 |
| 2. 非 IT 系企業 (社内の IT 部門) |
| 3. 非 IT 系企業 (社内の非 IT 部門) |
| 4. その他 () |

IV. 留学生教育における課題等について

(16) 御校の留学生への教育について、課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。

1. 学生募集	()
2. 学生の学力・質	()
3. 教育内容・教材	()
4. 教員確保	()
5. 就職支援	()
6. 施設・設備の整備	()
7. 特にない	()
8. その他	()

(17) 企業・団体・産業界との連携について、御校が現在の課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。

1. 就職情報、学内推薦	()
2. 講座や教材の提供	()
3. 教員確保への協力	()
4. インターンシップや研修	()
5. 企業、産業界側からの人材育成に関する要望	()
6. 特にない	()
7. その他	()

V. 本事業について

(18) 当財団は文部科学省委託事業の一環で専門学校や海外の日本語教育機関、企業及び業界団体等との連携のもと、留学生の募集・教育・生活・就職をトータルパッケージで支援する体制整備の事業を推進しています。本プログラムにご関心はございますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選んでください。

1. 非常に関心がある	2. 関心がある
3. あまり関心がない	4. 全く関心がない

○ご回答者様について（※学校名は必ずご回答ください。その他の項目はよろしければ可能な範囲でご記入ください。）

学校名			
所属・役職			
氏名			
連絡先	TEL		
	Mail		
全学生数	約	名	
	約	留学生数	名

質問は以上となります。ご回答ありがとうございました。

2. 専門学校アンケート調査票（自動車整備分野）

自動車整備系学科を持つ専門学校対象アンケート調査票

※御校の自動車整備系学科における留学生の受入、教育、就職等の現状についてお聞かせください。

1. 留学生の受入について

(1) 御校では留学生の受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を 1 つ選んでください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 受け入れている | 2. 受け入れていない |
|------------|-------------|

※ (1) で「1. 受け入れている」を選択された方は、以降の質問項目(2)から(18)にご回答ください。

※ (1) で「2. 受け入れていない」を選択された方は、質問項目(18)にご回答ください。

(2) 御校はどのような学科で留学生受け入れを行っていますか。当てはまる選択肢を 1 つ選んでください。「4. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 日本人学生と同じ自動車整備系学科 |
| 2. 留学生対象の自動車整備系学科 |
| 3. 日本人学生と同じ自動車整備系学科と留学生対象の自動車整備系学科の両方 |
| 4. その他 () |

(3) 御校に現在(令和6年度)在籍している留学生の出身国として当てはまる選択肢をすべて選んでください。「10. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 中国 | 2. ネパール | 3. ベトナム |
| 4. 韓国 | 5. ミャンマー | 6. 台湾 |
| 7. スリランカ | 8. インドネシア | 9. バングラデシュ |
| 10. その他 () | | |

(4) 留学生の募集にあたり御校ではどのような取り組みを行っていますか。特に力を入れている取り組みを 3 つまで選んでください。「13. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 国内の日本語教育機関との連携 | 2. 海外の日本語教育機関との連携 |
| 3. SNS での情報発信 (日本語) | 4. SNS での情報発信 (多言語) |
| 5. WEB サイトでの情報発信 (日本語) | 6. WEB サイトでの情報発信 (多言語) |
| 7. 国内の進学イベントへの出展 | 8. 海外の進学イベントへの出展 |
| 9. パンフレットの作成 (日本語) | 10. パンフレットの作成 (多言語) |
| 11. エージェントの活用 | 12. オープンキャンパスの実施 |
| 13. その他 () | |

(5) 御校の留学生の入学資格として、どの程度の日本語能力を基準としていますか。日本語能力試験 (JLPT) のレベルを具体的に記入してください。

- | |
|---------|
| ・ N () |
|---------|

(6) 御校の入学資格として日本語能力試験 (JLPT) 以外にどのような基準を採用していますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「7. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | |
|--|
| 1. 日本留学試験 (EJU) |
| 2. ビジネス日本語能力テスト (BJT) |
| 3. 法務大臣により告示されている日本語教育機関で 1 年以上のコースにおいて、満 6 ヶ月以上の日本語教育を受けている |
| 4. 日本の小・中・高等学校または大学・短期大学・大学院で 1 年以上教育を受けている |
| 5. 日本語能力は要求しない |
| 6. 日本語 NATI-TEST |
| 7. その他 () |

(7) 御校で留学生教育を行う中で、日本人学生と比較して、留学生全般にどのような特徴があると感じますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 学習へのモチベーションが (高い ・ 同等 ・ 低い) |
| 2. 基礎学力が (高い ・ 同等 ・ 低い) |
| 3. 専門知識・技術の習得が (早い ・ 同等 ・ 遅い) |
| 4. 自身のキャリアに対する意識が (高い ・ 同等 ・ 低い) |
| 5. 就職に苦勞する学生が (多い ・ 同等 ・ 少ない) |

(8) 御校が留学生を受け入れるにあたり、生活面でのどのような支援を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「6. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 住居 (寮・外国人入居可の物件等) の紹介 |
| 2. アルバイトの紹介 |
| 3. 法律やマナーに関する説明会の実施 |
| 4. 生活に関わる資格や免許等 (自動車免許等) の取得支援や紹介 |
| 5. 生活に関する相談ができる体制 (担当者や部署等) の整備 |
| 6. その他 () |

II. 留学生への教育内容について

(9) 御校で専門課程のカリキュラム内でのような日本語教育を行っていますか。当てはまる選択肢を**すべて**選んでください。「6. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 一般日本語教育 | 2. ビジネス日本語教育 |
| 3. 自動車整備系分野に特化した専門日本語教育 | 5. 特に行っていない |
| 4. 日本語の試験対策教育 | 6. その他 () |

(10) 御校では自動車整備系分野の専門科目や日本語教育の他にどのような教育を行っていますか。当てはまる選択肢を**すべて**選んでください。「4. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. 日本の文化・社会に関する教育 | 4. その他 () |
| 2. 自動車整備系分野の職業・キャリアに関する教育 | |
| 3. 特に行っていない | |

(11) 御校のカリキュラムでは、留学生がどのような国家資格の合格を目指していますか。当てはまる選択肢を**すべて**選んでください。「1. 5. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|-------------|--|
| 1. 1級自動車整備士 | |
| 2. 2級自動車整備士 | |
| 3. 3級自動車整備士 | |
| 4. その他 () | |

(12) 御校の昨年度の留学生の国家試験合格率について当てはまる選択肢を**1つ**選んでください。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 0%~20% | 2. 21%~40% | 3. 41%~60% |
| 4. 61%~80% | 5. 81%~99% | 6. 100% |
| 7. 把握していません | | |

III. 留学生の就職について

(13) 留学生に対する日本での就職の支援として、御校ではどのような取り組みを行っていますか。当てはまる選択肢を**すべて**選んでください。「6. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. インターシッピングの仲介 | |
| 2. 企業・工場説明会の開催 | |
| 3. 就職活動セミナーの開催 | |
| 4. OB・OGの紹介 | |
| 5. 企業・工場の担当者を呼んでの発表会の開催 | |
| 6. その他 () | |

(14) 御校の留学生の昨年度の御校所在都道府県内就職率について**1つ**選んでください。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 0%~20% | 2. 21%~40% | 3. 41%~60% |
| 4. 61%~80% | 5. 81%~99% | 6. 100% |
| 7. 把握していません | | |

(15) 御校の留学生の昨年度の就職先の実績について、次の選択肢の中から該当するものを当てはまる選択肢を**すべて**選んでください。「4. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1. ディーラー系企業 (普通自動車) | |
| 2. ディーラー系企業 (小型自動車) | |
| 3. 民間整備工場 (普通自動車) | |
| 4. 民間整備工場 (小型自動車) | |
| 5. その他 () | |

IV. 留学生教育における課題等について

(16) 御校の留学生への教育について、課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。

1. 学生募集	()
2. 学生の学力・質	()
3. 教育内容・教材	()
4. 教員確保	()
5. 就職支援	()
6. 施設・設備の整備	()
7. 特にない	()
8. その他	()

(17) 企業・団体・産業界との連携について、御校が現在課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。

1. 就職情報、学内推薦	()
2. 講座や教材の提供	()
3. 教員確保への協力	()
4. インターシッピングや研修	()
5. 企業、産業界側からの人材育成に関する要望	()
6. 特にない	()
7. その他	()

V. 本事業について

(18) 当財団は文部科学省委託事業の一環で専門学校や海外の日本語教育機関、企業及び業界団体等との連携のもと、留学生の募集・教育・生活・就職をトータルパッケージで支援する体制整備の事業を推進しています。本プログラムにご関心はございますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選び込んでください。

1. 非常に関心がある	2. 関心がある
3. あまり関心がない	4. 全く関心がない

○ご回答者様について（※学校名は必ずご回答ください。その他の項目はよろしければ可能な範囲でご記入ください。）

学校名			
お役職			
ご氏名			
ご連絡先	TEL		
	Mail		
全学生数	約	名	
	留学生数	約	名

質問は以上となります。ご回答ありがとうございます。

3. 専門学校アンケート調査票（介護分野）

II. 留学生への教育内容について

(9) 御校で専門課程のカリキュラム内でのような日本語教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「6. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

1. 一般日本語教育	2. 接遇日本語教育
3. 介護系分野に特化した専門日本語教育	5. 特に行っていない
4. 日本語の試験対策教育	6. その他 ()

(10) 御校では介護系分野の専門科目や日本語教育の他にどのような教育を行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「5. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

1. 日本の文化・社会に関する教育
2. 介護系分野の職業・キャリアに関する教育
3. ICT/ITリテラシーに関する教育
4. 特に行っていない
5. その他 ()

(11) 御校のカリキュラムでは、留学生在が「介護福祉士」以外に合格を目指している資格はありますか。ある場合には、具体的に記入してください。ない場合には、「特になし」とご記入ください。

--

(12) 御校の昨年度の留学生の介護福祉士国家試験合格率について当てはまる選択肢を1つ選んでください。

1. 0%~20%	2. 21%~40%	3. 41%~60%
4. 61%~80%	5. 81%~99%	6. 100%
7. 把握していない		

III. 留学生の就職について

(13) 留學生に対する日本での就職の支援として、御校ではどのような取り組みを行っていますか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。「7. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

1. インタビュウの仲介
2. 介護施設説明会の開催
3. 就職活動セミナーの開催
4. OB・OGの紹介
5. 施設の担当者等への発表会の開催
6. 施設奨学金などの理由により就職先が決まっているため実施していない
7. その他 ()

(14) 御校の留學生の昨年度の御校所在地(都道府県)内就職率について1つ選んでください。

1. 0%~20%	2. 21%~40%	3. 41%~60%
4. 61%~80%	5. 81%~99%	6. 100%
7. 把握していない		

(15) 御校の留學生の昨年度の就職先の実績について、次の選択肢の中から該当するものを当てはまる選択肢をすべて選んでください。「8. その他」を選択する場合には、具体的に記入してください。

1. 特別養護老人ホーム	2. 介護老人保健施設
3. デイサービスセンター	4. 訪問介護ステーション
5. グループホーム	6. 障害者福祉施設
7. 病院などの医療機関	8. その他 ()

(16) 御校では卒業した留學生に対して何らかのフォローアップを行っていますか。もし行っている場合には、内容・期間などを具体的に記入してください。行っていない場合には「特になし」とご記入ください。

--

IV. 留学生教育における課題等について

(17) 御校の留学生への教育について、課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。

1. 学生募集	()
2. 学生の学力・質	()
3. 教育内容・教材	()
4. 教員確保	()
5. 就職支援	()
6. 施設・設備の整備	()
7. 特にない	()
8. その他	()

(18) 事業者・団体、産業界との連携について、御校が現在課題と感じていることはありますか。次の選択肢の中から該当するものをすべて選んで、可能な範囲で具体的に課題を記入してください。

1. 就職情報、学内推薦	()
2. 講座や教材の提供	()
3. 教員確保への協力	()
4. インターンシップや研修	()
5. 事業者、産業界からの人材育成に関する要望	()
6. 特にない	()
7. その他	()

V. 本事業について

(19) 当財団は文部科学省委託事業の一環で専門学校や海外の日本語教育機関、企業及び業界団体等との連携のもと、留学生の募集・教育・生活・就職をトータルパッケージで支援する体制整備の事業を推進しています。本プログラムにご関心はございますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選んでください。

1. 非常に関心がある	2. 関心がある
3. あまり関心がない	4. 全く関心がない

○ご回答者様について（※学校名は必ずご回答ください。その他の項目はよろしければ可能な範囲でご記入ください。）

学校名			
お役職			
ご氏名			
ご連絡先	TEL		
	Mail		
全学生数	約	名	
	留学生数	約	名

質問は以上となります。ご回答ありがとうございます。

4. 就職・定着に向けた取り組み事例調査 結果

就職・定着に向けた取り組み事例調査 結果

- ①外国人材の受入活躍推進に向けた鹿児島県の取組
- ②高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援
- ③DATEntre 東北イノベーション人材育成プログラム（文科省留学生就職促進プログラム）
- ④外国人留学生の国内就職支援に関する協定
- ⑤外国人留学生等就職・採用支援事業
- ⑥特定技能外国人受け入れ支援サービス
- ⑦外国人住民向けの日本語教室
- ⑧外国人児童の「不就学ゼロ」を目指す適応指導教室「ばら教室 KANI」
- ⑨防災訓練に外国人住民が参加
- ⑩多文化共創担い手育成事業「Roots インターン」
- ⑪留学生就職支援コンソーシアム SUCCESS
- ⑫外国人材の国内定着実現に向けた取組み ～損保ジャパンと新サービス開発へ協業開始～
- ⑬ふくい雇用創出・定着支援事業
- ⑭一般社団法人 泉佐野市外国就労者サポートセンター
- ⑮周南公立大学留学生地域定着支援プログラム
- ⑯地方自治体向けの外国人介護人材の受入れ・定着支援サービス
- ⑰留学生キャリア形成・地域定着プロジェクト「Link KAGAYAKI」
- ⑱外国人向けの相談窓口「仙台多文化共生センター」
- ⑲夜間学習支援教室「Minami こども教室」
- ⑳外国人向け介護職員初任者研修及び就業支援事業
- ㉑宮崎ーバン格拉デシュ・スタイル
- ㉒理工系外国人留学生紹介の『リュウカツ®』
- ㉓アジア等 IT 人材定着支援協議会
- ㉔事業者団体と県の共同による外国人介護人材のマッチングから定着等の一貫支援の実施
- ㉕外国人介護人材受入事業所への巡回相談や研修交流会の実施等のメンタルヘルスケア
- ㉖受入支援セミナーや受入に役立つガイドブック作成等の事業所等への受入支援
- ㉗自動車整備事業者が外国人材を採用するための支援サービスを開始
- ㉘外国人材向け自動車整備分野の教材
- ㉙外国人自動車整備要員紹介事業で初めての契約を締結
- ㉚外国人介護人材雇用支援事業

①

事例名	外国人材の受入活躍推進に向けた鹿児島県の取組
地域	鹿児島県
実施主体	鹿児島県商工労働水産部産業人材確保・移住促進課外国人材政策推進室
取り組み内容・実績	<p>鹿児島県では、今後も増加が見込まれる外国人材を、地域経済を支える貴重な人材として、また、地域社会の重要な構成員として、温かく迎え入れ、定着を促進する。具体的な事業としては下記が挙げられる。</p> <p>●ベトナム人材受入・交流促進事業</p> <p>本県に多くの人材を送り出しているベトナムとの人的・経済的交流を促進するため、駐日ベトナム大使館などの関係機関と連携し、同国との関係強化を図るとともに、県内に住むベトナム人技能実習生をはじめとする外国人材等が安心して働き、暮らせる環境の整備を図る。</p> <p>具体的な事業内容としては、まずベトナム人材の確保として、本県と連携協定を締結しているハイズオン省やベトナム国立農業大学からの円滑かつ適切な人材の送り出し・受入れを促進するため、連携・協力のための進め方について協議や現地調査を行っている。</p> <p>また、鹿児島・ベトナム交流促進協議会を通じて、県内の関係団体と連携し、「ベトナム・テト(旧正月)フェスタ」等を開催し、県内に在住するベトナム人技能実習生をはじめとする外国人材等の相互交流や、県民との交流を促進する。</p> <p>さらに、令和元年10月の連携協定に基づき、相互に訪問団の派遣と受入れを行う。令和5年度は、本県からの訪問団を同省へ派遣したことから、令和6年度は同省から本県への訪問団を受入れ、相互交流を図る。</p> <p>●新たな送り出し国との関係構築事業</p> <p>今後の外国人材の送り出し国として有望なインドネシアやフィリピン、ミャンマーとの関係構築を図るため、送り出し機関と県内監理団体等とのマッチングや県内受入企業の視察等を行う。</p> <p>具体的な事業内容としては、まず、県においてインドネシア及びフィリピンの現地送り出し機関等の調査を行い、10社程度に本県へ来てもらい、県内関係団体とのマッチング、意見交換、本県受入企業等の視察などを行うことにより、関係構築を図っている。</p> <p>また、ミャンマー国内の情勢を考慮した上で、現地送り出し機関等の調査を行うほか、同国の送り出し機関と県内関係団体とのマッチング、意見交換、本県受入企業等の視察などを行うことにより、関係構築を図っている。</p> <p>●高度デジタル外国人材獲得モデル事業</p> <p>県内企業が求める高度デジタル人材を、海外(バングラデシュ)から獲得する機会増大を図るためのモデルを構築する。</p> <p>具体的な事業内容としては、バングラディッシュで開催される「グローハバルハッカソン」コンテスト入賞者及び本戦参加者のうち、県内企業での採用に関心を有する学</p>

	<p>生がインターンシップすることで、県内企業における高度デジタル外国人材の獲得機会を提供する。</p> <p>また、バングラディッシュ IT 人材の就労に対する意識や、企業における受入体制、既にバングラディッシュ IT 人材を採用している企業の事例の発表などを内容とするセミナー等を開催することにより、県内企業におけるバングラディッシュ IT 人材に対する理解や働きやすい職場環境・業務体制の整備を促進する。</p> <p>さらに、県内で働くバングラディッシュ IT 人材と企業が意見交換をすることによって、コミュニケーションに対する心理的障壁を取り除く。</p> <p>その他にも、県内企業で働く高度デジタル外国人材と企業の円滑なコミュニケーションのため、日本語教育や文化、マナー等に関する教育を実施する。本事業を活用して県内企業へ就職したバングラディッシュ IT 人材に対し、採用後の日本語教育も実施している。</p> <p>●外国人材の地域への定着支援</p> <p>県内で働く外国人材の地域定着に向け、外国人材との地域交流等に取り組む市町村の自治会や地域コミュニティ等を支援することにより、外国人材が地域住民とともに安心して働き、暮らせる環境の整備を図る。</p> <p>具体的な事業内容としては、令和2年度から令和4年度にかけて本県において実施された「厚生労働省『地域外国人材受入れ・定着モデル事業』」の地域施策モデル地域や令和5年に本県で実施した「外国人材定着支援事業」（いちき串木野市）での取組について、外国人材の地域への定着の取組を県内企業や市町村等において共有し、県内各地への横展開を図るため、事例発表と外国人材の地域定着のためのワークショップを実施している。</p> <p>また、これまでに実施した外国人材の地域定着への取組をさらに県下で広げるため、地域定着への取組の実施を支援する。市町村、自治会等の地域コミュニティ、外国人材、受入企業において、地域の課題や目指すべき姿を共有しながら、地域定着への取組を決定・実施していく。</p> <p>さらに、外国人材の地域定着への取組の検証を行うため、取組実施地域の市町村(又は自治会等)や受入企業、外国人材からそれぞれ発表をしてもらい、取組の評価を行うとともに、県内における更なる横展開を図っている。</p> <p>●その他</p> <p>「かごしま企業」助成事業：外国人材の安定的な受入れや定着に向け、職場の受入体制整備や地域交流等に取り組む県内の受入企業等を支援している。</p> <p>外国人材受入優良企業表彰事業：県内企業における外国人材受入体制の向上や外国人材の確保を促進するため、働きやすい職場づくりに取り組んでいる企業を表彰し、その取組を県内企業へ周知するとともに、外国人材等へ情報発信する。</p>
課題・今後の展開等	<p>外国人材の活用にあたっての課題</p> <p>1.関係団体・機関等が把握している課題</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人材の獲得競争が激化しており、今後安定的に確保できるか不透明。 ・生活費の安さや通勤時間の短さ、自然環境など鹿児島の魅力のPRが必要。 ・地域で日本語を学べる機会が少ない。 ・外国人材に選ばれるよう多文化共生の取組の推進が必要 など <p>2.監理団体が把握している課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定レベルの日本語能力の習熟・失踪や事故等への対応・受入企業の体制整備 など <p>3.事業者の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定レベルの日本語能力の習熟・安定的な受入人数の確保 ・文化、生活習慣の相互理解 など
URL	https://www.pref.kagoshima.jp/af21/r02/documents/84750_20240514180917-1.pdf https://www.pref.kagoshima.jp/af21/r02/documents/84750_20240514180917-1.pdf

②

事例名	高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援
地域	仙台
実施主体	ジェトロ仙台
協力・連携体制	東北経済産業局
取り組み内容	<p>関係機関の取り組みや高度外国人材に関連する情報に精通したコーディネーターが、継続的な訪問を通じて、高度外国人材採用の計画策定の支援から採用活動、採用後の社内制度整備まで、必要なサービス・関連情報を提供し、一貫して支援する。各社の現状と目標を把握し、採用・育成・定着への活動計画（ロードマップ）に沿って、高度外国人材活用で結果を出すサポートを行う。</p> <p>採用戦略を練る上で実施することを簡単に分解すると図4のようになる。</p> <p>簡易的な要素ではあるが、これらの情報を改めて整理することによって、</p> <p>①採用したい人物像が明確になり採用活動を行う際の指針になる。</p> <p>②在留資格の申請を行う際、業務の説明や本人の能力を説明する必要があるため、整</p>

	<p>理することで事前準備につながる。</p> <p>③外国人材への業務、会社の説明をより分かりやすく、かつ、詳細に伝えることで外国人材にとっても将来を思い描きやすく、よりよいマッチングが期待できる。</p> <p>といったメリットが期待できる。また、これらを社内で話し合うことによって、「外国人材の受け入れ前に他部署とも情報が共有でき、受け入れに向けた調整が自然とできた」といった企業の声もあった。</p> <p>外国人採用を通して自社の見直しが進み、結果として会社が変わっていくことそのものが高度外国人材採用の最たる効果である。</p>			
<p>効果・実績</p>	<p>これまで伴走型支援を利用した企業は全国約 400 社（2022 年 2 月時点）。2020 年度の利用企業アンケートでは、95%以上の方が役立ったと回答している。</p> <p>利用した企業からは以下のようなコメントが挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社内のグローバル化に向けた施策を推進するための人材確保ができた。 ・ コロナ禍で外国人の入国が制限されて、ルールが頻繁に変わり予定が立たない中、確実かつ臨機応変に対応頂いたので、大変助かった。 ・ 全国規模の外国人材採用イベントを紹介いただき、実際に 4 月入社での採用（一名）を実現できた。 ・ 日本人スタッフにも共通する課題があり、スタッフのモチベーション、パフォーマンスアップにつなげる職場づくりの課題を明確にする事ができた。 ・ 育成定着に関してはまだまだ課題が多く、そのヒントが得られた。 			
<p>課題・今後の展開等</p>	<p>伴走型支援を利用した多くの企業では、今後の課題として、入社後の育成・定着手法の確立を挙げている。</p> <p>高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援では以下のような育成定着プログラムも提供しているが、今後さらに育成定着のサポートに力を入れていくことが課題であると考えられる。</p> <div data-bbox="384 1352 1267 1957" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">支援企業限定！ 高度外国人材活躍推進コーディネーターによる伴走型支援 </p> <p style="text-align: center;">2021年度 育成定着プログラム</p> <p>✓ 高度外国人材の受入・活躍にむけて、基礎から発展まで総合的に学べるプログラム ✓ 受講者の課題意識に合わせてステップアップをめざす段階学習をサポート ✓ 座学・グループワークから交流会まで、原則オンラインで開催します。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>企業向け講習会</p> <p>高度外国人材を活用したダイバーシティマネジメントの実践的なノウハウを基礎から発展まで体系的に学びます。</p> <p>【基礎編】</p> <p>A 外国人材向けやさしい日本語 B 在留資格制度（新規・更新・変更） C 異文化マネジメント（異文化、多様性の理解） D 採用前後の雇用実務</p> <p>【発展編】</p> <p>E 外国人材に対する指導力の向上 F 高度外国人材の活躍につなげる人事評価制度 G 多様性を強みに変える組織作り</p> <p>（基礎編・前期（6-9月）発展編（10-12月）基礎編・後期（年明け）開催予定）</p> </td> <td style="width: 30%; vertical-align: top; text-align: center;"> <p>ステップアップのイメージ</p> <p>①外国人材の適応 ②上司力の向上 ③社内共有 ④社内制度作り ⑤組織力の向上 ⑥新たなビジネスの創出</p> </td> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>外国人材向け講習会</p> <p>6月 外国人材を対象に コミュニケーションのコツ（初級編・上級編）など、職場での適応からスキルアップに役立つものまで学習できます。</p> <p>ワークショップ</p> <p>9月 異文化コミュニケーションの専門トレーナーを使った実践的なワークショップ。 入社～2年目の外国人材と職場の上司が一緒に参加。指導担当者や外国人材の振り返りの時間を確保し、コミュニケーションや誤解の解決方法のポイントをハズオンで学びます。</p> <p>交流会</p> <p>1月 講習会やワークショップなどで学んだことの振り返りや、似た関心・境遇の企業どうしの交流を通して、新たな気づきの場を提供します。 2月 オンラインを活用し、伴走型企業間の親交を深める絶好のチャンスです。</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">JETRO 初めての高度外国人材採用 https://www.jetro.go.jp/hrportal/forcompanies/movie_learning.html#inline_video4</p> <p style="text-align: right;">高度外国人材 活躍推進ポータル https://www.jetro.go.jp/hrportal/</p> </div>	<p>企業向け講習会</p> <p>高度外国人材を活用したダイバーシティマネジメントの実践的なノウハウを基礎から発展まで体系的に学びます。</p> <p>【基礎編】</p> <p>A 外国人材向けやさしい日本語 B 在留資格制度（新規・更新・変更） C 異文化マネジメント（異文化、多様性の理解） D 採用前後の雇用実務</p> <p>【発展編】</p> <p>E 外国人材に対する指導力の向上 F 高度外国人材の活躍につなげる人事評価制度 G 多様性を強みに変える組織作り</p> <p>（基礎編・前期（6-9月）発展編（10-12月）基礎編・後期（年明け）開催予定）</p>	<p>ステップアップのイメージ</p> <p>①外国人材の適応 ②上司力の向上 ③社内共有 ④社内制度作り ⑤組織力の向上 ⑥新たなビジネスの創出</p>	<p>外国人材向け講習会</p> <p>6月 外国人材を対象に コミュニケーションのコツ（初級編・上級編）など、職場での適応からスキルアップに役立つものまで学習できます。</p> <p>ワークショップ</p> <p>9月 異文化コミュニケーションの専門トレーナーを使った実践的なワークショップ。 入社～2年目の外国人材と職場の上司が一緒に参加。指導担当者や外国人材の振り返りの時間を確保し、コミュニケーションや誤解の解決方法のポイントをハズオンで学びます。</p> <p>交流会</p> <p>1月 講習会やワークショップなどで学んだことの振り返りや、似た関心・境遇の企業どうしの交流を通して、新たな気づきの場を提供します。 2月 オンラインを活用し、伴走型企業間の親交を深める絶好のチャンスです。</p>
<p>企業向け講習会</p> <p>高度外国人材を活用したダイバーシティマネジメントの実践的なノウハウを基礎から発展まで体系的に学びます。</p> <p>【基礎編】</p> <p>A 外国人材向けやさしい日本語 B 在留資格制度（新規・更新・変更） C 異文化マネジメント（異文化、多様性の理解） D 採用前後の雇用実務</p> <p>【発展編】</p> <p>E 外国人材に対する指導力の向上 F 高度外国人材の活躍につなげる人事評価制度 G 多様性を強みに変える組織作り</p> <p>（基礎編・前期（6-9月）発展編（10-12月）基礎編・後期（年明け）開催予定）</p>	<p>ステップアップのイメージ</p> <p>①外国人材の適応 ②上司力の向上 ③社内共有 ④社内制度作り ⑤組織力の向上 ⑥新たなビジネスの創出</p>	<p>外国人材向け講習会</p> <p>6月 外国人材を対象に コミュニケーションのコツ（初級編・上級編）など、職場での適応からスキルアップに役立つものまで学習できます。</p> <p>ワークショップ</p> <p>9月 異文化コミュニケーションの専門トレーナーを使った実践的なワークショップ。 入社～2年目の外国人材と職場の上司が一緒に参加。指導担当者や外国人材の振り返りの時間を確保し、コミュニケーションや誤解の解決方法のポイントをハズオンで学びます。</p> <p>交流会</p> <p>1月 講習会やワークショップなどで学んだことの振り返りや、似た関心・境遇の企業どうしの交流を通して、新たな気づきの場を提供します。 2月 オンラインを活用し、伴走型企業間の親交を深める絶好のチャンスです。</p>		
<p>URL</p>	<p>https://www.kasseiken.jp/kassecms/wp-content/uploads/2021/10/vol.45.pdf</p>			

	https://www.shakaihokenroumushi.jp/Portals/0/doc/nsec/kokusai/2021/03_koudougaiyoku_JETRO.pdf https://www.shakaihokenroumushi.jp/Portals/0/doc/nsec/kokusai/2021/03_koudougaiyoku_JETRO.pdf
--	--

③

事例名	DATEntre 東北イノベーション人材育成プログラム（文科省留学生就職促進プログラム）
地域	宮城県
実施主体	東北大学
協力・連携体制	東北学院大学、東北工業大学、宮城学院女子大学、東北福祉大学 東北経済連合会・仙台 商工会議所・宮城県中小企業団体中央会 宮城県、仙台市
取り組み内容	<p>宮城県内の大学の中で最も多くの外国人留学生が学ぶ東北大学が事務局となり、2017年に東北学院大学・東北工業大学・宮城学院女子大学の宮城県内の4大学、東北経済連合会・仙台 商工会議所・宮城県中小企業団体中央会の3経済団体、宮城県・仙台市の2自治体等に東北大学校友会が参加し、産官学のコンソーシアムを設立した。2018年からは活動を活発化させるため、活動分野に合わせて「基礎教育部会」「産業界連携部会」「キャリア教育・インターンシップ部会」「業評価部会」の4部会を設け、活動に取り組んでいる。</p> <p>参加学生の質的担保と事業期間終了後の継続の双方の観点から、カリキュラムは正課科目を活用し、東北大学の日本語特別課程ならびに全学教育科目を中心に構成している。参加学生は「ビジネス日本語教育」「キャリア教育」「国際共修・PBL」「インターンシップ」の4領域を横断的に学ぶことで、日本での就職に必要な就業力の習得を目指している。</p> <p>2019年度までは正課も課外も対面で実施していたため、参加大学は東北大学川内キャンパスでの履修が可能な大学に限定されていた。しかし2020年度からはオンライン開講となったため、距離を問わずに参加可能となり、コロナ禍での渡航制限を受けた来日前の学生も参加している。2021年9月現在では、宮城県内で学ぶ外国人留学生の在籍数の多い3教育機関（東北福祉大学・宮城大学・仙台高専）と高度外国人材との関わりの深い3行政機関等（宮城労働局・ジェトロ仙台・JICA 東北）が加わり、地域のネットワークが広がりを見せている。</p>
効果・実績	DATEntreではコンソーシアムとしての5年間の取り組みを通じ、企業、外国人留学生双方による意思決定プロセスにおける「意識の壁」の低減に向けて働きかけてきた。相互理解を深めることを目的とし、日本での就職活動に対する知識習得のためのオンデマンドセミナー、実際に企業での働く様子を知り、日本での就職において選択肢の一つと位置付ける企業訪問ツアー、企業と学生が双方向コミュニケーションを通じ、マッチングの可能性を探る合同企業説明会などを開催してきた。

	<p>2021 年度までは DATEntre 事務局経由で参画機関に周知を行い、参画機関も学内への周知を図っていたが、2022 年度からは参画機関それぞれの取り組みが中心となっていく。そのなかでもそれぞれの活動について関心を持ち、DATEntre として互いに連携し合うことで、重要な情報を共有する機関が増加し、その情報の価値についても理解が進んでいく。それに伴って意識の壁の低減が進み、東北地域における外国人留学生の就職率定着率の向上にも寄与していくと考えられる。</p> <p>また、DATEntre 開始以来、日本で就職した学生は 2021 年 9 月現在で 70 名を超え、そのうち 8 名が宮城県内企業で働いている。全国各地の様々な企業で働く元留学生たちは、卒業後も「OBOG 会」を通じてつながりを維持し、コロナ禍でのリモートワーク時には、社会からの孤立を防ぐ貴重な機会となっていた。</p> <p>2021 年 2 月に正式発足した OBOG 会には、在学中に DATEntre に参加し、日本で働く元留学生が参加している。大手企業でも職場に外国籍社員は自分一人という状況は珍しくなく、OBOG 会は外国籍社員が職場や業務を通じて感じた違和感や文化の相違などを気軽に話すことのできる場としても機能している。</p> <p>OBOG 会は宮城県で働く元留学生が中心となって運営しているため、宮城県の「外国人留学生定着支援事業」にもゲストとして参加している。OBOG たちは自分たちの就職活動や地域で働く経験を学生と共有し、県内企業の担当者・経営者には外国人留学生採用のメリットを伝えている。</p> <p>2022 年 3 月で文部科学省事業としては終了するが、今後も DATEntre の活動は継続する。</p>
<p>課題・今後の展開等</p>	<p>宮城県内における高度外国人材の採用は、他地域と比較した場合、進んでいるとは言いがたい状況にあるが、その一因としては高度外国人材採用の有用性に関する情報の価値に気づいていない企業が多いためとも考えられる。少子高齢化に伴う若年人口の減少は、深刻な人手不足を招き、優秀な人材の確保は喫緊の課題となっている。外国人留学生の採用はそのための有効策の一つと考えられているが、その重要な情報を認識できていない企業が多いのではないだろうか。</p> <p>同様に、企業内の情報共有における意識の壁への働きかけについても課題が残っている。組織内のメンバー全員が共有している情報の場合、誰もが価値を認識しており、それに基づく判断も進めやすい。一方で自分だけが知っている情報を他者に伝え、支持を得るためには、その情報の価値についても伝える必要があるが、多くの場合、それには消極的である。多様な組織が参加するコンソーシアムは、本来はこうした様々な意見を取り込むために組織されている。外国人留学生の採用の意義について、現状において東北地域の企業では必ずしも多くの人が共有している情報ではなく、その価値について他者の理解を促すことは容易ではない。交流会やセミナー等の実施を通じ、価値を認識している人々を増やすことで、情報共有を少しずつ進めてきたが、その情報の価値についても十分に認識されていないと考えられる。</p>
<p>URL</p>	<p>https://www.kasseiken.jp/kassecms/wp-content/uploads/2021/10/vol.45.pdf https://www.google.com/url?sa=t&source=web&rct=j&opi=89978449&url=https://</p>

tohoku.repo.nii.ac.jp/record/139710/files/2434-8317-2023-9-159.pdf&ved=2ahUKEwjThbXC77SJAxU9cPUHHYeuHSMQFnoECBoQAQ&usg=AOvVaw0liTffkme3ohgxUqLqLaEr

④

事例名	外国人留学生の国内就職支援に関する協定
地域	全国
実施主体	ハローワーク
協力・連携体制	上智大学、名城大学、立命館大学、福岡大学、西南学院大学
取り組み内容	<p>外国人留学生の国内就職促進に向けて、「大学」と「ハローワーク」が「外国人留学生の国内就職支援に関する協定」という連携協定を締結し、留学早期からその後の就職・定着に至るまで一貫してサポートする取り組みを実施している。締結先は、上智大学、名城大学、立命館大学、福岡大学、西南学院大学（令和5年度時点）である。</p> <p>大学とハローワークが外国人留学生の就職支援に関する係る連携協定を締結</p> <p>①【入学後すぐ】 独特の就活スケジュールや日本企業の採用形態など、「日本の就職活動のイメージ」を出来るだけ早いタイミングで持ってもらうことが重要。</p> <p>②【1～2年生】 ●就職ガイダンス ●留学生OBによる座談会 ●日本企業の雇用慣行、企業文化の理解促進など ●コミュニケーション能力の重要性の認識</p> <p>③【3年生】 ●インターンシップ ●業界研究・企業説明会 ●OB・OG訪問 ●E S対策・履歴書の書き方講座、模擬面接</p> <p>④【4年生】 ●個別面談 ●就職面接会、個別求人紹介</p> <p>⑤【内定・入社後】 ●職場定着のための研修 ●企業サイドへの働きかけ ●既卒者への積極的支援</p> <p>（厚生労働省作成資料）</p>
効果・実績	<p>留学生の就職支援に関する連携協定を大学とハローワークが締結したことで、留学生のハローワークに対する認知度が向上し、留学生のハローワーク利用率が向上した。</p> <p>また、上智大学が留学生の卒業後の進路状況を把握するなかで、日本語能力の低い既卒留学生が未就職となることが多い状況が明らかになった。そこで、留学生に対する就職支援がより一層必要であるという認識の下で、該当する既卒者にハローワーク新宿を案内するとともに、ハローワーク新宿と上智大学が連携して対応するようになるなど、留学生個々人の実情を把握したよりきめ細かい就職支援を行うことが可能となった。</p> <p><協定に基づく取組み例>（2022年度下半期 取組実績） 【ガイダンス・セミナー関係】 ・モデルカリキュラムを用いた国内就職支援研修(福岡、大阪)：参加人数延べ16名 ・春期ビジネスインターンシップ(福岡)：2月および3月に概ね1週間実施/参加</p>

	<p>者4名、参加企業2社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月卒業生を対象とした特定活動（就職活動）ガイダンス（大阪）：1月に開催／参加者40名 ・就職ガイダンス・インターンシップ説明会（名古屋）：10月、12月に開催／参加者2名 <p>【個別相談・面接会関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職個別支援ハイフレックス（東京）：2月までに計11日間開催 / 参加人数33名（うち内定者10名） ・合同就職面接会・ミニ面接会（東京）：2月までに計36回開催 / 参加人数延べ799名参加
課題・今後の展開等	<p>日本の大学などの外国人留学生は、65%が日本国内の就職を希望しているにもかかわらず、実際の国内就職率は35%にとどまっている。その原因として、「日本の就職活動の仕組みがわからない」という、日本特有の就職活動への情報不足が上位の課題に挙げられており、「留学生用就職情報の充実」の必要性が指摘されている。</p> <p>厚生労働省は、今後も協定の締結などを進め、外国人留学生の国内就職促進に取り組んでいく。</p>
URL	<p>https://www.sophia.ac.jp/assets/uploads/exports/jpn/news/PR/itd24t00000a9891-att/hallowork_sophia.pdf</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/photo/2020/11/ph1105-01.html</p> <p>https://www.jasso.go.jp/gakusei/career/event/guidance/_icsFiles/afieldfile/2023/06/06/1mnka_ryuugaku.pdf</p> <p>https://www.soumu.go.jp/main_content/000765988.pdf</p> <p>https://apj.aidem.co.jp/current/detail/3291.html</p>

⑤

事例名	外国人留学生等就職・採用支援事業
地域	宮崎県
実施主体	宮崎県
協力・連携体制	—
取り組み内容	<p>宮崎県では、県内企業における外国人留学生の就職を支援することで、県内企業の人手不足やグローバル展開を担う人材確保に繋げることを目的に、外国人留学生就職・採用支援事業を実施している。</p>
効果・実績	<p><活動実績例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業で働く高度外国人材及び受入企業のインタビュー動画の掲載。 ・「高度外国人材の採用・定着セミナー」等、県内企業向け開催。 ・外国人留学生向け就職相談、企業向け採用相談の受付。

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生と県内企業のマッチング支援。令和6年度外国人材マッチング支援事業では、ランディングページとして、特設サイト「Work in MIYAGI」を開設。 ・県内の企業にインターンシップや面接に行く留学生に交通費や宿泊費の支援。 等
課題・今後の展開等	<p>『地方都市の在留外国人から見た多文化共生社会政策の現状と課題』（2023）によると、宮崎県の多文化共生政策は、次の3点が現状として挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.多文化共生政策は生活支援によるものを中心としており、労働雇用に関する政策が不足している事。 2.多文化共生政策は多言語対応によるものを中心としており、日本語能力不足に関する政策が不足している事。 3.多文化共生政策はグローバル化への対応によるものを中心としており、留学生の就職促進に関する政策が不足している事。 <p>上記の現状を踏まえた上で、多文化共生を実現するための課題として次の3点を挙げることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.労働雇用に関する取り組みの促進。 2.日本語能力不足に関する取り組みの促進。 3.留学生の就職支援と情報発信に関する取り組みの促進。 <p>外国人留学生就職・採用支援事業の活動をより周知するとともに留学生向けのセミナーや説明会、勉強会等をより一層充実させていく必要がある。</p>
URL	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/rodoseisaku/shigoto/rodo/ryugakusei.html https://workinmiyagi.pref.miyagi.jp/ https://www.jstage.jst.go.jp/article/ncs/31/0/31_50/_pdf/-char/ja

⑥

事例名	特定技能外国人受け入れ支援サービス
地域	北海道・東北（東京、大阪、埼玉、佐賀にもオフィスあり）
実施主体	キャリアバンク株式会社
協力・連携体制	—
取り組み内容	<p>キャリアバンク株式会社は、外国人の日本での就職支援、日本企業の外国人受入支援などに注力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業と外国人材のマッチング：外国人採用コンサルティングから募集・面接・内定までをトータルサポート。 ・受入れ支援：入国前研修やビジネスマナー研修の実施、入国後の空港出迎えや各種行政手続きなどのサポート。 ・日本語教育：グループの日本語学校と連携し、外国人社員の職種や能力に応じた日本語教育をサポート。 ・職場定着の支援：就任後の定期フォローや日々の相談対応を通じ、外国

	<p>人社員の職場定着を継続サポート。</p>
効果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・運営する日本語学校では、1000名以上の外国人に日本語教育を実施。外国人紹介実績は年間400人以上。 ・関連企業とのネットワーク力を生かした圧倒的な提案と実務能力で在留資格の取得をサポート。 ・厚生労働省や自治体など官公庁を中心として、外国人採用支援事業での数多くの実績あり。(厚生労働省「外国人留学生採用サポート事業」受託(2016年度～)、北海道庁「外国人雇用促進事業」受託(2019年度～)、宮城県「外国人雇用アシスト業務」受託(2019年度～)等) ・オンライン日本語教育(にほんごバンク)で日本語教育をサポート。就労後も、週に1回、オンラインで日本語の授業を受講できる体制を整えている。実際の日本語学校が授業内容を監修、講師はすべて日本語教師の有資格者が行うので日本語力のアップが期待できる。
課題・今後の展開等	<p>外国人の職場定着について相談をする自治体が多いが、地方の企業が懸念すべき点は、定着よりも今後今まで同様に外国人労働者を採用することができなくなるのではないかということである。</p> <p>この10年で技能実習生の主役は中国からベトナムに変わり、最近ではインドネシアが急増している。ミャンマーやカンボジアなども増えている。新興国が力をつけてきたというより、中国やベトナムからの採用が難しくなってきたから他の国から採用するようになったというのが大きな流れである。</p> <p>建設や介護の職種では外国人の採用が難しくなってきた。以前は10代から20代が中心だったのに最近では30代から40代の人しか集まらない、必要な給与もどんどん高くなってきているという話もよく聞く。特に地方の企業では急速に外国人の採用が難しくなってきた。</p> <p>以前は、技能実習では最低賃金レベルの求人さえあれば、中国やベトナムでも応募者が殺到した。北海道の最北端でも離島でも、職種を問わず応募者を集めることが出来た。今はそんなことはあり得ず、外国人採用は急速に売り手市場になってきており、この影響は地方で深刻に現れてきている。</p> <p>売り手市場で人材を採用するためには、地方の企業は、賃金を上げる、自社を魅力的にアピールする、受入体制を整備するなど、やるべきことが沢山ある。どこの国から採用するのか、どの在留資格で採用するのか、どの人材会社に採用を依頼するのか、採用計画をしっかりと立てる必要もある。自治体も、統計から外国人労働者の流れを分析し、どこの国の人が増えているのか、特定技能の普及は他地域に比べて遅れていないか、地元企業と特定の監理団体が癒着していないか、など、まずは現状の把握をしなければならない。地域の外国人労働者の課題を捉え、どの</p>

	ような支援をし、どのような効果を狙っていくか、しっかり計画を立てる必要がある。
URL	https://www.careerbank-itnl.jp/#home https://www.careerbank-itnl.jp/gaikokujinkoyou_ikusei/

⑦

事例名	外国人住民向けの日本語教室
地域	岡山県総社市
実施主体	岡山県総社市
協力・連携体制	—
取り組み内容	<p>岡山県総社市には、比較的長く日本に住んでいる南米系の定住外国人が多いのが特徴だが、行政窓口で日本語を問題なく話すことができる外国人市民はごく少数であった。このような状況の中、日本語教室の開講を望む声が多く寄せられるようになった。地域に暮らす外国人市民と直接的に関わる市役所として、責任を持って外国人の日本語教育施策に取り組む必要性を感じるとともに、地域での日本語教育に関わる課題等の把握の観点からも、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を平成 22 年度から受託し、市を実施主体とする日本語 教育事業に取り組むこととなった。文化庁委託事業としての運営は平成 30 年度で終わり、令和元年度からは市の財源により事業を継続・運営している。</p> <p>総社市は、外国人住民を対象にした「地域でつながる日本語教室」を毎週日曜日に開催している。総社市版日本語教育カリキュラムにもとづき、日常生活上で役立つ日本語を学ぶための授業や、ロールプレイによる会話練習などを行っている。この教室には、外国人住民の日本語学習を支援する「日本語学習サポーター」の市民が参加し、住民同士のつながりや交流の場にもなっているという。</p>
効果・実績	<p>【令和 4 年度日本語教室実績】 受講者総数 96 人・平均受講者数 15.9 人／回（ブラジル 15 人、中国 2 人、ベトナム 56 人、インドネシア 9 人、ミャンマー 4 人、ペルー 2 人、フィリピン 2 人、ネパール、タイ、台湾、バングラデシュ、フランス、ウクライナ各 1 人）。</p> <p>【令和 5 年度日本語教室実績】 受講者総数 68 人・平均受講者数 15.1 人／回（ブラジル 14 人、ベトナム 30 人、インドネシア 13 人、ミャンマー 3 人、オーストラリア 2 人、アメリカ 2 人、中国・ペルー・フィリピン・タイ各 1 人）。</p> <p>市役所内各担当部署・岡山県内 NPO・各種機関・団体との連携し、ごみの分別講習、交通安全・マナー講習、防災訓練への参加、消防署での消火訓練、病院での診察体験なども実施している。</p> <p>・「地域コミュニティ連携防災訓練事業」（H27～） 地域に暮らす外国人住民に対し、地域コミュニティ、外国人防災リーダー、行政が</p>

	<p>連携し、防災訓練へ参加する機会を提供し、外国人住民の立場に立った防災知識の習得と災害時のより実用的な日本語習得を目指すとともに、日本人住民と日常からの「顔が見える関係づくり」を行い、情報伝達ができないことによる災害時要支援外国人住民を減少させるとともに、日本人住民に対して外国人支援意識の向上・啓発を図ることを目的に実施している。</p> <p>・「地域ではぐくむ子育て応援事業」(H27～)</p> <p>市内の保育・子育て NPO 法人との連携により、子育て世代の外国人 保護者と子供を対象に、同世代の親子が集まる交流の場に参加する機会を提供し、育児に関する基礎的知識、育児用語や学校用語など子育てに関する日本語の習得を目指すとともに、地域に暮らす住民として子育ての悩みを相談・共有することで、外国人保護者の子育てに対する不安を緩和・解消し、地域全体で子どもの健やかな成長を見守り、子育てを応援することを目的に実施している。</p> <p>・「地域で働く外国人就労者の日本語教育支援に関する調査研究事業」(H28～H29)</p> <p>従来から本市に多く居住しているブラジル・ペルーなどの南米系の外国人就労者に加え、近年、中国・フィリピン・ベトナム・インドネシアなどアジア諸国の技能実習生が急速に増加している状況から、外国人住民を雇用している企業と雇用されている外国人就労者に対しヒアリング・アンケート調査を実施し、日本語教育支援の実態とニーズや課題を明らかにし、今後の企業と行政との連携・協働の可能性について検討することを目的に実施。</p>
課題・今後の展開等	<p>今後の日本語教育事業の方向性と、事業主体である本市が担うべき役割は、地域に暮らす外国人住民が継続的・自律的に日本語学習を行いながら、日本人住民との相互交流を通して、地域住民同士が繋がる場を提供し、多文化共生への意識啓発・意識醸成を図りながら、継続的に外国人支援を担っていく人材の育成と、外国人住民の自立と社会参加を支援する基盤システムとしての役割を果たすとともに、近隣地域との相互連携を強化し、有機的な人的交流・情報交換が行える地域間相互ネットワークを形成することにより、「多文化共生社会を実現できるまちづくり」を可能にする国際交流と相互理解の中核的拠点として、地域社会に貢献していくことであると考えている。</p>
URL	https://www.city.soja.okayama.jp/data/open/cnt/3/732/1/R6nihongogaiyou.pdf?20240610102956

⑧

事例名	外国人児童の「不就学ゼロ」を目指す適応指導教室「ばら教室 KANI」
地域	岐阜県可児市
実施主体	岐阜県可児市
協力・連携体制	JICA 中部
取り組み内容	岐阜県可児市は、県内最大規模の工業団地があることや、周辺地域に自動車や家電関連の製造企業が多くあることで外国人労働者が増えた。フィリピン、ブラジルの国籍

	<p>を持つ人が多い。留学生が日本で就職後、母国にいる家族を日本に呼び寄せた場合、家族への生活支援も必要となってくる。</p> <p>同市では、外国人児童の不就学ゼロを目指した教育支援を行っている。日本語を話すことができない外国籍の児童を対象に、就学前の初期適応指導教室「ばら教室 KANI」を実施。3カ月程度の期間、日本語や掃除や給食当番など日本の学校ならではの習慣やルールを習う。日本の生活に慣れる機会を設けた上で、児童の就学を促している。また、市内の各小・中学校には国際教室があり、外国人児童が日本語や教科の指導を受けられる仕組みを整えている。国際教室での子どもたちの指導に、JICA 中部が行う教員向けの研修を活用する教員もいる。</p>
効果・実績	<p>取り組みとの因果関係を一概に結びつけることはできないが、同市の学校に通う外国籍の子どもは、平成 26 年の 75.8%から平成 30 年の 89.1%に上昇。日本の高等学校や大学に進学させたいと希望する家庭も、平成 23 年の 56.8%から平成 30 年の 71.2%へと大幅に上昇している。日本の学校に適応している子どもたちが増えている様子がうかがえる。</p>
課題・今後の展開等	<p>順調に成果を上げているように見える一方で、令和 2 年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、保護者の失職や収入減によって帰国を理由に退学を申し出るケースも出てきた。「不就学ゼロの実現には関係機関との連携と、必要な予算確保が欠かせません。今後も子どもたちが目標を持ち前向きに生きる意欲を持てる“笑顔の学校”を目指して、様々な機関が連携して子どもたちの学習環境を整備していきたいと考えています」。と可児市教育委員会 学校教育課 小川隆行さんは話している。</p>
URL	<p>https://jichitai.works/article/details/596</p> <p>https://www.jica.go.jp/Resource/publication/mundi/202101/202101_04.html</p>

⑨

事例名	防災訓練に外国人住民が参加
地域	鹿児島県鹿児島市
実施主体	鹿児島県鹿児島市、公益財団法人鹿児島県国際交流協会
協力・連携体制	鹿児島県
取り組み内容	<p>鹿児島県鹿児島市では、県と共催する「桜島火山爆発総合防災訓練」に 2014 年度から外国人住民が参加している。桜島の噴火を想定した大規模な防災訓練で、島外への避難訓練や避難所運営訓練でのボランティアのほか、外国人に必要な情報を日本語で収集し、翻訳して発信するための「災害時多言語支援センター」の設置運用訓練などを行っている。外国人住民にも避難訓練に参加してもらうことで、災害時に地域の担い手となって活動する意識を高めることがねらいだ。</p>
効果・実績	<p>2014 年度の「桜島防災訓練」では、その一環として、公益財団法人鹿児島県国際交流協会と公益財団法人鹿児島市国際交流財団の共催で、在住外国人を対象に災害に巻き込まれた際の対応などについて学ぶ「桜島火山爆発総合防災訓練講座」が実施され、初めて留学生などの在住外国人総勢 8 か国 111 人が参加した。</p>

課題・今後の展開等	<p>日本語がわからない外国人のために、活動内容を説明する「多言語表示シート」の作成と、当日の活用が必要である。</p> <p>また、2014年度の「桜島防災訓練」では、開会式内で実施した地震発生初動訓練で「地震が発生しました。身を守る体勢をとって下さい」という放送が流れた際、日本人参加者全員が頭を守りその場に座るといった体勢をとった中で、100名超の外国人住民の列だけが立ったままであった。「何故あの人たちは立っていたの?」という気象庁の方の質問に、①日本語がわからない ②「身を守る体勢」をどうとればよいのかわからない ③自分が行動しなければならないことがわからない（訓練の経験がない）の3点を説明が挙げられた。</p> <p>また、参加外国人が多く、通訳者が足りず、通訳なしでは看護師による健康相談や栄養士による栄養相談が行えなかった。通訳なしでも活動できるよう「多言語指さし会話集」作成の必要性がある。次年度以降は同会話集を使っての通訳不在でも健康相談、栄養相談ができるような訓練へと変化した。</p> <p>そのほか、豚肉カレーを宗教的理由で食べることができなかった人が多数いた。炊き出しに宗教食を準備する必要性ハラル勉強会の実施し、次年度以降は、炊き出し食に一般食・制限食・宗教食の三種が準備されるよう変化した。</p>
URL	<p>https://tassk.org/wp-content/uploads/2019/06/coordinator2018_yunoki.pdf</p> <p>https://www.clair.or.jp/j/forum/forum/pdf_309/14_culture01.pdf</p>

⑩

事例名	多文化共創担い手育成事業「Roots インターン」
地域	群馬県
実施主体	認定特定非営利活動法人カタリバ
協力・連携体制	群馬県
取り組み内容	<p>群馬県では、令和3年4月に施行した「群馬県多文化共生・共創推進条例」に掲げる多文化共生・共創社会の実現に向けて、県内企業の外国人材受入環境作りを促進するとともに、外国人材に群馬県を「働く場」として選んでもらうため、令和3年6月に「群馬県多文化共創カンパニー認証制度」を創設した。外国人材を雇用し、「仲間」として迎え入れ、ともに活力を創り出すための特に優れた取組を行う事業者を認証する制度である。</p> <p>認証された事例については、外国人材の活躍する様子や事業者の支援の状況等を紹介するWebコンテンツを県で作成し、県公式YouTubeチャンネル tsulunos や SNS 等により国内外へ広く情報発信している。</p> <p>次の事項について、ロールモデルとして特にふさわしい取組を行っている事業者を総合的な観点から評価し、認証している。</p> <p>(1) 外国人材が企業の新たな価値創造に貢献できる業務を担っている。(例：海外販路の拡大、商品開発等)</p>

	<p>(2) 外国人材の能力開発の機会を積極的に設けている。(例：大型重機の免許取得や技能試験合格に向けて支援、帰国後を見据えたキャリア形成への支援等)</p> <p>(3) 外国人材が日本人に交じり、企業の役職に就いて活躍している。(例：課長や係長等といった管理職に就いている、外国人材の活躍が日本人社員の意識改革や生産性向上につながった等)</p> <p>(4) その他外国人材の活躍につながる支援を行っている。(例：外国人材に対する充実した生活支援を行っている。防災訓練や地域行事への参加を促し、地域コミュニティへの参画を支援等)</p> <p>認定特定非営利活動法人カタリバでは2019年から国籍や生い立ちに関係なく、日本にいるすべての人に「社会に居場所がある状態をつくる」ことを目指し「Roots プロジェクト」を立ち上げた。</p> <p>群馬県は認定特定非営利活動法人カタリバと連携し、外国ルーツの高校生のキャリア形成においてネックとなる「日本社会とつながる困難さ」や「将来をイメージする機会の少なさ」の解消を図るため、群馬県多文化共創カンパニー認証事業者等で職業体験を行うインターンシップ「Roots インターン」を2022年度に立ち上げ、2023年から実施している。具体的には、企業に赴いての1Day体験を軸に、約半年間のメンタリングと高校生自身が設定したキャリア実現への1歩「マイアクション」を考えられるようなプログラムで構成されている。</p> <p>外国ルーツの高校生がキャリア実現を目指す中で直面する言語・文化・価値観の違いで生まれる壁を、職業体験を通じた対話を通して子どもたちと企業がお互いに出会い、考える場を創出することで、外国ルーツの子どもたちへの認知・理解や、彼らが日本で働くことへの期待を育むことを目指している。</p>
効果・実績	<p>群馬県多文化共創カンパニー認証企業：13事業者を認証（令和6年度分含む）</p> <p>Roots インターン賛同企業：株式会社 鐵建、株式会社 栄光製作所、有限会社 農園星ノ環、サイボウズ株式会社、株式会社 ALL CONNECT、株式会社チョイスホテルズジャパン等</p>
課題・今後の展開等	<p>今後の展開としては参加した高校生の追跡調査を行い本プログラムの長期的な効果を検証することが望まれる。また企業側のメリットも明確にすることでより多くの企業の参加を促進できるかもしれない。Roots インターンが外国ルーツの高校生のキャリア支援モデルとして確立され全国に展開されることで多様性を尊重する社会の実現に大きく貢献することが期待される。</p>
URL	<p>https://www.pref.gunma.jp/site/gaikokujinzai/4070.html</p> <p>https://www.katariba.or.jp/news/2024/07/19/45247/</p> <p>https://www.katariba.or.jp/news/2024/07/19/45247/</p> <p>https://www.katariba.or.jp/news/2023/08/10/41800/</p> <p>https://xexeq.jp/blogs/media/topics4415#list4</p>

⑪

事例名	留学生就職支援コンソーシアム SUCCESS
地域	大阪
実施主体	関西大学
協力・連携体制	大阪大学・大阪府立大学・大阪市立大学
取り組み内容	<p>関西大学では、大阪大学・大阪府立大学・大阪市立大学とともに発起人大学となり、「留学生就職支援コンソーシアム SUCCESS」を2022年春に始動。本コンソーシアムは、高度外国人材の育成および国内企業における定着促進を目的に、多様な人材が活躍する次世代の日本社会の実現に寄与する。</p> <p>4 大学では、2017年度文部科学省「留学生就職促進プログラム」に採択された「SUCCESS-Osaka」において、外国人材のキャリア形成支援事業を展開してきた。2021年度を以て同事業の委託期間が終了することに伴い、推進母体である「CARES-Osaka コンソーシアム」を再編する形で、取組みを継承・発展させている。新コンソーシアムは、国内の高等教育機関で学ぶ外国人留学生の専門性とソフトスキル（異文化間コミュニケーション力、計画・調査力、自己管理能力等）の育成を産学協働によって実現させる。単に内定獲得を目的とするのではなく、持続した就業を前提とした「キャリア形成支援」の取組みである点が最大の特長である。留学生の活躍が国内企業の変容とさらなる成長、ひいては次世代の日本社会の形成促進に直結する。</p>
効果・実績	<p>就職支援集中講座、SDGs ビジネスプランニング講座、ビジネス日本語（BJT）セミナー、10日間のインターンシップ、Future Design Project などを提供。</p> <p>Future Design Project では、留学生が企業でインターンシップに参加するだけでなく、課題解決や新規事業開発などをテーマに企業とチームを組み、新しいビジネスモデルを作り上げる。Future Design Project 2024－外国人留学生による企業の課題解決発表会では、SDGs 課題解決型長期インターンシップ「Future Design Project」の成果を参加学生が発表する課題解決発表会を、外国人留学生による社会課題解決2DAYS イベントとして、11/11開催の KANSAI's Got Talent 2024－外国人留学生が考える日本企業の課題解決ポスターセッションに続き、11/12 関西大学梅田キャンパスにて開催。当日は26名の発表学生に加え、外国人留学生の採用に関心のある企業関係者、教育機関関係者等総勢106名の参加者を迎え、盛会のうちに終了した。</p>
課題・今後の展開等	<p>まずは「留学生の日本企業との交流機会：1人1,000時間」を目標に、企業との連携促進（情報交換、イベントの企画、インターンシップの開発等）や、留学生の自己分析に基づく自己実現力の強化（日本企業の理解促進、自身の適性把握等）に取り組む。また、従来の4大学に加え、国内の高等教育機関に横展開し、より多くの大学の参加を募る。</p>
URL	<p>https://www.kansai-u.ac.jp/ja/assets/pdf/about/pr/press_release/2021/No42.pdf</p> <p>https://www.success1.jp/#sub_about</p> <p>https://www.kansai-u.ac.jp/ja/assets/pdf/about/pr/press_release/2024/No30.pdf</p> <p>https://digitalpr.jp/r/53386</p>

⑫

事例名	外国人材の国内定着実現に向けた取組み ～損保ジャパンと新サービス開発へ協業開始～
地域	—
実施主体	一般社団法人 Transcend-Learning、損害保険ジャパン株式会社
協力・連携体制	—
取り組み内容	一般社団法人 Transcend-Learning および損害保険ジャパン株式会社は、外国人留学生および外国人労働者の日本国内での定着を目指した新たなサービスの共同開発・提供に向けて協業することに 2024 年 10 月に合意した。
効果・実績	今回 2 社は、外国人労働者の活躍による日本の労働力不足解消を目指し、両社のノウハウを活用した商品・ソリューションの開発に向けて協業を開始した。Transcend-Learning の外国人留学生および労働者の定着化に関するノウハウとデータを活用し、損保ジャパンのリスク評価およびサービス提供の強みを組み合わせ、外国人労働者の活躍推進・定着をサポートする新たな商品・ソリューションの開発を目指す。これには、医療補償や信用補完のサポート、企業による定着支援などが含まれる。
今後の展開	Transcend-Learning は、教育に関する事業を通じて、外国人留学生を中心とした世界中の人材の成長に寄与し、日本全国の幅広い企業と連携して、地域活性化と世界での活躍を目指す人材の育成を進めていく。損保ジャパンと Transcend-Learning は、それぞれの強みを活かし、外国人留学生や労働者とそのご家族が安心・安全・健康に日本での生活を楽しめるよう、様々なソリューションを提供し続ける。これにより、外国人材の日本における定着と活躍を促進し、SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」の達成に貢献する。そして、社会が直面する未来のリスクに対処し、最高品質のサービスで社会に貢献していく。
URL	https://transcend-learning.org/topics/01.html

⑬

事例名	ふくい雇用創出・定着支援事業
地域	福井県
実施主体	福井県
協力・連携体制	PERSOL Global Workforce 株式会社（福井県受託事業者）
取り組み内容	外国人材の雇用・定着に関する様々な悩み（例：外国人材の採用を検討しているが、何から始めれば良いか分からない。外国人社員との日本語でのコミュニケーションに不安や課題感がある。外国人社員の育成にノウハウがなく困っている。等）に対し、専門家の派遣や各種研修等により総合的な支援を行う。 令和 6 年度は、福井県内に主たる事業所を有し、下記いずれかにあてはまる事業者 20 社程度を支援する。（募集期間：令和 6 年 8 月 26 日(月)～令和 6 年 12 月 6 日(金)）

- (1) すでに外国人材を雇用している
- (2) 令和6年度に新たに外国人材雇用を予定または検討している

【支援内容】

支援企業1社ごとに25ポイントが付与され、そのポイントの範囲内で各企業が抱える悩みに応じて下記の支援メニューを組み合わせることができる。

-----支援システム-----

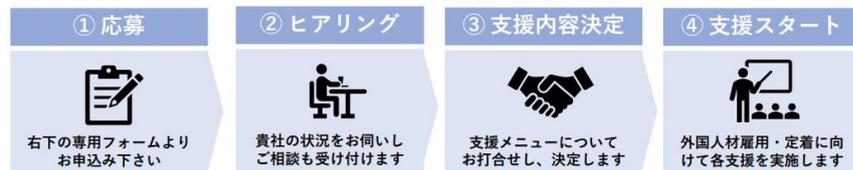


-----選べる支援内容-----

支援内容	時間	必要ポイント
① 外国人材の採用に向けた制度・必要手続等の説明・相談	1.5時間	5P
② 外国人材の雇用に向けた社内体制・規定・必要書類の整備	1回のコンサルテーションあたり1時間	5P×時間
③ 外国人材の住居、銀行、携帯電話等の契約等を行う支援企業社員への同行	1日	20P
④ 外国人社員に対するメンター派遣（原則として母国語で行うものとする）	0.5時間/回/人	5P
⑤ 外国人社員に対するメンター派遣（原則として母国語で行うものとする）	1時間/回/人	10P
⑥ ビジスマナー教室の実施	1.5時間	5P
⑦ 異文化コミュニケーション研修の実施	1.5時間	10P
⑧ 中級・上級レベル（日本語能力試験のN1～N3レベル）のビジネス日本語教室の実施	6時間	25P
⑨ 日本人社員向け「外国人材に伝わる日本語研修」	2時間	15P

②について*2回コンサルテーションを受ける場合は 10P必要

-----支援の流れ-----



効果・実績

PERSOL Global Workforce は、昨年 2023 年（令和 5 年度）「ふくい雇用創出・定着支援事業」を受託、県内の約 20 社の事業者・外国人材を対象に、外国人材の採用と定着のための支援した実績を持っている。

2 年目となる今年は、昨年のノウハウを生かし新たに外国人材の雇用を検討する企業および昨年に続き外国人材の追加雇用を検討する県内の企業をしっかりとサポート、福井県の人材不足の解消に貢献していく。

課題

<支援を受けた企業が挙げている今後の課題や目標例>

- ・外国人材採用に関する正しい知識・情報を得て、受入れ・定着できる体制を整えていきたい。
- ・外国人材だけに限らず、働きやすい環境づくりを目指していきたい。また、今後はさらに高度外国人材を採用して、他の外国人材と日本人 従業員の橋渡しの存在になってもらいたいと考える。
- ・外国人材から「分かりました」と返事があっても、理解していないこともあった。

	<p>外国人材が質問や相談をしやすいような関係づくりをしていきたい。コミュニケーションの質を高めることが重要だと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流を増やす機会を作っていきたい。会社内だけではなくて、地域住民の外国人材への理解を得るためにも、また外国人材が地域の住民と触れ合うことで文化・生活マナー等の理解や、日本語力の向上にも繋がると良いと思っている。 ・外国人材が定着できるように、働きやすい環境づくりを整えていくためには、地域として外国人材の採用・定着しやすい環境づくりに取り組み、外国人材への理解を進めていくことが重要だと考える。
URL	<p>https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/rousei/kigyoushien/fukui-globalsupport.html</p> <p>https://persol-gw.co.jp/news/20240828/</p> <p>https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/rousei/kigyoushien/fukui-globalsupport_d/fil/zireisyu_R5.pdf</p>

⑭

事例名	一般社団法人 泉佐野市外国就労者サポートセンター
地域	大阪府
実施主体	一般社団法人 泉佐野市外国就労者サポートセンター
協力・連携体制	—
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用者側のニーズに応えるための日本語・スキル等の人材育成、教育研修事業 ・外国人労働者の職業生活、日常・社会生活、日本語学習に対する支援事業 ・外国人の生活に必要な各種契約及び行政手続きにかかる支援事業 ・外国人労働者の職場内における労働環境の整備に向けた支援事業 ・外国人労働者に関するワンストップ相談窓口としての支援事業 ・多文化共生社会の実現に向けた地域との交流支援事業 ・送り出し国との社会的・経済的・文化的関係の交流促進支援事業 ・送り出し国と国内企業との経済連携支援事業（技術移転、企業進出、国際貿易等）
効果・実績	—
課題	—
URL	https://www.ifos.or.jp/

⑮

事例名	周南公立大学留学生地域定着支援プログラム
地域	山口県
実施主体	周南公立大学
協力・連携体制	—
取り組み内容	大学の所在地である山口県、および周南圏域にて就職活動を行うことを推奨し、地域への長期定着を支援するものである。本プログラムを履修した外国人留学生が、地域

	<p>の多文化共生に貢献するグローバル人材として成長することをめざす。</p> <p>本プログラムは、「地域に根ざし、地域の問題を地域とともに解決し、地域に愛され、地域に信頼され、『地域に輝く大学』となる」という大学のビジョンに基づき「地域を舞台にした教育」「人間力育成」「日本語教育支援」「キャリア支援」の4つのカテゴリからなる計22科目+複数の支援制度によって構成されている。</p> <div style="text-align: center;"> <p>留学生地域定着支援プログラム(2024年最新)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;"></th> <th style="width: 25%;">1年生</th> <th style="width: 25%;">2年生</th> <th style="width: 25%;">3年生</th> <th style="width: 25%;">4年生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">地域を舞台にした教育 (80)</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">地域共創型教育プログラムー地域を知り、地域で学ぶー</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> キャリア形成活動Ⅰ 対象企業：周南圏域 教養ゼミ <small>大学教育の基礎</small> </td> <td style="text-align: center;"> キャリア形成活動Ⅱ 対象企業：周南圏域・山口県、山口県外 地域ゼミ <small>地域課題を通して学ぶ</small> </td> <td style="text-align: center;"> 専門ゼミⅠ <small>地域の課題解決に取り組む(山口型PBL専門ゼミ)</small> </td> <td style="text-align: center;"> 専門ゼミⅡ </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人間力育成</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">循環型教育による人間力育成</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">EQトレーニングⅠ (自己理解と他者理解) <small>デザインシンキング(課題解決策能力)・周南Well-being創生入門・異文化コミュニケーション</small></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">EQトレーニングⅡ(目標達成のための集団形成能力) EQトレーニングⅢ(社会・環境に応じたマネジメント能力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本語教育支援</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">日本でのキャリア構築を可能にする日本語プログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">日本語会話中上級Ⅰ 日本語会話中上級Ⅱ (JLPT N2級レベル)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;"> 中上級・上級日本語(JLPT N1~N2級レベル) ビジネス日本語Ⅰ(就職活動支援日本語教育) ビジネス日本語Ⅱ(ビジネス日本語習得) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">キャリア支援</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">地域企業との関係構築</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;"> キャリア支援ガイダンスの実施(年2回~3回) キャリア・プランニング基礎・実践 地域企業との交流ゼミの実施(地域企業との複数回による交流会) 地域業界別キャリアアドバイザー制度(地域企業からの業界紹介など) </td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">地域の多文化共生社会実現に寄与するグローバル人材として地域に定着</p>		1年生	2年生	3年生	4年生	地域を舞台にした教育 (80)	地域共創型教育プログラムー地域を知り、地域で学ぶー					キャリア形成活動Ⅰ 対象企業：周南圏域 教養ゼミ <small>大学教育の基礎</small>	キャリア形成活動Ⅱ 対象企業：周南圏域・山口県、山口県外 地域ゼミ <small>地域課題を通して学ぶ</small>	専門ゼミⅠ <small>地域の課題解決に取り組む(山口型PBL専門ゼミ)</small>	専門ゼミⅡ	人間力育成	循環型教育による人間力育成					EQトレーニングⅠ (自己理解と他者理解) <small>デザインシンキング(課題解決策能力)・周南Well-being創生入門・異文化コミュニケーション</small>	EQトレーニングⅡ(目標達成のための集団形成能力) EQトレーニングⅢ(社会・環境に応じたマネジメント能力)			日本語教育支援	日本でのキャリア構築を可能にする日本語プログラム					日本語会話中上級Ⅰ 日本語会話中上級Ⅱ (JLPT N2級レベル)	中上級・上級日本語(JLPT N1~N2級レベル) ビジネス日本語Ⅰ(就職活動支援日本語教育) ビジネス日本語Ⅱ(ビジネス日本語習得)			キャリア支援	地域企業との関係構築					キャリア支援ガイダンスの実施(年2回~3回) キャリア・プランニング基礎・実践 地域企業との交流ゼミの実施(地域企業との複数回による交流会) 地域業界別キャリアアドバイザー制度(地域企業からの業界紹介など)			
	1年生	2年生	3年生	4年生																																										
地域を舞台にした教育 (80)	地域共創型教育プログラムー地域を知り、地域で学ぶー																																													
	キャリア形成活動Ⅰ 対象企業：周南圏域 教養ゼミ <small>大学教育の基礎</small>	キャリア形成活動Ⅱ 対象企業：周南圏域・山口県、山口県外 地域ゼミ <small>地域課題を通して学ぶ</small>	専門ゼミⅠ <small>地域の課題解決に取り組む(山口型PBL専門ゼミ)</small>	専門ゼミⅡ																																										
人間力育成	循環型教育による人間力育成																																													
	EQトレーニングⅠ (自己理解と他者理解) <small>デザインシンキング(課題解決策能力)・周南Well-being創生入門・異文化コミュニケーション</small>	EQトレーニングⅡ(目標達成のための集団形成能力) EQトレーニングⅢ(社会・環境に応じたマネジメント能力)																																												
日本語教育支援	日本でのキャリア構築を可能にする日本語プログラム																																													
	日本語会話中上級Ⅰ 日本語会話中上級Ⅱ (JLPT N2級レベル)	中上級・上級日本語(JLPT N1~N2級レベル) ビジネス日本語Ⅰ(就職活動支援日本語教育) ビジネス日本語Ⅱ(ビジネス日本語習得)																																												
キャリア支援	地域企業との関係構築																																													
	キャリア支援ガイダンスの実施(年2回~3回) キャリア・プランニング基礎・実践 地域企業との交流ゼミの実施(地域企業との複数回による交流会) 地域業界別キャリアアドバイザー制度(地域企業からの業界紹介など)																																													
効果・実績	「周南公立大学留学生地域定着支援プログラム」は、文部科学省による「留学生就職促進教育プログラム認定制度」に認定された。(令和3年度10月認定)																																													
課題	—																																													
URL	https://www.shunan-u.ac.jp/edu/student_inter/																																													

⑩

事例名	地方自治体向けの外国人介護人材の受入れ・定着支援サービス
地域	東京都
実施主体	Zenken 株式会社
協力・連携体制	—
取り組み内容	Zenken 株式会社は、2024年11月より、地域で外国人介護人材の受入れや定着に課題を抱える地方自治体を対象とした支援サービスを開始した。自治体内の事業者が外国人介護人材の受入れや定着を促進するためのノウハウ、取り組み事例や成果を広く共有する。当社は異文化理解の研修や就労環境のガイダンスなどを通じて、外国人介護人材が地域社会の一員として受入れられ、長く働き続けられる体制づくりをサポートしていく。
効果・実績	第一号として、新潟県より「外国人介護人材定着支援研修」業務を受託。
今後の展開	今後、Zenken は同様のサービスを日本全国の自治体向けに展開し、地域の介護人材

	不足の解消と安定的な介護体制の構築に貢献していく。
URL	https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000521.000006978.html

⑰

事例名	留学生キャリア形成・地域定着プロジェクト「Link KAGAYAKI」
地域	金沢市
実施主体	金沢大学
協力・連携体制	－
取り組み内容	<p>金沢大学では、外国人留学生と北陸の企業をつなぐ留学生キャリア形成・地域定着プロジェクト「Link KAGAYAKI」を2022年に始動した。高度な専門知識と技術を持ち、我が国の企業文化に溶け込み、そして地域に根づいて我が国の成長原動力となる高度職業人材を育成する。外国人留学生と地域の企業との結びつきを強め、さらには企業の海外展開をはじめとした事業発展につなげ、ひいては北陸地域の活性化と発展を目指す。</p> <p>インターン研究会、合同企業説明会、他大学と合同のキャリアセミナー、ジョブフェア、外国人活用セミナー等の開催、日本就職をした本大学の卒業・修了生の声の掲載などを行なっている。</p>
効果・実績	<p>●2022年5月30日、文部科学省「大学の国際化促進フォーラム」事業の採択プロジェクトとして、本学が推進している「地方の国際化と活性化を推進する留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト」のシンポジウムをオンライン開催し、大学、企業、自治体等の関係者から計121名が参加した。シンポジウムでは、外国人留学生における取組事例の紹介、日本語教育の現状等における共同講演、地域定着のためのキーファクターの取組について基調講演が行われた。留学生のキャリア形成・地域定着について情報発信するとともに、本プロジェクトの取組、及び今後の展開について理解いただく大変良い機会となった。</p> <p>●2022年10月27日に岡山大学「日本留学海外拠点連携推進事業（東南アジア）」×金沢大学「留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト『Link KAGAYAKI』」オンラインセミナーが開催され、本学からさまざまな情報を発信した。当日は多数の国からオンラインにて約80名が参加。セミナーでは「Link KAGAYAKI」での留学生の就職支援について説明。企業紹介においてはYKK株式会社からグローバル人材への期待を語っていただいた。そして現在日本の企業で活躍する本学出身者の日本就職体験談として3名から後輩に向けて日本でのキャリア形成を伝えてもらった。母国との制度や文化の違い、大都市と比較した北陸への留学・就職のメリットなど、留学・就職志望者が気になる具体的な情報を伝えられた。</p> <p>●2022年12月8日、金沢市内にて「北陸未来共創フォーラム 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト『Link KAGAYAKI』コンソーシアムキックオフ」を現地参加、オンライン配信のハイブリッド形式で開催し、企業、経済団体、自治体、公的機関、大学等から合わせて約130名が参加。留学生キャリア形成・地域定着促</p>

進プロジェクト「Link KAGAYAKI」の事業説明を行った。この「Link KAGAYAKI」コンソーシアムの取組みが評価され、経済産業省高度外国人材活躍地域コンソーシアム第1号として選定された。「外国人留学生の地域定着に向けて企業の採用事例」とし、2社に、これからの事業展開において留学生に期待し採用に積極的な取組みについて講演いただいた。続いて現在、グローバル人材として活躍している本学の元留学生2名に、日本の企業で働いてみて感じたこと、そして今後のキャリアビジョンについて講演いただいた。キックオフ閉会后、留学生によるパネル発表が行われ、本学及び北陸先端科学技術大学院大学、金沢星稜大学、北陸大学、福井大学の学生6名が「日本で描く 私のキャリア」をテーマにポスター発表。学生の熱のこもった発表に対し、キックオフ参加者から積極的な質問が飛び交い、参加者は、流ちょうな日本語で熱心にキャリアの夢を語る留学生との交流を通じて、高度外国人材への理解を深めた。

●2022年12月8日留学生北陸3県合同企業説明会：企業25社が出展、北陸地域の大学・大学院に在籍する外国人留学生が、約60名が参加。

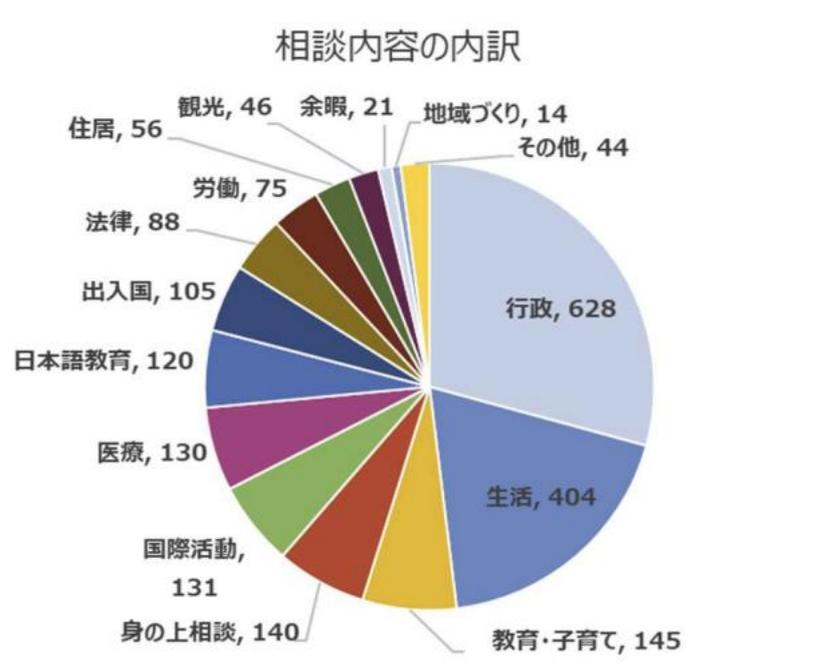
●2023年12月7日（木）、金沢市内にて「北陸未来共創フォーラム 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト『Link KAGAYAKI』コンソーシアム 留学生と企業を”つなぐ”マッチング事例報告」を対面形式で開催し、企業、経済団体、自治体、公的機関、大学等から合わせて約80名が参加した。マッチング事例報告は、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」の令和5年度中間報告を行い、令和4年度の活動実績、そして今後の取組みについて報告・説明しました。「留学生インターンシップ事例紹介」として、2社に、留学生を対象としたインターンシップの実施について詳しく紹介いただいた。実施を通して、学生に学びがあったように、企業にとっても学びと気づきが得られ、次につなげる機会となった。続いて、「高度人材の活躍—採用マッチング事例紹介」として、3社に、実際に留学生と働くうえでの配慮や、事業や社内への好影響などについて講演いただいた。

●2023年12月7日（木）に開催した「北陸未来共創フォーラム 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト『Link KAGAYAKI』コンソーシアム」において、留学生パネルプレゼンテーションを同時開催。本学のほか、富山大学、金沢星稜大学、北陸大学、福井大学から留学生14名が参加、「私が日本へ留学した目的、そして私の将来像」をテーマに、個性あふれる思い思いのポスターを作成し、自身について、企業や経済団体をはじめとした会場来場者に向け、プレゼンテーションを行った。どのプレゼンテーションにも発表した留学生の魅力がたっぷりと詰まっており、個々の専門スキルや将来への展望など、熱い想いを語ってくれた。パネルの前で企業と留学生の活気ある交流も見られ、留学生の魅力や将来性が存分に伝わった。

●2024年年3月19日『～魅力発見！つながる・まなぶ～外国人留学生×地域企業クロスセッション』を開催。北陸3県の大学、大学院に在籍する外国人留学生を対象に、企業と留学生の交流会を行った。金沢大学の他、北陸先端科学技術大学院大学、北陸大学、富山大学、福井大学、福井県立大学、福井工業大学から留学生が参加し、

	<p>北陸3県の企業5社が参加し、総勢50名ほどでの開催となった。企業5社による事業紹介につき、グループセッションを実施。留学生と企業がテーマに沿って意見を交わし、双方にとってよい学び、気づきがあったと見られる。通常の企業説明会と違い、留学生はリラックスして企業と交流できたようであった。</p> <p>●2024年4月30日『留学生のためのインターンシップガイダンス』を開催。対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、金沢大学及びプロジェクト「Link KAGAYAKI」で連携している福井大学から合わせて約15名の外国人留学生が参加。ガイダンスの前半では、富山県、福井県、石川県及び石川県鉄工機電協会の担当者が、各機関のイベントや留学生への支援などを紹介。後半では、本学の講師が日本と海外でのインターンシップの違いや説明会等のイベント活用方法、インターンシップ先企業の選び方などを説明した。</p> <p>●2024年9月12日～13日、外国人留学生が石川県内の企業見学などを通じて地域の産業・文化を学ぶ「いしかわ金沢学／いしかわ企業見学 CAMP」を開催した。金沢大学及び文部科学省「留学生就職促進教育プログラム認定制度」において連携している信州大学から合わせて13名の留学生が参加。今回は「モノづくりの世界と歴史」をテーマに、1日目は県内の製造業3社を訪問し、各企業において会社説明の後、工場やオフィス内を見学した。夕方からは県内企業3社の人事担当者を招いて協働ワークショップを実施。「働き手不足が進む日本において、効率の良いモノづくりを実現するには?」「日本の幸福度を上げるには?」などの課題について、3グループに分かれて活発な討論を行った。2日目は県内の製造業1社を訪問した後、金沢市のひがし茶屋街を訪れ、石川県の伝統工芸の一つである金箔について学び、お箸に金箔を貼る体験をした。参加した留学生からは、「今回の見学を通じて、中小企業でも自分の能力をより一層鍛えることができるかもしれないと実感した。」「技術力だけでなく、従業員の働きやすさを重視した素晴らしい労働環境にも感銘を受けました。」「ワークショップで異なる専門分野からの意見や考え方を知り、社会や企業で必要なスキルを理解しました。」といった声が聞かれた。</p>
課題	<p>北陸新幹線の効果が継続する北陸地域で、企業の求人充足率は低下傾向で深刻な人手不足が続いており、事業強化を目指して外国人労働者を求める動きが拡大している。北陸の外国人就業者数は増えているが、従業上の地位は総じて低く、大学・大学院卒の高度職業人材の採用は停滞している。その原因・課題は、留学生の複雑なビジネスシーンに対する処理能力や職場での円滑な人間関係に必要な日本語能力の不足、企業の文化・習慣の相違などが挙げられる。また、留学生に対して北陸・信州の地域企業の魅力が十分に伝わっていないことに加えて、地域の外国人受入体制が大都市圏ほど整っていないことも定着を妨げる一因となっており、留学生就職促進に係る地域的課題でもある。</p>
URL	<p>https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/</p>

事例名	外国人向けの相談窓口「仙台多文化共生センター」
地域	宮城県仙台市
実施主体	仙台市
協力・連携体制	公益財団法人 仙台観光国際協会国際化事業部 (SenTIA)
取り組み内容	<p>仙台市は、令和元年 6 月に公益財団法人仙台観光国際協会が運営する外国人向けの相談窓口「仙台多文化共生センター」を開設。外国人住民に対する生活情報の提供をしており、外国人住民の方が利用できる窓口では、常勤の相談員が英語または中国語での生活相談が可能。さらに、仙台市内の公共機関窓口などで相談をする際には、三者間通話による通訳サポート電話、出入国在留管理局や労働局、弁護士会、税理士会、行政書士会と連携し専門的な相談のサポートもしている。そのほか、外国人住民の暮らしに役立つ資料を多言語で揃えており、日本語学習テキストなど、図書資料の貸し出しも行っている。市民による多文化共生の地域づくりや国際活動を支援するため、市民活動スペースを提供している。</p> <p>仙台多文化共生センターは、仙台市からの委託を受け、SenTIA が運営している。センターを市内の外国人住民等に知ってもらうため、ポスター、チラシ、SNS 等による周知を図っている。ポスターやチラシは公的機関相談窓口担当者向け・外国人住民等向けの 2 種類を用意し、市内の関係機関に掲示・配布を依頼している。</p> <p>また、センターだけでは対応できない相談を受けた場合は、関係機関 や団体の協力を得ながら、問題解決に当たっている。例えば、外国人住民から医療関係の相談があった場合、(公財) 宮城県国際化協会に医療通訳を依頼し協力を得たうえで、相談対応している。</p>
効果・実績	<p>令和 2 年度にセンターに寄せられた外国人住民からの生活等に関する相談件数は 2,147 件であった (下図)。</p> <p>近年、相談内容は複雑化・多様化しており、行政、生活、教育・子育て、身の上相談と外国人住民の暮らしに関するものが上位を占めるが、それら以外についても多岐にわたっている。</p>

	<p style="text-align: center;">相談内容の内訳</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>行政</td><td>628</td></tr> <tr><td>生活</td><td>404</td></tr> <tr><td>教育・子育て</td><td>145</td></tr> <tr><td>身の上相談</td><td>140</td></tr> <tr><td>国際活動</td><td>131</td></tr> <tr><td>医療</td><td>130</td></tr> <tr><td>日本語教育</td><td>120</td></tr> <tr><td>出入国</td><td>105</td></tr> <tr><td>法律</td><td>88</td></tr> <tr><td>労働</td><td>75</td></tr> <tr><td>住居</td><td>56</td></tr> <tr><td>観光</td><td>46</td></tr> <tr><td>その他</td><td>44</td></tr> <tr><td>地域づくり</td><td>14</td></tr> <tr><td>余暇</td><td>21</td></tr> </tbody> </table>	相談内容	件数	行政	628	生活	404	教育・子育て	145	身の上相談	140	国際活動	131	医療	130	日本語教育	120	出入国	105	法律	88	労働	75	住居	56	観光	46	その他	44	地域づくり	14	余暇	21
相談内容	件数																																
行政	628																																
生活	404																																
教育・子育て	145																																
身の上相談	140																																
国際活動	131																																
医療	130																																
日本語教育	120																																
出入国	105																																
法律	88																																
労働	75																																
住居	56																																
観光	46																																
その他	44																																
地域づくり	14																																
余暇	21																																
課題	<p>利用者は、日本語学校、専門学校、大学に通う留学生や来日間もない家族等が多く、また、転居や結婚、出産などの節目に困りごとが増え、相談に訪れるケースが多くなっている。</p>																																
URL	<p>https://int.sentia-sendai.jp/j/exchange/ https://int.sentia-sendai.jp/j/index.php</p>																																

⑱

事例名	夜間学習支援教室「Minami こども教室」
地域	大阪市中央区
実施主体	大阪市中央区
協力・連携体制	—
取り組み内容	<p>留学生が日本で就職後、母国にいる家族を日本に呼び寄せた場合、家族への生活支援も必要となってくる。Minami こども教室がある大阪市中央区は人口に占める外国人登録者数が高い地域である。区総人口の8.46%(2020年12月)の外国人住民に加え、日本国籍を持つ外国ルーツの子どもたちが多数生活している。心齋橋にほど近い大阪市立南小学校には外国にルーツを持つ児童が多く、新入学生や転入生の中には全く日本語を話せない子どもも少なくない。また、外国にルーツを持つ子どもたちは、日本語以外にも生活に様々な課題を抱えていることが多い。そんな外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援の場であり居場所であるMinami こども教室は2013年より活動を始めた。</p> <p>Minami こども教室実行委員会が夜間学習支援教室「Minami こども教室」を開設し、外国人家庭の子どもを対象に学校の宿題支援や独自の日本語学習に取り組んでいる。</p>

	<p>大阪府中央区は繁華街に近いので、夜間の仕事で生計を立てる家庭やひとり親家庭が多く、夕方以降に子どもだけで過ごす外国人家庭も多いという背景から設置が決定された。</p> <p>学習支援のほかにも、保護者への生活相談会を実施し、行政手続支援や食料配布、医療機関への同行支援、在留資格更新の相談など、活動の幅を子どもだけでなくその家庭にまで拡大している。</p>
効果・実績	<p>2013年8月：第1回 Minami こども教室開催。最初の参加者は小学生10名程度。以後、学習支援の対象を中学生、高校生に拡げ毎週火曜日の活動を継続。</p> <p>2020年5月：コロナ禍でこれまで以上に生活が厳しくなった家庭への相談会の開催や食料支援を開始。</p> <p>2021年：休眠預金活用の資金配分団体による新型コロナウイルス対応緊急支援の助成事業に採択され、新プロジェクト『Minami ダイバーシティアクション』を始動。</p>
課題	<p>令和3年度8月現在、Minami こども教室には約80人の子供が参加登録されており、その国籍やルーツはフィリピン、中国、タイ、ブラジル、ルーマニア、韓国、インドの7か国に上る。新型コロナウイルス感染症の拡大以降、生活困窮が地域の大きな課題となっており、令和2年度は生活相談業務の比重が増え、Minami こども教室に参加する子供の保護者やその知り合いからの相談を中心として、生活相談件数は400件を超えた。生活困窮家庭への支援として、生活相談会での行政手続支援に加え、食料配布、医療機関への同行支援、在留資格更新の相談を行うなど、活動の幅を子供だけでなくその家庭にまで拡大している。</p> <p>一人で夜を過ごす子どもは寂しさのあまり、外を出歩いてしまうことがある。危険と隣り合わせだが、私たちこども教室だけでは防げない。子どもが安心して過ごせる居場所のネットワークを地域で強化していくために、気軽に行ける先をいろんな所につくり、子どもとつながっていることが大事だ。</p>
URL	<p>https://minami-kodomo.org/</p> <p>https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/feature/CO072076/20240708-OYTAT50007/</p>

⑳

事例名	外国人向け介護職員初任者研修及び就業支援事業
地域	横浜市
実施主体	(公社)横浜市福祉事業経営者会
協力・連携体制	—
取り組み内容	<p>横浜市福祉事業経営者会は、長期にわたる介護分野における労働力不足への対応として外国人労働力に期待する一方で、言語の壁に起因する介護技術の理解不足が生じる懸念があったことから、平成21年度から外国人労働者を対象とした介護の実務研修会等を開催することとした。また、この取組に併せて、雇用者側の理解醸成を図るために、外国人の雇用に関する介護・福祉事業者向けセミナーを実施した。</p>

	<p>福祉事業経営者会では、平成 21 年度から県内の外国人住民を対象として、介護の基礎知識・スキルを証明するための入門資格である「介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2 級養成研修）」のカリキュラムを提供している。外国人を対象とした介護職員初任者研修には、外国人住民向けと定時制高校に通う外国人高校生等向けの計 2 クラスがあり、必修科目以外に就労支援を含む独自のカリキュラムを用意している。</p> <p>外国人労働者向けの研修事業としては、外国籍県民等対象介護職員初任者研修、定時制在学外国人等高校生向け介護職員初任者研修等がある。なお、研修等のカリキュラムに日本語教育は含まれないことから、介護施設等への就労に必要な日本語が学べる日本語講座が別途設けられている。</p> <p>研修等の修了者に対しては、就職相談会や県内の介護施設等への紹介を行うマッチング会を実施しているほか、就職後も福祉事業経営者会の職員が就職先を訪問して修了者の様子を確認し、必要に応じて相談に対応したり助言をしたりすることで、職場への定着を促している。なお、研修等は福祉事業経営者会が県及び県内市町村からの委託を受けて、受講料無料で実施している。日本語講座も受講料は無料である。</p> <p>また、介護・福祉事業者向けの外国人の雇用に関するセミナーでは、外国人就労の実態、外国人雇用の基礎知識、職場での接し方等雇用者側が理解しておくべき点を講師から重点的に説明している。</p> <p>研修等は、介護分野で働く意欲のある外国人住民であれば、日本語能力を問わず広く受講対象としている。日本語講座は、日本語講師と介護施設の職員の協力の下、福祉事業経営者会が独自に作成したテキストを使用して、介護現場で役立つ日本語を中心とする実践的な日本語教育を行っている。</p> <p>また、就労支援にとどまらず、就職後もサポートすることで定着支援も行っている。福祉事業経営者会では研修等の修了を控えた受講者と個別に面談を行い、受講者の性格や希望等を把握した上で就職先の紹介を行っており、受講者の個性を考慮したきめ細かいサポートとなっている。</p>
効果・実績	事業を開始した平成 21 年度から令和 2 年度までの 12 年間で、57 か国・約 700 人の修了者が介護施設等に就職した。
課題・今後の展望	介護分野の人材不足は現在も解消されておらず、日本人のみで働き手を確保することがますます困難になっているため、福祉事業経営者会では留学生や技能実習生、特定技能外国人等に対象を拡大し、積極的に介護人材の獲得を図っていくこととしている。
URL	http://www.y-hukushijigyo.or.jp/html/kensyu.php

②1

事例名	宮崎ーバングラデシュ・スタイル
地域	宮崎市
実施主体	宮崎市
協力・連携体制	JICA、地元 IT 企業、宮崎大学

<p>取り組み内容</p>	<p>宮崎市では、地域で不足しているデジタル人材を確保するために、高度な ICT（情報通信技術）人材を確保するため、JICA、地元 IT 企業、宮崎大学と連携して、バングラデシュ ICT 技術者と市内企業とのマッチングプロジェクト「宮崎－バングラデシュ・スタイル」（以前「宮崎－バングラデシュ・モデル」と呼称）に取り組んでいる。</p> <p>自国で魅力ある働き口が足りないバングラデシュの高度デジタル人材を日本語学習させ、本市企業に就労させる。</p> <p>現地で JICA、宮崎大学が主体として 5 ヶ月間基礎的な日本語・IT スキル・ビジネスマナーを教え（外国人 ICT 技術者人材育成プログラム（B-JET））、来日した後に、大学での日本語教育及び市内企業へのインターンシップを 3 ヶ月間実施する（宮崎－バングラデシュ ICT 人材育成事業（B-MEET））。</p> <p>来日後の教育費用は、彼らの採用を希望する地元 IT 企業が支援し、実際に採用された際は、市が人材紹介手数料の一部を補助する仕組み。（JICA 事業としては 2020 年に終了し、現在は宮崎大学と現地のノースサウス大学が連携協定を締結し、事業を承継している。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人 ICT 技術者人材育成プログラム（B-JET） <p>日本での就職を希望する若いバングラデシュ ICT 技術者（以下「バ国技術者」）に対し、バングラデシュ国内で宮崎大学と現地大学が連携して 5 か月間の日本語教育等の履修証明プログラム（B-JET Basic Course）を実施し、来日後さらに宮崎大学で 3 か月間の日本語教育等の履修証明プログラム（B-JET Advanced Course）を実施。宮崎での 3 か月間は、並行して宮崎の企業へのインターンシップも実施し、プログラム終了後に宮崎の企業へ就職するスキーム。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎－バングラデシュ ICT 人材育成事業（B-MEET） <p>JICA の草の根事業として本市が提案し、宮崎大学が 2022 年 4 月から事業を実施している。本事業は、バングラデシュ側に日本企業の窓口・受け皿となる人材を育成すると共にバングラデシュと宮崎、双方の経済交流体制の整備を行い、宮崎の企業のバングラデシュ進出や新規事業創出の支援などを目的としている。（バングラデシュの ICT 企業等に対し日本語・日本文化・ビジネスマナー等の研修や宮崎の企業が求めるスキル・制度などを理解するセミナーや、宮崎の ICT 企業に対しバングラデシュの ICT 企業を理解するセミナーなどを実施予定。）</p>
<p>効果・実績</p>	<p>この仕組みによって、これまでに 53 人の 高度デジタル人材が市内企業に就労した。（令和 5 年 7 月現在）</p> <p>本事業を行う中で、バングラデシュの文化や慣習、宗教などの異文化理解に対する市職員の関心が向上するとともに、交流イベントに自主的に参加するようになっており、市とバングラデシュの交流の深まりに寄与している。また、他の自治体や企業から事業に対しての問合せや視察を受ける機会が増えており、自団体以外への波及効果も出始めている。</p>

課題・今後の展望	<p>バングラデシュには日本企業と仕事をしたい会社がたくさんある。一方、宮崎で就職したバングラデシュ人の多くは、いずれ帰国して起業したいと考えている。彼らは双方の企業の橋渡しができる存在である。お互いの交流を豊かにするべく、中長期的にヒト・モノ・カネが循環する動きをつくっていく。</p>
URL	<p>https://dx-navi.soumu.go.jp/case/pdfcase006 https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/business/location/selling_point/1516.html https://jicamagazine.jica.go.jp/article/?id=202302_6f</p>

②

事例名	理工系外国人留学生紹介の『リュウカツ®』
地域	東京都
実施主体	株式会社オリジネーター
協力・連携体制	MEXT Scholars Association
取り組み内容	<p>理工系外国人留学生の人材紹介を強みとする株式会社オリジネーターが運営する「リュウカツ®」は、文部科学省国費留学生協会／MEXT Scholars Association（以下 MSA）が 2020 年 6 月に開始した国費留学生向け就職支援サービス「レジュメバンク」のパートナー企業となり、国費留学生の就職支援を強化。現在、高学歴で理工系の高い専門性をもつ学生などの選考を活発に行っている。</p> <p>文部科学省の国費外国人留学生制度は 1954 年に創設され、毎年 1 万人近い留学生がこの制度を利用し学んでいる。国際協力への貢献が期待される優秀な人材だが、日本での就職は、採用情報の不足や日本式の就活に不慣れなことから苦勞する人も少なくない。「リュウカツ®」は、2006 年の事業開始以来、理工系留学生の就職支援を強みとしており、IT などの高い専門性をもつ留学生を多数マッチングしてきた実績がある。</p> <p>「レジュメバンク」は、データベースに登録すると、MSA のパートナーである就職エージェントに共有され、各エージェントがもつ求人案件とマッチングされる仕組みとなっている。今回「リュウカツ®」が「レジュメバンク」と連携することで、コロナ禍での就活に苦勞する国費留学生と、優秀な理工系人材を求める企業とのマッチングを、より強力に推進していく。</p>
効果・実績	<p>21 卒、22 卒は、コロナ禍における就活となり、外国人留学生だけでなく、日本人の新卒者にとっても困難なものとなっていたが、メーカーや IT 企業、専門商社などの理工系人材については、コロナ禍においても企業の採用意欲は高く、「リュウカツ®」への引き合いもほぼ昨年度並みの状況となっている。2020 年 7 月には、「レジュメバンク」スタート前から弊社が選考に関わったインド出身の国費留学生が大手 IT 企業への内定を獲得している。</p>
課題・今後の展望	<p>国費留学生は、日本においても英語で単位を取得し卒業するケースが多いため、日本語力の問題で就職に苦勞するケースもあるようだが、「リュウカツ®」のクライアントの中には、日本語力にかかわらず英語力と高い専門性があればぜひ採用したい</p>

	という企業も少なくない。今後も「リュウカツ®」の強みを生かし、優秀な国費留学生が日本にとどまり、将来的に日本との懸け橋になってもらえるよう、就職支援を進めていく。
URL	https://www.ryugakusei.com/ https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000045936.html

②③

事例名	アジア等 IT 人材定着支援協議会
地域	東京都
実施主体	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
協力・連携体制	
取り組み内容	<p>一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」）は、日本の IT 人材不足を解消することを目的に、優秀な海外の IT 人材が活躍できる場を提供し、日本への定着を促進するため、アジア等 IT 人材定着支援協議会を 2015 年 11 月 17 日に設立した。協議会は、2015 年 6 月 30 日閣議決定された『日本再興戦略』改訂版 2015 の「IT 分野における外国人材の活躍促進」とする施策の一環として、政府の目標である“2020 年には、情報通信業に従事する外国人 IT 人材を 3 万人（現状）から 6 万人へ倍増すること”の実現に向け活動。</p> <p>優秀な海外 IT 人材確保のため、政府の支援により相手国の IT 大学との協議を実施。また、日本企業への就職支援の一環として、日本語によるコミュニケーション能力を高めるため、日本語学校と連携し、留学支援を実施。さらに、日本での生活環境においては、キャリアバイト（インターンシップ）を実施、就職支援のためのマッチング DB を構築し、マッチングイベントも実施。</p>
効果・実績（予定）	<p>・初年度（2015 年 3 月まで）</p> <p>国内ニーズ調査を開始、国内企業の IT 人材の不足状況の把握と外国人採用のニーズ調査、さらには日本語教育必要性和留学期間におけるプログラミング等のキャリアバイト（インターンシップ）の提供などについて調査をスタートさせる。また、現在日本にいる留学生の IT 企業への採用について、日本語学校と協力して就職支援をサポートしていく。さらに課題を抽出し、今後解決すべき事項を政府に提言して行く予定。</p> <p>・2016 年度以降</p> <p>留学・就職支援事業を本格的に開始するため、定着支援センターを設置し、インド、ベトナムをはじめとして海外 IT 大学との連携を始め、日本に興味のある学生の調査を開始。順次対象国をインドネシア、ミャンマーなどと増やしていく。また、海外 IT 人材と国内企業の直接的コミュニケーションを可能にするマッチングデータベースを構築するとともに、IT 専門日本語教材も必要に応じて制作をしていく。</p>
課題・今後の展望	政府の目標「2020 年には、情報通信業に従事する外国人 IT 人材を 3 万人（現状）か

	ら6万人へ倍増すること」の実現に向け、活動を行っていた。 現在の活動については不明。
URL	https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000017.000013310.html https://news.mynavi.jp/article/20151125-a055/ https://www.saj.or.jp/

②4

事例名	事業者団体と県の共同による外国人介護人材のマッチングから定着等の一貫支援の実施
地域	滋賀県
実施主体	滋賀県国際介護・福祉人材センター
協力・連携体制	滋賀県
取り組み内容	<p>高齢化と同時に生産年齢人口が減少していくことを踏まえ、人材確保対策の一つとして外国人介護人材の受入施策を検討するため、関係団体等からなる「滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会」の部会として、令和元年度に「外国人介護人材参入促進検討部会」を設置。「どこの監理団体が良いのか分からない」「費用面が課題」等の事業者の声を受け、様々な検討の結果、県内事業者団体・職能団体等の合意のもと、事業者団体と県の共同事業として、令和2年4月に「滋賀県国際介護・福祉人材センター」を創設。事業者団体が技能実習制度の監理団体を創設し、特定技能・留学を通じたマッチング支援については、県事業として同団体に委託することで、3つの在留資格を通じた外国人介護人材の受入れを総合的に支援する。令和4年度からは、介護技術・日本語能力の向上に係る研修や外国人介護職員同士の交流事業など、センターに育成・定着支援機能を付加することで、外国人介護人材の円滑かつ適正な受入れから育成・定着までの一貫した支援体制の構築を目指す。</p>
効果・実績	令和5年6月時点で、センターを通じて47名（技能実習生含む）の外国人介護人材が県内事業所で就労中。 令和4年度の研修事業実績については、

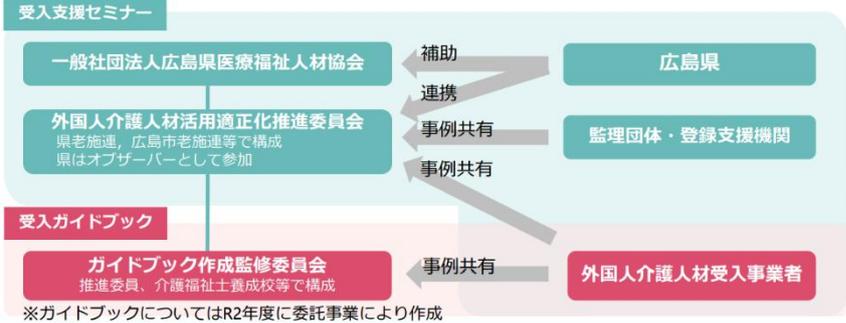
	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れ施設指導者研修：『受入対応研修』参加者 18 名、『指導担当者研修』参加者 26 名 ・外国人介護職員フォローアップ研修：『日本における介護とは』参加者 69 名、『認知症の理解、介護技術』参加者 72 名、『介護の日本語』参加者 54 名等
課題・今後の展望	
URL	https://global-kaigo.or.jp/wp-content/uploads/document_yoshida_20240316.pdf

②⑤

事例名	外国人介護人材受入事業所への巡回相談や研修交流会の実施等のメンタルヘルスケア
地域	静岡県
実施主体	静岡県
協力・連携体制	—
取り組み内容	<p>県内では介護職員の慢性的な不足の解消が喫緊の課題であり、外国人介護人材の受入れ支援に取り組んできた結果、県内で働く外国人介護職員数は年々増加している。しかし、外国人介護職員に対するアンケート等から、職場で働く上で、様々な課題があることを把握した。（異国で働く不安、孤立感、言語・文化の違い等について問題を感じているがなかなか相談しにくい状況。）本県で安心して長く働き続けられるため、本人が抱える不安・悩みに対するサポート環境整備が必要と判断し、外国人介護人材の定着支援のため、外国人介護人材サポートセンター事業として、地域医療介護総合確保基金を活用し、外国人介護人材を受け入れる事業所への巡回相談や研修交流会を開催し、生活相談等のメンタルヘルスケア等に取り組んでいる。</p> <p><巡回相談></p> <ul style="list-style-type: none"> ①相談員が介護事業所を訪問 ②外国人職員本人から仕事及び生活上の不安や悩みの聞き取り ③②を受けて必要なアドバイスを行う <p><研修交流会></p> <p>同じ国籍の職員を集め、仲間づくりができる研修交流会を開催</p> <p>テーマ例：日本の介護に関する現状・文化及び生活習慣等への理解を深める・介護の資格をとるには</p>
効果・実績	<p>巡回相談：75 人（53 事業所）実施（令和 4 年度）</p> <p>研修交流会：16 回開催・延べ 132 人が参加（令和 4 年度）</p> <p>※フィリピン・ベトナム・インドネシア中国・ミャンマーを対象国として実施。</p> <p><研修交流会参加者アンケートの主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと日本語や介護の勉強を頑張りたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護についていろんなわからないことがわかった。 ・新しい友達ともお話できて楽しかった。 ・同じ国の友達と色々話せて楽しかった。 ・頑張って介護の資格を取りたい。 ・先生の話聞いて、未来のことを考えた。
課題・今後の展望	
URL	https://global-kaigo.or.jp/wp-content/uploads/document_yoshida_20240316.pdf

②6

事例名	受入支援セミナーや受入に役立つガイドブック作成等の事業所等への受入支援
地域	広島県
実施主体	広島県
協力・連携体制	—
取り組み内容	<p>広島県では、外国人介護人材の定着支援のため、関係団体により構成される外国人介護人材活用適正化推進委員会を設置し、外国人介護人材の受入事業者を対象としたセミナーの開催や、事例等をまとめた受入に役立つガイドブックを作成している。</p> <p><受入支援セミナー> 外国人介護人材の受入を検討している事業者等を対象に、制度理解促進や事例共有等を目的としたセミナーを開催</p> <p><受入ガイドブック> 県内の受入れ事例（31事業所）や、仕事面・生活面・言語面での支援など 外国人介護人材受入れのためのノウハウをまとめたガイドブックを作成</p> 
効果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・受入支援セミナー：令和4年度は3回実施 ・受入ガイドブック：令和3年3月発行、令和4年3月・令和5年3月改訂（受入事例追加）
課題・今後の展望	
URL	https://global-kaigo.or.jp/wp-content/uploads/document_yoshida_20240316.pdf https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/54/gaikokukaigo.html

②7

事例名	自動車整備事業者が外国人材を採用するための支援サービスを開始
地域	大阪府
実施主体	ビズピット株式会社
協力・連携体制	—
取り組み内容	<p>車載アフターサービスプラットフォームの実現を目指すビズピット株式会社は、自動車整備事業者が外国人材を採用するための支援サービスを開始した。</p> <p>技能実習制度はコミュニケーションコストがかかり、最長5年までしか雇い入れることができないが、平均年齢が上昇し、担い手が少なくなっている日本の自動車整備業界では有効な人材確保の手段である。自動車整備事業者側が技能実習制度をより有意義なものとして享受するには、将来的な人材不足への対策や、海外での事業展開などを見据えて外国人材との関係構築を行うことが望ましい。ビズピット株式会社でも、海外メンバーとの協業経験やパートナーを含めた海外人脈を活かし、自動車整備事業者が外国人材を採用するためのサポートを行う。</p>
効果・実績	—
課題・今後の展望	—
URL	https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000026.000063448.html

②8

事例名	外国人材向け自動車整備分野の教材
地域	中部地方
実施主体	JICA（中部）
協力・連携体制	—
取り組み内容	<p>外国人材の人数が拡大している中、JICA では、責任ある外国人材受入れの取り組みの一環として、特に来日したばかりで日本語能力が限られている技能実習生向けに教材を作成した。</p> <p>・自動車安全衛生教材</p> <p>本書は、1) 自動車整備の仕事の意義、2) 日本人との働き方・コミュニケーションの取り方の注意点、3) 自動車整備に関する用語集、4) 自動車整備に関する安全衛生などをまとめたもの。日本語のほか、クメール語（カンボジア）、英語、ベトナム語、ミャンマー語、ロシア語版がある。日本語版は、来日して間もない日本語が不自由な外国人材にも読みやすいように、漢字、カタカナにルビを振り、日本語の理解を促進する作りとしており、受入れ事業者等にも、助言・指導のために活用いただくことを想定している。さらに自動車整備技能実習ガイドライン（国土交通省作成）の内容に準拠し、安全衛生の重要性について記載した第4章については、実際の現場において外国人材と日本人の双方が内容についてコミュニケーションができるように日本語と外国語の対訳版を別冊として用意してある。自動車安全衛生教材（普通乗用車）版の補完として、バス・大型トラックの整備作業をする上で必要となる安全衛生に関する情報をまとめた教材も作成。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人材向け自動車整備基礎教材 「自動車整備の日本語」 ・自動車整備資格過去問 <p>外国人材の方々が日本で働くうえで重要になる「自動車整備資格」のひらがなのルビ付き過去問題を掲載。各問題は無料でダウンロード出来る。</p>
効果・実績	—
課題・今後の展望	日本の自動車整備分野で働く外国人材とその関係者に向けた自動車整備技能を学び・教えるための統一された教材は、まだ十分に整備されていない。これは、外国人材がキャリアアップを目指し、自動車整備技能を自主的に学ぶにあたっての課題の一つとなっている。
URL	https://www.jica.go.jp/activities/issues/transport/mechanic/health_safety_text/index.html https://www.jica.go.jp/domestic/chubu/information/topics/2024/1537174_52346.html

②9

事例名	外国人自動車整備要員紹介事業で、初めての契約を締結
地域	愛知県
実施主体	株式会社ナルネットコミュニケーションズ
協力・連携体制	株式会社ジャステック
取り組み内容	<p>自動車メンテナンス受託管理のリーディング・プレイヤーである株式会社ナルネットコミュニケーションズは、自動車整備業界における外国人材紹介サービスを展開している。その初の例となる契約が2021年9月に締結された。</p> <p>自動車整備工場では整備要員の不足および高齢化という問題が顕著になっている。2019年～2023年に延べ約13,000人の人材不足が見込まれ、法務省によれば、このうち約7,000人を外国人で対処する計画である。ナルネットコミュニケーションズは外国人材サービスを得意分野とする企業3社と業務提携し、人材不足に悩む自動車整備業界に外国人を主とした人材サービスを提供している。</p>
効果・実績	<p>第一人材は、ナルネットコミュニケーションズが業務提携する外国人材サービス「株式会社ジャステック」からの紹介で、兵庫県神戸市の「土居自動車工業株式会社」に2021年6月から在籍している日系ブラジル人、エノモト・ラファエル・ユスケさん（19歳）。「2017年に来日し、コンビニエンスストアなどでアルバイトをしていました。自分の日本語能力に自信はありませんでしたが、もともとクルマに興味を持っていて、ぜひクルマにかかわる仕事に就きたいと思っていましたから、応募に迷いはありませんでした」と、エノモトさんは意欲を見せている。採用を担当した土居自動車工業の今井勝雄会長は次のように述べている。「ベトナム人の技能実習生を2人受け入れたが、今年度いっぱい3年間の実習期間が終了し、彼らはベトナムに帰国してしまう。両者とも非常に真面目に働いてくれていることもあり、いなくなると業務に支障が出る可能性がありますし、日本人の採用は簡単では</p>

	ないことから、戦力を補充する目的でエノモトくんを採用しました」 エノモト・ラファエル・ユスケさんは現在「3級自動車整備士」の資格取得を目指して業務に励んでいる。
課題・今後の展望	ナルネットコミュニケーションズは、外国人整備要員の働きやすさ、及び受け入れ側の態勢作りに注力し、自動車整備業界を支援していく。
URL	https://nal-mt.co.jp/%E5%A4%96%E5%9B%BD%E4%BA%BA%E8%87%AA%E5%8B%95%E8%BB%8A%E6%95%B4%E5%82%99%E8%A6%81%E5%93%A1%E7%B4%B9%E4%BB%8B%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E3%81%A7%E3%80%81%E5%88%9D%E3%82%81%E3%81%A6%E3%81%AE%E5%A5%91%E7%B4%84/

③0

事例名	外国人介護人材雇用支援事業
地域	川崎市
実施主体	川崎市
協力・連携体制	—
取り組み内容	川崎市では、介護人材不足の解消を目的として「外国人介護人材雇用支援事業」を2019年から進めている。 当該事業の中で、令和5年度にベトナムの大学と覚書を締結し、当該大学の看護学生をインターンシップとして受け入れを実施している。インターンシップ生は、卒業後は、特定技能制度で再入国する予定である。
効果・実績	・第1期インターンシップ 2024年6月27日、14名の国立タイグエン医療短期大学の看護学生が4か月のインターンシップを修了した。6法人、10事業所で実地研修を行った。 ・第2期インターンシップ 2025年2月17日(月)～6月30日(月)に国立タイグエン医療短期大学3年制看護学生3年生6名～8名がインターンシップ実施予定。
課題・今後の展望	インターンシップ生は、終了後、一度帰国するが、市内介護施設の仕事を体験してもらい、将来の就職先として意識してもらおう取り組みである。
URL	https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000168782.html https://www.city.kawasaki.jp/350/cmsfiles/contents/0000168/168736/2-1_(keikakusuisinn)kaigojinnzaikakuho.pdf https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC2932X0Z20C24A2000000/

5. 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校パンフレット
(英語版)

Take the first step towards your dreams at KBCC!!



▶ About KBCC

Kagoshima College of Computer Business and Public Service (KBCC), established in 1987 with the approval of the Governor of Kagoshima prefecture, is a vocational school with a long history and proven track record in business education. Located in Kagoshima City in southern Kyushu, the climate is mild and comfortable. Situated in the most bustling area of Kagoshima Prefecture, it offers convenient access to transportation, shopping, dining, part-time jobs, and leisure activities.

▶ International Business: Highlights

The "International Business Department," established in 2019, is a specialized course for international students who aim to work in Japan. In two years, students will gain knowledge and skills in their specialized field, as well as Japanese language and communication skills. Upon graduation, students will receive the "Diploma" qualification and aim to find employment in companies.

▶ Japanese Language: Highlights

Students develop Japanese proficiency through balanced training in listening, speaking, reading, and writing. They also receive career guidance to enter their desired graduate school, university, or vocational school.



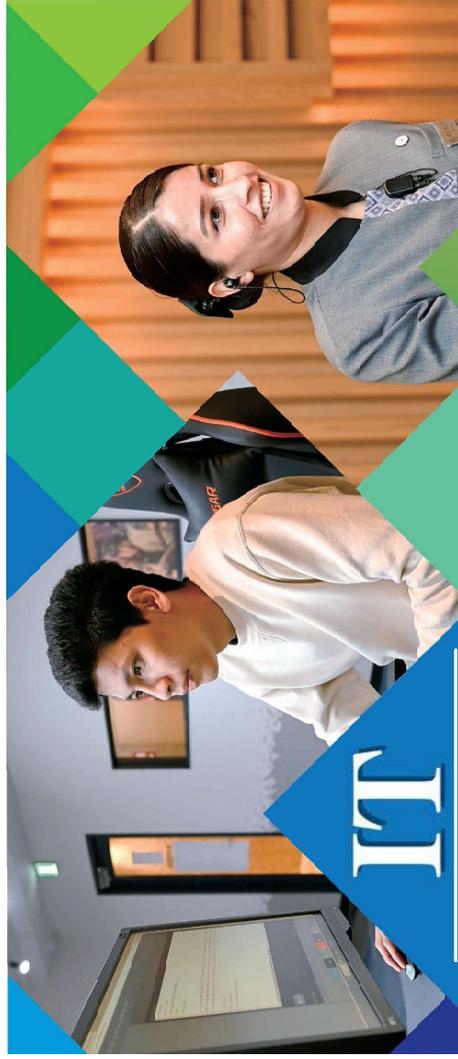
Principal's Greeting

Slowly, steadily, surely.

Many international students study at KBCC. Student life at KBCC is fulfilling, with classrooms filled with smiling students, energetic school events, and career counseling sessions with teachers who have a serious look in their eyes. All of our faculty and staff are looking forward to your enrollment.

Yoshitaka Nakahiro, Principal of Kagoshima College of Computer Business and Public Service





IT
International IT (Professional Course)

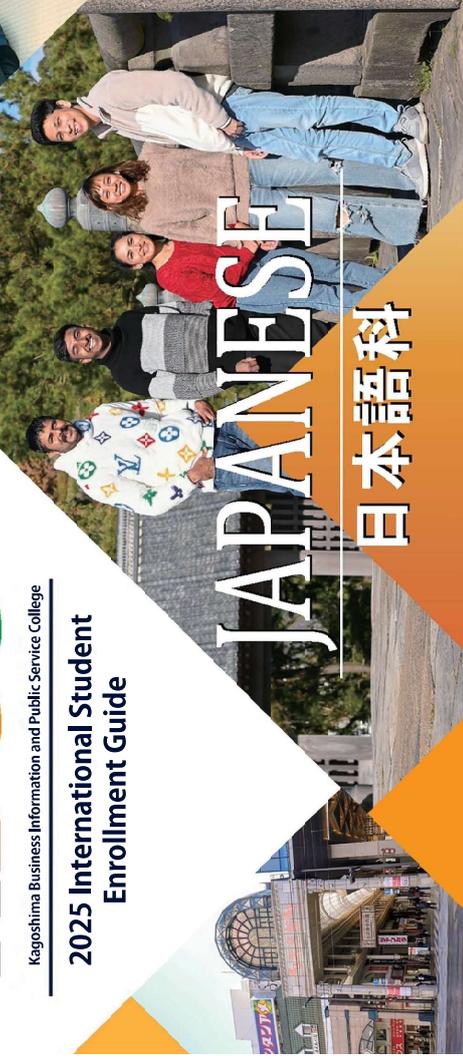


HOTEL
International Business Department (Professional Course)
International Hotel & Tourism



KBCC
Kagoshima Business Information and Public Service College

2025 International Student Enrollment Guide



JAPANESE
日本語科

Successful Graduates

KBCC graduates are active in various business settings. They contribute to society by utilizing the knowledge and skills they acquired in their specialized courses.



OO LIN THANT
(from Myanmar)

Jioworks Co., Ltd. (Tokyo)
Graduated from the International Business Department,
International Hotel & Tourism Course



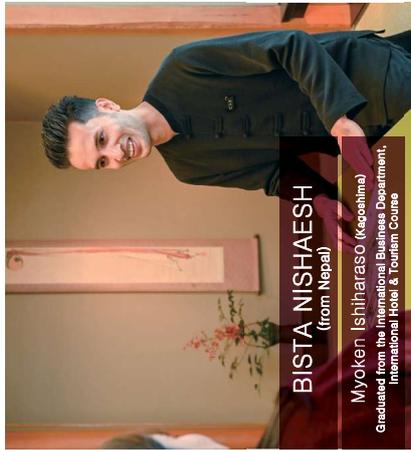
GIRI SUNITA
(from Nepal)

SHERATON® KAGOSHIMA (Kagoshima)
Graduated from the International Business Department,
International Hotel & Tourism Course



NGUYEN THI NGOC
(from Vietnam)

Nextage Co., Ltd. (Kagoshima)
Graduated from the International Business Department,
International Hotel & Tourism Course



BISTA NISHAESH
(from Nepal)

Myoken Ishiharaso (Kagoshima)
Graduated from the International Business Department,
International Hotel & Tourism Course

International Business Department
Graduate Employment Record

Employment Rate:

100%



TRINH THAI HOANG
(from Vietnam)

Forever Co., Ltd. (Kagoshima)



ZHURT BAKY KYZY MEERIM
(from Kyrgyzstan)

Pasirra HR Hub Inc. (Tokyo)



GURUNG RUPA
(from Nepal)

Kishima Hotel (Kagoshima)



GHARITI KRISHNA KUMARI
(from Nepal)

vejeecoop.CO.,Ltd (Fukuoka)



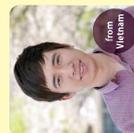
THAPA ANITA
(from Nepal)

Nextage Co., Ltd. (Kagoshima)



BUDHA MAGAR GOPAL YUMOTOAN KYOHIME
(from Nepal)

(Kagoshima)



HOANG VAN VIET
(from Vietnam)

Niko Shokubo (Kagoshima)



NGUYEN VAN VU
(from Vietnam)

Southern Kurashu Family Mar. (Kagoshima)

International Business Department (2-year program) International IT Course



Aim to get a job in IT!

We train students to become programmers, systems engineers, and computer engineers who can thrive in the global society and play an active role in IT companies. Students will acquire ICT skills and knowledge ranging from programming to information business.

2-Year Schedule (Ex.)

1st year	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:30~11:00	1 Python I	2 Practical Japanese	business manners	PC Practice	IT Passport I
11:10~12:40	3 Python I	4 Practical Japanese	Comprehensive Japanese	PC Practice	IT Passport I
12:45~13:30	5 Business Japanese	Business Japanese I	Company Research	Comprehensive Japanese	Comprehensive Japanese
2nd year	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:30~11:00	1 Java	2 Practical Japanese	business manners II	Python II	IT Passport II
11:10~12:40	3 Java	4 Practical Japanese	Presentation Practice	Python II	IT Passport II
12:45~13:30	5 Business Japanese II	Business Japanese II	Job preparation Introduction to communication	Business Document Practice	Business Document Practice

Qualifications

1 Computer -related

- Information Technology Passport Examination
- Programming Skill Test
- Python Certified Engineer Basic Examination
- Python Certified Data Analyst Examination
- Examination in Technical Ability of Data Processing (Spreadsheet) e.t.c.

2 Language -related

- JLPT (N1, N2)
- TOEIC
- Business Japanese Proficiency Test e.t.c.

3 Business -related

- Practical Ability Test For Foreigners
- The General Common Sense Proficiency Test in Japan e.t.c.

Tuition Fee Reduction

Up to **200,000 yen** discount available

Tuition fee: 750,000 yen → **550,000 yen**

※ Please refer to the separate document for details.

Pick-up Curriculum



IT Courses

Programming (Python, Java, etc.), Web Design, System Construction, IT Literacy, IT Management, Office Software, etc.

Your Own Laptop

A brand-new, high-performance laptop will be lent to each student. You can use the same PC until graduation, with a full internet environment and perfect Wi-Fi connection!

State-of-the-art Facilities like an Office!

---Mac Room---

The newly established large PC space with 40 iMac 24s is designed with a desk layout that simulates a company or office, allowing for efficient and effective classes and presentations. Part of the classroom has a meeting space where you can have flexible meetings and conferences with friends like in a modern office.



Student's Voice

I enrolled in KBCC and was able to find my future goals thanks to meeting friends who can cooperate with each other and teachers who are enthusiastic to teach. Everyone, let's spend a meaningful school life together at KBCC with us.

TRAN DUY QUOC TOAN



Teacher's Voice

The power of all of you foreigners is indispensable for Japanese society in the future. We will cultivate not only the basic knowledge required by society, but also the human power that can cope with all aspects of business.

Mr. Tomitani



IT Companies in Kagoshima

There are more than 130 IT and Web companies, so-called IT companies, in Kagoshima Prefecture. This number is increasing. The business content of each company is also diverse. Many companies are actively involved in internships and company visits, making it easy to find a job in Kagoshima.



International Business Department (2-year program)

International Hotel & Tourism



Aim for a Hotel Career!

This course is designed for students who want to work in the tourism industry, especially hotels. Students will study hotel-specific subjects, languages, and IT basics. In hotel-specific subjects, students will learn practical skills for working in hotels, such as accommodation operation practice and manners/protocols.

2-Year Schedule (Ex.)

1 st year	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:30~11:00	1 Japanese Affairs	Practical Japanese	Introduction to Tourism I	PC Practice	Practical English I
11:10~12:40	3 Service Etiquette Practice I	Practical Japanese	Comprehensive Japanese	PC Practice	Service Etiquette Practice I
12:45~13:30	5 Business Japanese I	Business Japanese I	Company Research	Comprehensive Japanese	Comprehensive Japanese
2 nd year	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:30~11:00	1 Practical PC Skills	Practical Japanese	Introduction to Tourism II	Hotel Practice	Service Etiquette Practice II
11:10~12:40	3 Service Etiquette Practice II	Practical Japanese	Presentation Practice	Hotel Practice	Practical English II
12:45~13:30	5 Business Japanese II	Business Japanese II	Introduction to Communication	Business Document Practice	Business Document Practice

Qualifications

- 1 Manners & Hotel**
 - Certification of Ryokan and Hotel Tourism Business
 - The Test for Technical Ability of Service and Receiving Visitors
 - The General Common Sense Proficiency Test in Japan
 - Practical Japanese Communication Exam
 - Manners and Protocol Proficiency Test etc.
- 2 Language-related**
 - JLPT (N1, N2)
 - TOEIC
 - Business Japanese Proficiency Test etc.
- 3 PC-related**
 - Examination in Japanese Word Processing
 - Examination in Document Design
 - Examination in Typing Speed Proficiency

Tuition Fee Reduction

Up to **200,000 yen** discount available

Tuition fee: **720,000 yen** → **520,000 yen**

※Please refer to the separate document for details.

Pick-up Curriculum



Language Courses

Practical English, Business Japanese



Hotel Courses

Introduction to Tourism, Service Etiquette Practice, Hotel Practice

Student's Voice

I don't like crowded places, so I'm glad I studied abroad at KBCC in quiet Kagoshima City. The teachers always support me so that I don't have any problems in my life, so I can concentrate on studying. Everyone has their own dreams, but let's work hard together at KBCC to make them come true!

NEUPANE LAXMAN



from Nepal

Teacher's Voice

We will support you so that you can become loved and needed as a member of Japanese society. Let's learn business skills and manners at KBCC to make your dreams and goals come true.

Ms. Hokazono



Main Employment Destinations

- Hotel**
 - SHERATON KAGOSHIMA
 - Kirishima Hotel Co., Ltd.
 - SHIROYAMA HOTEL
- Ryokan**
 - YUMOTOAN KYOYUJIME
 - Myoken Ishiharaso
- Business**
 - vegecoop.Co.,Ltd
 - Pasona HR HUB Inc.
 - Southern Kyushu Family Mart
- Translation**
 - Nextage Co., Ltd.
 - Niko Shokuchou

Requirements

- Those who have completed school education for 12 years or equivalent
- Those who are permitted to enter the country by legitimate procedures or are expected to be permitted.

Course	Fee Type	Entrance examination fee	Enrollment fee	Tuition	Other costs	Total
April Enrollment 1-Year Higher Education Course From April to March	Capacity 25 students	¥20,000	¥40,000	¥560,000	¥120,000	¥740,000
	Capacity 80 students (from year after next)	¥20,000	¥40,000	1st Year ¥560,000 2nd Year ¥560,000	¥240,000	¥1,420,000
October Enrollment 1.5-Year Higher Education Course (1st year after next)	Capacity 120 students	¥20,000	¥40,000	1st Year ¥560,000 2nd Year ¥280,000	¥180,000	¥1,080,000

Programs

We provide fun and thorough instruction in practical Japanese that is necessary not only for exam preparation but also for further education and daily life. Each class is taught by multiple teachers, and lessons are tailored to the level of each learner.

- Morning Class**
9:15~12:40
4 hours of classes per day (Monday - Friday)
- Afternoon Class**
13:30~16:50
4 hours of classes per day (Monday - Friday)

Japanese Language Department



3 Highlights

1 High-Quality Japanese Language Education

We provide high-quality Japanese language education with an emphasis on developing communication skills by experienced instructors.

2 Career Support

We provide career path support tailored to the needs of each individual. You can also receive a tuition fee reduction if you go on to a group vocational school.

3 Lifestyle Support

Our dedicated staff will support you with your life in Japan and manners, so you can rest assured. We also have student dormitories, making it easy to enter Japan and start your student life.



Student Dormitory

You don't have to worry about complicated procedures such as guarantors, deposits, and key money. You can have a safe and enjoyable international student life in the student dormitory provided by the school.

2-person room



1-person room



Great Points!

- POINT 01** Easy to move in
- POINT 02** Wi-Fi available
- POINT 03** Within 2km from the school
- POINT 04** All furniture and appliances are provided

Sample

Dormitory Fee (excluding water and electricity)

2-person room: From 18,000 yen
1-person room: From 36,000 yen

Consultation & Support

You can feel free to consult with us anytime about part-time jobs, career paths, and life's worries. We also provide support for visa and residency procedures.



Part-time Job

At KBCC, we also introduce part-time jobs to international students so that they can study while working with peace of mind. There are various part-time jobs such as izakaya (Japanese pubs), restaurants, factories, convenience stores, and fast food restaurants. Please consult with the school for more details.

Surrounding Areas (Tenmonkan)



Qualification Acquisition Support

We will support you in acquiring various qualifications that will be necessary for finding a job, etc. We provide thorough support with curriculum and individual guidance.

- 01** JLPT Acquire from N5 to N1 according to your level.
- 02** Granting of "Diploma" The title of "Diploma" approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- 03** Other Qualifications Acquisition of practical qualifications that can be used for practical work after finding employment.

Event Overview

KBCC has many fun events

- 4** Entrance Ceremony for April Students
• Welcome Excursion
- 5** Ball Game Tournament
- 6** Career Guidance Session
- 7** JLPT
• Traffic Safety Class
- 8** Summer Vacation
- 9** All-school Excursion
- 10** Autumn Break
• Entrance Ceremony for October Students
- 11** Off-Campus Training
• Ohara Festival
- 12** JLPT
• Winter Vacation
- 1** The first calligraphy of the New Year
- 2** End-of-Term Exams
• Field Trip
- 3** Graduation Ceremony
• Farewell Party
• Spring Break



Open Campus

--- Let's Go to KBCC! ---

Trial Lessons

Regular Open Campus events are held at the KBCC campus. You can take "trial lessons" in real classrooms.

7.27 Saturday	8.24 Saturday	9.21 Saturday
10.19 Saturday	11.2 Saturday	12.14 Saturday

Online

We will hold information sessions via live internet broadcast using ZOOM, etc. It's remote, but we will provide detailed and thorough explanations.

Learn all about KBCC's International Business Department at our Open Campus events. We offer school information sessions and trial lessons. Please join our free Open Campus!

Location: Kagoshima Business Information and Public Service College Time: 1:00 PM - 4:00 PM



SCHOOL INSTITUTION OF KYUSHU SOGO GAGUIN
Kagoshima Business Information and Public Service College

〒892-0842 19-32 Higashisengoku-cho, Kagoshima-shi
TEL:099-223-8400 URL:https://www.kbcc.ac.jp/



FACE BOOK



YOUTUBE



KBCC HP

[KGS SCHOOL INSTITUTION OF KYUSHU SOGO GAGUIN] [Group Corporations]

Kyusyu Professional Training College of Medical Technology

KYUSHU AUTOMOBILE TECHNICAL COLLEGE

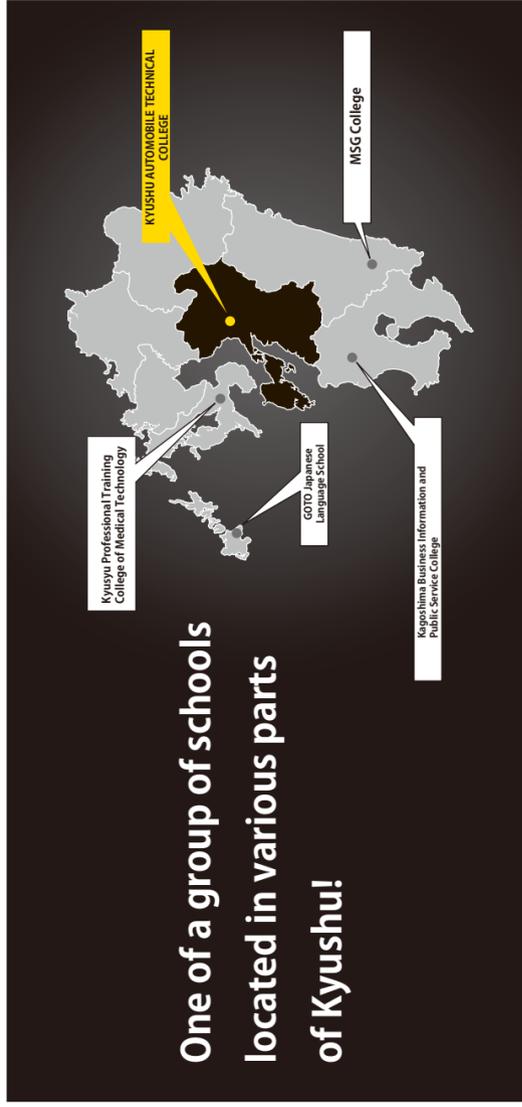
GOTO Japanese Language School

Kirishimashizenfureai Center

MSE Miyazaki Sogo Gakuin [Ohara College League]

6. 九州工科自動車専門学校パンフレット
(英語版)

One of a group of schools located in various parts of Kyushu!



SCHOOL INSTITUTION of KYUSHU SOGO GAGUIN
KYUSHU AUTOMOBILE TECHNICAL COLLEGE

〒860-0816 657 Honjo, Chuo-ku, Kumamoto-shi

[TEL] 096-366-3862

[FAX] 096-364-8910

[E-mail] info@kyukoo.ac.jp

[WEB] <https://www.kyukoo.ac.jp>

<https://www.ksg.ac.jp> [KSGGROUP]

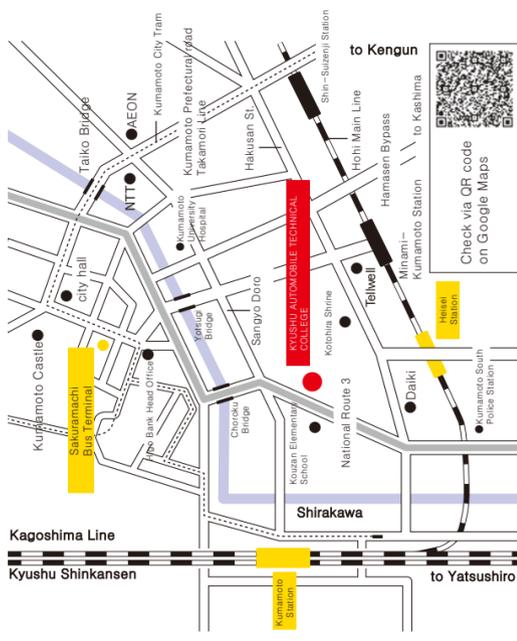
From Sakuramachi Bus Terminal	Take the Sanko Bus or Kumamoto Bus bound for Kawashiri-machi / Matsubase ▶ Get off at the Kouzanko Mae bus stop▶ About a 2-minute walk.
From JR Kumamoto Station	About a 15-minute walk
From JR Heisei Station	About a 10-minute walk



SOUL OF MECHANIC

2025 Admissions Guide
KYUSHU AUTOMOBILE TECHNICAL COLLEGE
 Automotive Maintenance Department, Sports & IT Department,
 International Automotive Department

Eligible for the Free Higher Education Program



Group Schools

 SCHOOL INSTITUTION of KYUSHU SOGO GAGUIN	 Kyushu Professional Training College of Medical Technology 〒862-6333 1-26-32 Hayama, Nagasaki-shi TEL: 0120-366-125	 GOTO Japanese Language School 〒853-0965 1-1E-2 Sakuraw, Goto-shi, Nagasaki TEL: 0953-76-3885
 SCHOOL INSTITUTION of MIYAZAKI SOGO GAGUIN MSG College League	 Miyazaki Information Business College 〒880-0866 2-10-21 Hiroshima, Miyazaki-shi, Miyazaki TEL: 0120-03-1030	 O-HARA Civil Service Campus 〒880-0801 2-1-2 Omatsu, Miyazaki-shi, Miyazaki TEL: 0120-01-4153
 Miyazaki Pet World College 〒880-0801 1-3-5 Omatsu, Miyazaki-shi, Miyazaki TEL: 0120-77-0985	 Miyazaki Child Medical College 〒880-0801 2-1-13 Omatsu, Miyazaki-shi, Miyazaki TEL: 0120-050985	 Miyazaki Southern Beauty College 〒880-0801 2-1-17 Omatsu, Miyazaki-shi, Miyazaki TEL: 0120-66-0985
	 Miyazaki Weifare Medical College 〒887-0013 2-1-50 Kiyama, Nichinan-shi, Miyazaki TEL: 0120-66-1510	 Kobayashi Nursing Medical College 〒886-0009 309 Ekimami, Kobayashi-shi, Miyazaki TEL: 0120-35-1650

Automotive Maintenance Department
Sports & IT Department
International Automotive Department



Aim to Become an Automotive Mechanic While Learning Japanese and Japanese Culture

Three Years of School-Wide Support! No Worries Even Starting From Zero Knowledge!

At the International Automotive Department, students spend three years learning automotive maintenance knowledge and techniques, aiming to obtain the 2nd Class Motor Vehicle Maintenance and Repair Mechanics. There are classes in Japanese language and culture, and you'll have the opportunity to take the JLPT. The school supports your life and career in Japan. Learn with your peers as you pursue your dreams!

Employed at Mitsubishi Fuso Truck & Bus Corporation Kyushu Fuso




ALAM AZMAN
Nationality: Bangladeshi
School: AIWA LANGUAGE INSTITUTE

Employed at Osaka Toyota Motor Corporation




ADHIKARI JEEWAN
Nationality: Nepali
School: Kurume Institute of International Relations

Employed at Kumamoto Hino Motors, Ltd.




SILVA DINAYADURA GIHAN CHANAKA
Nationality: Sri Lankan
School: Japanese Culture Education Academy

Job Offer from Netz Toyota Co., Ltd.




LE QUOC CUONG
Nationality: Vietnamese
School: Kumamoto YMCA Japanese Language School

Job Offer from Isuzu Motors Chugokushikoku Limited.




KHULAL ANJAN
Nationality: Nepali
School: Kyushu Surveying Technical College

Target Certifications

JLPT N1, N2

2nd Class Motor Vehicle Maintenance and Repair Mechanics

2nd Class Gasoline Motor Vehicle Maintenance and Repair Mechanics (Practical Exam Exemption)

2nd Class Diesel Motor Vehicle Maintenance and Repair Mechanics (Practical Exam Exemption)

Hybrid Vehicle Low Voltage Electrical Worker



International Automotive Department

3 - Year Program | 35 Students (Male/Female)

Key Points of the International Automotive Department

POINT 1
The Longest History in Western Japan

In 2016, our three-year International Automotive Department was newly established—the earliest of its kind in Western Japan.

POINT 2
Affordable Tuition

Tuition is more affordable compared to the Tokyo metropolitan area. Payment in installments is also available.

POINT 3
Nationwide Job Placement

Tuition is more affordable compared to the Tokyo metropolitan area. Payment in installments is also available.

International Automotive Department Two Types of Support

At our school, we have established a comprehensive support system not only for academic matters but also for employment and daily life, so that international students can study and live here with peace of mind.

LEARNING SUPPORT

Study automotive maintenance techniques and the Japanese language over three years.

Supportive Homeroom System

We utilize a homeroom teacher system that supports students in every aspect—from academics to daily life.

Professional Instructors

Receive hands-on instruction from expert teachers with extensive experience and knowledge.

Japanese Language Support

In addition to automotive mechanic classes, Japanese language classes are also provided.

Example Weekly Schedule

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00 ~ 11:50	Practical	Practical	Practical	Practical	Practical
	Practical	Practical	Practical	Practical	Practical
	Practical	Diesel	Chassis	Gasoline	Calculation Techniques
			lunch recess		
12:50 ~ 15:40		Maintenance Tools	Electronics		
	Break	Japanese Culture	Materials	Break	Break
			Japanese		

Monday, Thursday, and Friday classes are held in the morning.

LIFE SUPPORT

We assist international students from other prefectures in leading a comfortable life in Kumamoto.



School Life Support

We provide various support services to help you adjust to life in Kumamoto's completely different environment.



Part-Time Job Support

We help match you with part-time jobs at gas stations, convenience stores, restaurants, and more, based on your needs.



Apartment Guarantor Support

Apartment rentals typically require a guarantor. To help international students secure leases, our school offers support through a guarantor program.

Current Students Introduction



ARYAL SANDIP

Nationality: Nepali
School: HLA Japanese Language School



SAYED MD ABU

Nationality: Bangladeshi
School: Tomi Fuji Foreign Language Academy



THAPA MAGAR OM KRISHNA

Nationality: Nepali
School: HLA Japanese Language School



DO VAN MANH

Nationality: Vietnamese
School: Kyushu Japanese Language School



ADHIKARI YUVRAJ

Nationality: Nepali
School: Japan Institute of Culture and Economics



GURUNG MANTOSH

Nationality: Nepali
School: Beppu Mizobe Gakuen College



SANBAPE MEISSA TENDE

Nationality: Senegalese
School: Japanese Language School ODO International College



DHAKAL PRADIP

Nationality: Nepali
School: Hamamatsu Japan Language College



DANDAN JOMAR CALOG

Nationality: Filipino
School: The Kumamoto YMCA



CHAUDHARY AMAR

Nationality: Nepali
School: AICHI KOTONOHA ACADEMY



WANNIRACHCHIBHAGYA SAMPATH

Nationality: Sri Lankan
School: INC JAPANESE LANGUAGE ACADEMY



GHATANI MAHESH

Nationality: Nepali
School: YOKKAICHI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL



KC HARISH CHANDRA

Nationality: Nepali
School: Japanese Language Program for International Students, Nagoya Campus, Tokyo University and Graduate School of Social Welfare



THAPA MAGAR SUBASH

Nationality: Nepali
School: The Kumamoto YMCA



DAO VAN TUAN

Nationality: Vietnamese
School: Lire Junior Japanese Language Institute



CHAND SANTOSH

Nationality: Nepali
School: ARMS Japanese Language School



GHISING ANAMOL

Nationality: Nepali
School: Kagoshima Business Information and Public Service College



PULAMI THAMEL KUMAR

Nationality: Nepali
School: INTERNATIONAL CENTER OF LANGUAGE & CULTURE INSTITUTE OF JAPANESE LANGUAGE



PUN RAM

Nationality: Nepali
School: Kamimura Gakuen Japanese Language Course



MAHATO RAJ KUMAR

Nationality: Nepali
School: Miyazaki Information Business College Japanese Language Course

EMPLOYMENT SUPPORT

Employment Support by Homeroom Teachers and Dedicated Advisors



Job Guidance in Japan (Resume Writing, Interview Preparation, etc.)



Corporate Training through Internship Programs



To work in Japan, international students need to change their residence status from a student visa to a work visa. Our school supports work visa applications, and all 2022 graduates successfully obtained one.

Major Employers

- KUMAMOTO TOYOTA MOTOR CORPORATION
- NETZ TOYOTA KUMAMOTO CO., LTD
- NISSAN PRINCE KUMAMOTO SALES CO., LTD
- KYUSHU SANKO AUTO SERVICE
- SUZUKI ARENA HIGASHI KUMAMOTO CORPORATION INC.
- MATSUO HDC CO., LTD.
- SUZUKI JIHAN OITA CORPORATION INC.
- ISUZU MOTORS KYUSHU LIMITED
- ISUZU MOTORS CHUGOKU SHIKOKU LIMITED
- UD TRUCKS CORP.
- OSAKA TOYOTA MOTOR CORPORATION
- TOYOHASHI MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS SALES.
- SUZUKI JIHAN CHUBU CORPORATION INC.
- WEINS TOYOTA KANAGAWA CO., LTD.
- TOKYO JIKO CO., LTD
- NEXTAGE Co., Ltd.
- Yamato Auto Works Co.,Ltd.
- SG motors Co.,Ltd.
- Yume Kojo Co., Ltd.
- Honkai co., ltd
- Netz Toyota Nankai Co., Ltd
- KU HOLDINGS CO.,LTD.
- Toyota Corolla Nankai Co., LTD.
- MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS SALES.
- TOKAI-MAZDA Co., Ltd.
- Kansai Mazda motor Corporation
- Isuzu Motor Syutoken Co., Ltd.
- Saitama Toyopet co.,Ltd.
- Minami Kanto Hino Motor Ltd.
- Kyushu Hino Motors, Ltd.
- Balcom Co.,Ltd.
- Dream Japan co.,ltd
- Nishitetsu M-TECH Co.,Ltd.
- OSAKA TOYOPET Corporation
- TOPRANK
- Nissan Fukuoka Sales Co., Ltd
- RESOLUTION Co., Ltd.

TEACHER

Mr. Suresh (from Sri Lanka)

I graduated from this school, worked in a maintenance factory for four years, and returned as an instructor. I not only teach automotive maintenance skills but also support students in their daily lives.



Job Fair for International Students Hosted by Our School



Current Student Interview

Senior Students Working Hard to Achieve Their Dreams with Like-Minded Peers

Every day is exciting with new friends!



SUTRADARTONMOY 2nd-Year Student (Bangladesh)
School: Osaka Japanese Language Academy

Foreign Teachers Provide

a Safe and Comfortable School Life!



BOLAPAGE SADADULA HIRUSHAN

3rd-Year Student (Sri Lanka)
School: Fukuoka Foreign Language College



OLI MEGHRAJ Graduated in 2023 (Nepal)

School: Coto College

Comprehensive Support for

Both Academics and Daily Life!

Strong Job Support

for International Students!



Learning Japanese While

Acquiring Automotive Mechanic Skills!



NGUYEN KHANH DUNG 3rd-Year Student (Vietnam)

School: The Kumamoto YMCA

DHAKAL NIRAJAN Graduated in 2023 (Nepal)

School: Kurume Institute of International Relations



7. 宮崎福祉医療カレッジパンフレット
(英語版)



Miyazaki Welfare Medical College

Department of Comprehensive Welfare
Certified Care Worker Course
 Department of Care Worker Training
Certified Care Worker Course
 Department of Social Work
Social Work Course
(For University Graduates and Those with Practical Experience Only)

There are things that can only be done in Nichinan.



Baseball

Sports Welfare Course

CareWorker

Certified Care Worker Course

Certified Care Worker Course

2-year program



A caring heart and advanced skills

Experts in nursing care are required to have both a caring heart and advanced skills. In this department, we encourage personal growth through various learning opportunities, along with the acquisition of advanced systematic knowledge and skills. We aim to develop human resources that can be immediately active in society with a diverse and substantial curriculum, including practical training in school facilities, experiential learning in welfare sites, volunteer activities, and even computer practice to develop administrative processing skills.

Available Qualifications

- Recreation Instructor (Certified by the Japan Recreation Association)
- Sign Language
- Housing Environment Coordinator for Elderly and Disabled People

Career Paths After Graduation

- Special Elderly Care Home (Designated Nursing Care Elderly Welfare Facility), Long-term Care Health Facility, Support Facility for Persons with Disabilities, Social Welfare Council, Nursing Care Start at Medical Institutions, Group Home, Fee-based Elderly Care Home, Service-Attached Housing for the Elderly, etc.

You can also register as a player while enrolled in the Department of Care Worker Training.



Job Offer Recipients

Other students have also secured employment in various fields!

 Koujinkai Foundation From Vietnam	 Koujinkai Foundation From Vietnam	 Hakwai Co., Ltd From the Philippines	 Shunkokai Medical Corporation From Vietnam
 Koujinkai Foundation From Vietnam	 Kowakai Social Welfare Corporation CLARK Memorial International High School Miyasaki Campus	 Mahoroba Fukushima Social Welfare Corporation Graduated from Hojo High School	 Zenkokai Social Welfare Corporation Graduated from Nichinan High School
 Miyazaki Prefecture Social Welfare Corporation Saito Commercial High School	 Minato Group Co., Ltd. Dream Senior High School	 Zenjinkai Social Welfare Corporation Nichinan Gakuen High School	 Kokura Gamou Hospital Medical Corporation Nichinan Gakuen High School
 Zenjinkai Social Welfare Corporation Graduated from Hojo High School			

A Senior Who Achieved Her Dream

Because I spent two years studying at the college, I was able to secure my current job and become who I am today.

I currently provide training and support in production activities and employment for users who attend the day service. There are many challenges, but I find it rewarding because I can directly see changes such as users being able to do more and becoming more motivated about employment. I feel that each day is important. At the college, I learned a variety of things, enjoyed fun events, and had a truly valuable and fulfilling time. I owe who I am now to the two years I spent studying at the college.

NPO ONCE IN A LIFE TIME
Kurumi Kai



A Day in the Life of a Student

Here is an example of a daily schedule in the Care Welfare Department.

9:00 Going to School	9:10 1st Period	10:50 2nd Period	12:30 Lunch Break	13:15 3rd Period	14:55 4th Period	16:25 Going Home
-------------------------	--------------------	---------------------	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------

Let's all have fun learning and enjoying our Welfare Member Challenge!

Classroom Practicum

We conduct hands-on lessons exactly like those in real welfare settings.



Facility Introduction

We have extensive facilities and equipment just like those used in real welfare settings.



8. 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校パンフレット
(ベトナム語版)

Hãy tiến gần hơn tới ước mơ của bạn tại KBCC!!

▶ Đặc điểm của trường

Cao đẳng thông tin kinh doanh và dịch vụ công Kagoshima (KBCC) là trường dạy nghề chuyên về kinh doanh được thành lập vào năm 1987 với sự chấp thuận của Thống đốc tỉnh Kagoshima và có lịch sử lâu đời cùng thành tích đã được chứng minh.

Trường của chúng tôi tọa lạc tại thành phố Kagoshima ở phía nam Kyushu, nơi có khí hậu ấm áp và dễ chịu.

Nằm ở khu vực nhộn nhịp nhất của Tỉnh Kagoshima, nơi đây có giao thông thuận tiện, thuận tiện cho việc mua sắm, ăn uống, làm việc bán thời gian và tận hưởng thời gian giải trí.



▶ Đặc điểm của Khoa Kinh doanh quốc tế

Khoa Kinh doanh quốc tế, được thành lập năm 2019, là khóa học chuyên ngành dành cho sinh viên quốc tế có nhu cầu tìm kiếm việc làm tại Nhật Bản.

Trong hai năm, sinh viên sẽ được học kiến thức và kỹ năng chuyên môn, đồng thời rèn luyện kỹ năng tiếng Nhật và khả năng giao tiếp.

Sau khi tốt nghiệp, sinh viên sẽ có được bằng cấp chuyên môn và mong muốn tìm được việc làm tại một công ty.

▶ Đặc điểm của Khoa tiếng Nhật

Bạn sẽ có được kỹ năng tiếng Nhật thông qua việc học bốn kỹ năng "nghe, nói, đọc và viết" một cách toàn diện và cân bằng.

Chúng tôi cung cấp dịch vụ hướng nghiệp để giúp mỗi sinh viên vào được trường đại học, trường đại học hoặc trường dạy nghề mà họ lựa chọn.



Lời chào của Hiệu trưởng

Chậm rãi, chắc chắn, đều đặn.

Có nhiều sinh viên quốc tế đang theo học tại KBCC.

Đời sống sinh viên tại KBCC rất trọn vẹn, với những lớp học tràn ngập tiếng cười, các sự kiện sôi nổi của trường và những buổi tư vấn nghề nghiệp nghiêm túc với giáo viên. Ở khoa tiếng Nhật, sinh viên sẽ được học tiếng Nhật từ cơ bản đến ứng dụng nâng cao, sau đó tiếp tục học kiến thức và kỹ năng chuyên sâu ở khoa Kinh doanh quốc tế. Toàn thể giảng viên và nhân viên đều mong muốn bạn đăng ký.

Ông Yoshitaka Nakahiro, Hiệu trưởng Trường Cao đẳng Kinh doanh Thông tin và Dịch vụ Công cộng Kagoshima



IT

▶ Khoa Kinh doanh quốc tế (Khoa học chuyên ngành)
Thông tin Công nghệ thông tin (CNTT) quốc tế

HOTEL

▶ Khoa Kinh doanh quốc tế (Khoa học chuyên ngành)
Du lịch khách sạn quốc tế

KBCC giúp bạn "tìm kiếm việc làm" thành hiện thực

KBCC

Cao đẳng công chức kinh doanh thông tin Kagoshima

Tuyển sinh cho sinh viên quốc tế năm 2025

JAPANESE

日本語科
Khoa tiếng Nhật

Sinh viên tốt nghiệp thành công

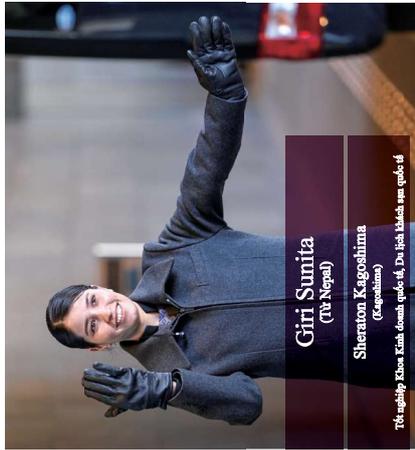
Các cựu sinh viên đã tốt nghiệp KBCC, hiện đang làm việc trong lĩnh vực kinh doanh, chẳng hạn như tại các công ty. Chúng tôi đồng ý góp cho xã hội bằng cách sử dụng kiến thức và kỹ năng đã học được trong các khoa học chuyên ngành.



OO Lin Thant
(từ Myanmar)

Công ty J10works
(Thái Lan)

Tốt nghiệp Khoa Kinh doanh quốc tế và công nghệ thông tin



Giri Sunita
(từ Nepal)

Sheraton Kagoehima
(Cagoshima)

Tốt nghiệp Khoa Kinh doanh quốc tế, Du lịch khách sạn quốc tế



Nguyễn Thị Ngọc
(từ Việt Nam)

Công ty TNHH Nextage
(Cagoshima)

Tốt nghiệp Khoa Kinh doanh quốc tế, Du lịch khách sạn quốc tế



Myoklen Ishiharaso
(từ Nepal)

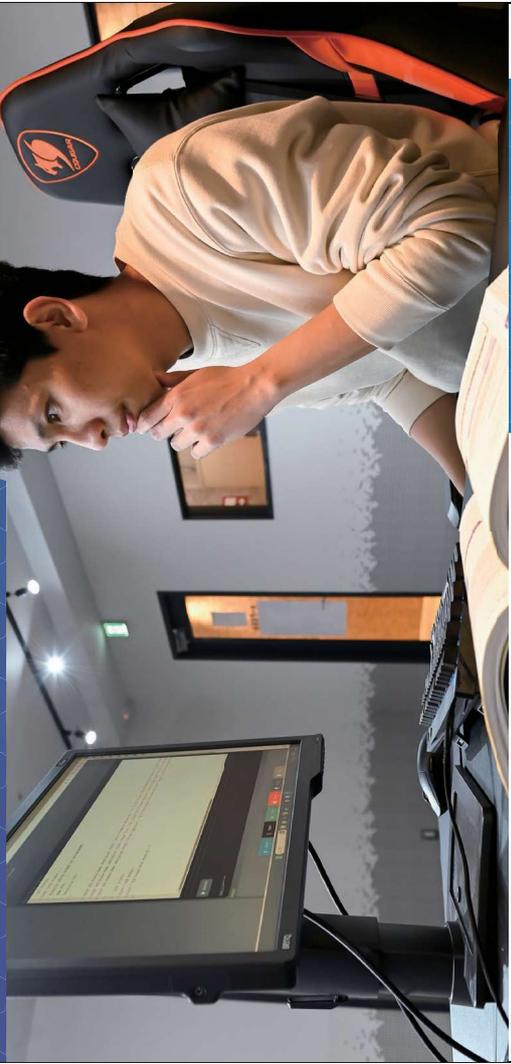
Myoklen Ishiharaso (Cagoshima)
Tốt nghiệp Khoa Kinh doanh quốc tế, Du lịch khách sạn quốc tế

ỷ lệ việc làm sau khi tốt nghiệp của Khoa Kinh doanh quốc tế:

100%



Khoa Kinh doanh quốc tế [khóa học 2 năm] Thông tin công nghệ thông tin quốc tế



Với mục tiêu trở thành một công ty Công nghệ thông tin!!

Chúng tôi hướng đến mục tiêu đào tạo những cá nhân tài năng có thể phát triển mạnh mẽ trong các công ty Công nghệ thông tin với vai trò là lập trình viên, kỹ sư hệ thống và kỹ sư máy tính, những người có khả năng làm việc trong xã hội toàn cầu. Bạn sẽ có được các kỹ năng và kiến thức về Công nghệ thông tin, từ lập trình đến kinh doanh thông tin.

Thời gian biểu hai năm (ví dụ)

Năm đầu tiên	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:30~11:00	PythonI	Tiếng Nhật thực dụng	Nghi thức kinh doanh	Bài tập máy tính	Hồ chiếu công nghệ thông tin I
11:10~12:40	PythonI	Tiếng Nhật thực dụng	Tiếng Nhật tổng quát	Bài tập máy tính	Hồ chiếu công nghệ thông tin I
12:45~13:30	Tiếng Nhật thương mại I	Tiếng Nhật thương mại I	Nghiên cứu công ty	Tiếng Nhật tổng quát	Tiếng Nhật tổng quát

Năm thứ hai	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:30~11:00	Java	Tiếng Nhật thực tế	Nghi thức kinh doanh II	PythonII	Hồ chiếu công nghệ thông tin II
11:10~12:40	Java	Tiếng Nhật thực tế	Thực hành thuyết trình	PythonII	Hồ chiếu công nghệ thông tin II
12:45~13:30	Tiếng Nhật thương mại II	Biên pháp tin việc	Giới thiệu về Truyền thông	Bài tập viết kinh doanh	Bài tập viết kinh doanh

Bằng cấp

- Bằng cấp liên quan đến máy tính**
 - Hồ chiếu công nghệ thông tin
 - Kỹ thi Kỹ năng lập trình
 - Kỹ thi chứng chỉ kỹ sư Python cơ bản
 - Kỹ thi phân tích dữ liệu được chứng nhận của kỹ sư Python
 - Bằng tính kiểm tra kỹ năng xử lý thông tin văn bản
- Bằng cấp liên quan đến ngôn ngữ**
 - Kỹ thi năng lực tiếng Nhật (JLPT) [N1, N2]
 - TOEIC
 - Bài kiểm tra năng lực tiếng Nhật thương mại văn bản
- Bằng cấp liên quan đến kinh doanh**
 - Kỹ thi đánh giá kỹ năng kinh doanh Nhật Bản
 - Bài kiểm tra phép xã giao thông thường dành cho người đi làm văn bản

Miễn giảm học phí

Có thể giảm giá lên đến **200.000** yên

Học phí: **750.000** yên → **550.000** yên

* Để biết thêm chi tiết, vui lòng xem bảng đính kèm.

Lấy giáo trình



Lớp học công nghệ thông tin

Lập trình (Python, Java, v.v.), thiết kế web, xây dựng hệ thống, kiến thức công nghệ thông tin, quản lý, công nghệ thông tin, phần mềm văn phòng, v.v.

Máy tính xách tay chuyên dùng cá nhân



Mỗi học viên sẽ được cung cấp một máy tính xách tay hiệu suất cao, hiện đại. Bạn có thể sử dụng cùng một máy tính cho đến khi tốt nghiệp và Internet được trang bị kết nối Wi-Fi!

Thiết bị mới nhất như một văn phòng!

--- Mac Room ---

Không gian máy tính lớn mới lắp đặt được trang bị 40 máy iMac24 và các bộ trị bạn làm việc được thiết kế dành riêng cho công ty hoặc văn phòng, giúp cho việc học tập và thuyết trình hiệu quả.

Một số phòng học là không gian họp, cho phép bạn tổ chức các cuộc họp và hội nghị linh hoạt với bàn ghế, giống như trong các văn phòng hiện đại.



Không gian học tập được chuẩn bị và để dành cho bạn, và để bạn có thể học tập thoải mái!

Tiếng nói của sinh viên

Tôi đã đăng ký vào KBCC và gặp được những bạn cùng lớp sẵn sàng hợp tác với tôi cũng như những giáo viên nhiệt tình chỉ dạy tôi, điều này đã giúp tôi tìm ra mục tiêu tương lai của mình. Hãy đến tham gia cùng chúng tôi và tận hưởng cuộc sống học đường đầy ý nghĩa tại KBCC.

Trần Duệ Quốc Toàn



Tr Việt Nam

Tiếng nói của giảng viên

Sức mạnh của người nước ngoài sẽ không thể thiếu đối với xã hội Nhật Bản trong tương lai. Ngoài việc tiếp thu kiến thức cơ bản cần thiết trong xã hội, chúng tôi còn trang bị các kỹ năng giao tiếp cần thiết để xử lý mọi tình huống kinh doanh.

Giáo sư Tomitani



Các công ty CVNIT tại Kagoshima

Có hơn 130 công ty công nghệ thông tin và web, hay còn gọi là các công ty liên quan đến công nghệ thông tin, ở Tỉnh Kagoshima. Con số này đang có xu hướng tăng. Hoạt động kinh doanh của môi công ty đều khác nhau. Kagoshima là nơi để tìm việc, với nhiều công ty tích cực cung cấp chương trình thực tập và tham quan công ty.



Khoa Kinh doanh quốc tế [khóa học 2 năm]

Du lịch khách sạn quốc tế



Đang hướng tới khách sạn!!

Khóa học này bao gồm việc học các môn học chuyên ngành liên quan đến khách sạn, ngôn ngữ và kiến thức cơ bản về công nghệ thông tin, nhằm giúp sinh viên tìm được việc làm trong ngành du lịch, bao gồm cả khách sạn, sau khi tốt nghiệp.

Trong các khóa học chuyên ngành khách sạn, sinh viên sẽ có được các kỹ năng thực tế để làm việc trong khách sạn, bao gồm đào tạo thực tế về hoạt động lưu trú, nghỉ thực và lễ tân.

Thời gian biểu 02 năm (ví dụ)

Năm đầu tiên	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:30~11:00	Vẽ đất nước Nhật Bản	Tiếng Nhật thực dụng	Giới thiệu về Du lịch học I	Bài tập máy tính	Tiếng Anh Thực dụng I
11:10~12:40	Thực hành dịch vụ lễ tân I	Tiếng Nhật thực dụng	Tiếng Nhật tổng quát	Bài tập máy tính	Thực hành dịch vụ lễ tân I
12:45~13:30	Tiếng Nhật thương mại I	Tiếng Nhật thương mại I	Nghiên cứu công ty	Tiếng Nhật tổng quát	Tiếng Nhật tổng quát

Năm thứ hai	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:30~11:00	Công việc máy tính	Tiếng Nhật thực dụng	Giới thiệu về Du lịch học II	Thực hành khách sạn	Thực hành dịch vụ lễ tân II
11:10~12:40	Thực hành dịch vụ lễ tân II	Tiếng Nhật thực dụng	Thực hành thuyết trình	Thực hành khách sạn	Thực dụng II
12:45~13:30	Tiếng Nhật thương mại II	Biên pháp tin tức	Giới thiệu về Truyền thông	Bài tập viết kinh doanh	Tiếng Anh viết kinh doanh

Nhận Bằng cấp

1 Bằng cấp chứng nhận liên quan đến Phong cách ứng xử và trình độ khách sạn

- Kỹ thi tuyển dụng kinh doanh khách sạn và du lịch Lữ quán
- Kiểm tra dịch vụ lễ tân
- Kiểm tra phép xã giao thông thường dành cho người đi làm
- Kiểm tra giao tiếp tiếng Nhật thực tế
- Kiểm tra nghỉ thực giao tiếp Văn văn

2 Bằng cấp chứng nhận liên quan đến ngôn ngữ

- Kỹ thi năng lực tiếng Nhật (JLPT) [N1, N2]
- TOEIC
- Bài kiểm tra năng lực tiếng Nhật thương mại Văn văn

3 Bằng cấp liên quan đến máy tính

- Kiểm tra năng lực xử lý từ tiếng Nhật
- Kiểm tra thiết kế trình bày văn bản
- Kiểm tra tác vụ nhập văn bản

Văn văn

Miễn giảm học phí

Có thể giảm giá lên đến **200.000 yên**

Học phí: **720.000 yên** → **520.000 yên**

※ Để biết thêm chi tiết, vui lòng xem bảng đính kèm.

Lấy giáo trình



Lớp học ngôn ngữ

Trưởng Anh thực hành, Tiếng Nhật thương mại



Các lớp học liên quan đến khách sạn

Giới thiệu về đào tạo du lịch, dịch vụ và khách sạn, kinh doanh khách sạn

Tiếng nói của sinh viên

Tôi không thích những nơi đông đúc, vì vậy tôi rất vui khi được du học tại KBCC ở thành phố yên tĩnh Kagoshima. Các giáo viên luôn ở đó hỗ trợ tôi để tôi không gặp bất kỳ khó khăn nào trong cuộc sống hàng ngày, vì vậy tôi có thể tập trung vào việc học. Mỗi chúng ta đều có ước mơ riêng, nhưng đây cũng nhau nỗ lực tại KBCC để biến chúng thành hiện thực nhé!

Neupane Laxman



Từ Nepal

Tiếng nói của giảng viên

Chúng tôi hỗ trợ bạn có được những kỹ năng để được yêu thương và cần thiết như một thành viên của xã hội Nhật Bản. Hãy đến học các kỹ năng và nghi thức kinh doanh tại KBCC để giúp bạn đạt được ước mơ và mục tiêu của mình.

Giáo sư Hokazono



Nơi làm việc

Khách sạn

- Khách sạn Sheraton Kagoshima
- Khách sạn Kirishima
- Lưu quán
- Suối nước nóng Kiyohime

Liên quan đến kinh doanh

- Công ty TNHH VegCo-op
- Sieu thị gia đình Minami Kyushu
- Công ty TNHH Nextage
- Công ty TNHH Niko Shokutcho

Khoa tiếng Nhật



Điều kiện để nộp đơn

- ✓ Những người đã hoàn thành 12 năm học phổ thông trở lên hoặc khoa học tương đương.
- ✓ Những người đã được cấp hoặc sẽ được cấp phép nhập cảnh vào Nhật Bản theo đúng thủ tục

khóa học	Các loại phí	Lệ phí thi tuyển sinh	Phí nhập học	Học phí	Chi phí khác	Tổng cộng
Tuyển sinh tháng 4	Số tháng: 25 đợt học 1 năm Tháng 4 đến tháng 3 năm sau	¥20.000	¥40.000	¥560.000	¥120.000	¥740.000
Tuyển sinh tháng 10	Số tháng: 80 đợt học 2 năm... Tháng 4 đến tháng 3 năm sau	¥20.000	¥40.000	¥560.000 ¥560.000	¥240.000 ¥1.420.000	¥1.420.000
	Capacity 120 students	¥20.000	¥40.000	¥560.000 ¥280.000	¥180.000	¥1.080.000

Học tập

Chúng tôi không chỉ dạy luyện thi mà còn cung cấp hướng dẫn chi tiết một cách thú vị về tiếng Nhật thực tế, cần thiết cho giáo dục sau này và cuộc sống hàng ngày. Mỗi lớp học được giảng dạy bởi nhiều giáo viên, giáo viên sẽ xây dựng bài học phù hợp với trình độ của từng học viên.

Lớp học buổi sáng

9:15~12:40

Mỗi ngày học 4 tiếng (Thứ Hai đến Thứ Sáu)

Lớp học buổi chiều

13:30~16:50

Mỗi ngày học 4 tiếng (Thứ Hai đến Thứ Sáu)



Ba điểm nổi bật

1 Giáo dục tiếng Nhật chất lượng cao

Đội ngũ giảng viên giàu kinh nghiệm của chúng tôi cung cấp chương trình đào tạo tiếng Nhật chất lượng cao, tập trung vào việc rèn luyện kỹ năng giao tiếp.

2 Hỗ trợ nghề nghiệp

Chúng tôi hỗ trợ sinh viên lựa chọn con đường sự nghiệp phù hợp với nhu cầu của năm. Nếu bạn tiếp tục học tại một trường dạy nghề trong nhóm trường của chúng tôi, bạn có thể đã điều kiện được giảm học phí.

3 Hỗ trợ sinh hoạt

Bạn có thể yên tâm rằng đội ngũ nhân viên tâm tâm của chúng tôi sẽ hỗ trợ bạn về cuộc sống và nghỉ ngơi cả giao tại Nhật Bản. Chúng tôi cũng có kỹ thuật viên sinh viên, giúp bạn dễ dàng hòa nhập và ổn định cuộc sống sinh viên.

Ký túc xá sinh viên

Không cần phải lo lắng về những thủ tục phức tạp như người bảo lãnh, tiền đặt cọc và tiền căn on. Bạn có thể sống một cuộc sống an toàn và thú vị với tư cách là sinh viên quốc tế tại Ky-túc-xá-dò-trường-cung-cấp.



Phòng đôi



Phòng đơn

Điểm tuyệt vời!!

Điểm **01** Di chuyển thật dễ dàng!!

Điểm **02** Có Wi-Fi!!

Điểm **03** Trường vòng 2km

Điểm **04** Đã lắp đặt toàn bộ đồ nội thất và thiết bị!!

Mẫu

Phí ký túc xá (không bao gồm điện phí)

- Phòng đôi: từ ¥18.000
- Phòng đơn: từ ¥36.000

Tư vấn và hỗ trợ

Bạn có thể thoải mái tham khảo ý kiến của chúng tôi bất cứ lúc nào về công việc bán thời gian, con đường sự nghiệp và những lo lắng trong cuộc sống hàng ngày. Chúng tôi cũng hỗ trợ thủ tục xin thị thực và cư trú.

Công việc bán thời gian

KBCC còn giới thiệu việc làm bán thời gian cho sinh viên quốc tế để họ có thể yên tâm làm việc và học tập. Có nhiều công việc bán thời gian khác nhau, chẳng hạn như ở quán izakaya, nhà hàng, nhà máy, cửa hàng tiện lợi và nhà hàng thực ăn nhanh. Vui lòng liên hệ nhà trường để biết thêm chi tiết.

Hỗ trợ đạt được trình độ

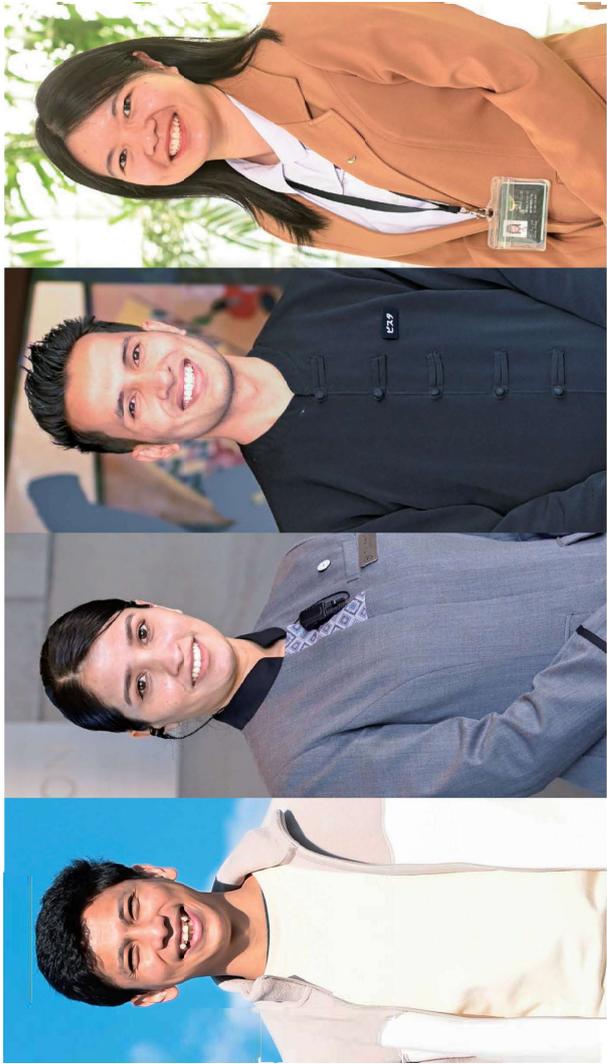
Chúng tôi sẽ hỗ trợ bạn đạt được nhiều bằng cấp cần thiết cho việc làm, v.v. Chúng tôi cung cấp hỗ trợ toàn diện thông qua chương trình giảng dạy và hướng dẫn cá nhân.

- 01** Kiểm tra năng lực tiếng Nhật Đạt trình độ N5 đến N1 tùy theo trình độ của bạn.
- 02** Cấp bằng tốt nghiệp Chức danh "chuyên gia" do Bộ trưởng Bộ Giáo dục, Văn hóa, Thể thao, Khoa học và Công nghệ phê duyệt.
- 03** Các bằng cấp khác Có được bằng cấp thực tế có thể sử dụng trong công việc sau khi được tuyển dụng.

Giới thiệu sự kiện

Carb-nhiên-và-hiện-thực-vi-tại-Kyushu

- 1 Lễ hội mùa hè
- 2 Lễ hội Obara
- 3 Lễ hội Obara
- 4 Lễ hội Obara
- 5 Lễ hội Obara
- 6 Lễ hội Obara
- 7 Lễ hội Obara
- 8 Lễ hội Obara
- 9 Lễ hội Obara
- 10 Lễ hội Obara
- 11 Lễ hội Obara
- 12 Lễ hội Obara



Ngày hội tuyển sinh

Một khuôn viên mở, nơi bạn có thể tìm hiểu thêm về Khoa Kinh doanh Quốc tế của KBCC. Chúng tôi không chỉ giải thích về trường mà còn tổ chức các buổi học thử. Hãy đến và tham gia cơ sở mở cửa chúng tôi, hoàn toàn miễn phí.

7.27	8.24	9.21
Thứ Bảy	Thứ Bảy	Thứ Bảy
10.19	11.2	12.14
Thứ Bảy	Thứ Bảy	Thứ Bảy

[Địa điểm] Cao đẳng công chức kinh doanh thông tin Kagoshima [Thời gian] 13:00-16:00

Bài học thử nghiệm

Các sự kiện mở cửa trường thường xuyên được tổ chức tại cơ sở KBCC. Bạn có thể tham gia một bài học thử tại một lớp học thực tế.

Trực tuyến

Chúng tôi sẽ tổ chức buổi giải thích về phát sóng trực tuyến qua ZOOM, v.v. Mặc dù đây là buổi học từ xa, chúng tôi vẫn sẽ cung cấp cho bạn những giải thích chi tiết và đầy đủ.



Học viện giáo dục tổng hợp Kyushu
Cao đẳng công chức kinh doanh thông tin Kagoshima

〒892-0842 19-32 Higashisengokuchō, Thành phố Kagoshima
TEL: 099-223-8400 URL: <https://www.kbcc.ac.jp/>



FACE BOOK YOUTUBE Website KBCC

[Học viện Công nghệ Kyushu KGS]

- Cao đẳng Kỹ thuật Y khoa Kyushu
- Học viện công nghệ Kyushu, Cao đẳng ô tô
- Trường Nhật ngữ Goto
- Trung tâm thiên nhiên Kirishima

[Pháp nhân Tập đoàn]

- Học viện tổng hợp MSG Miyazaki (Liên đoàn Cao đẳng Ohara)

9. 九州工科自動車専門学校パンフレット

(ベトナム語版)



Khoa công nghệ ô tô quốc tế

Hệ 3 năm 35 người (Nam • Nữ) Đối tượng du học sinh

- POINT 1**
Lịch sử lâu đời nhất ở miền Tây Nhật Bản
Năm 2016, khoa học ô tô quốc tế 3 năm được thành lập. Đây là khoa học sớm nhất ở miền Tây Nhật Bản.
- POINT 2**
Học phí thấp
Học phí vừa phải so với khu vực thủ đô. Có thể chia làm nhiều đợt đóng.
- POINT 3**
Thành tích tìm việc đứng top toàn quốc
Trường nhận được nhiều lời mời làm việc từ khắp nơi trên toàn quốc, học viên có thể tìm được việc làm ở thành phố lớn.

Điểm nổi bật khoa công nghệ ô tô quốc tế



Hướng đến mục tiêu trở thành thợ bảo trì ô tô đồng thời học ngôn ngữ và văn hoá Nhật Bản.

EMPLOYEE/ Nhà trường sẽ hỗ trợ toàn bộ trong suốt 3 năm. Kể cả những học viên chưa có kiến thức về ngành học cũng có thể yên tâm.

Mục tiêu khi vào học tại khoa công nghệ ô tô quốc tế là trong vòng 3 năm sẽ học được nhiều kỹ thuật và kiến thức về bảo dưỡng ô tô, hướng đến việc dành được chứng chỉ thợ bảo dưỡng cấp độ 2. Ngoài ra còn có giờ học tiếng Nhật, và văn hoá Nhật Bản, học viên sẽ được thử sức tại kỳ thi năng lực tiếng Nhật. Nhà trường sẽ giúp đỡ các học viên trong đời sống tại Nhật và sẽ hỗ trợ các em tìm việc. Hãy cùng với những người bạn nỗ lực học tập để hướng tới ước mơ!

Khoa bảo trì ô tô Khoa IT - Thể thao Khoa công nghệ ô tô quốc tế

Nơi làm việc:
Công ty cổ phần Mitsubishi Fuso Truck Bus Kyushu Fuso



ALAM AZMAN
Từ Bangladesh Xuất thân: Trưởng ngoại quốc aiwa

Nơi làm việc:
Công ty Osaka Toyota Motor Corporation



ADHIKARI JEEWAN
Từ Nepal Xuất thân: Học viện giao lưu quốc tế Kurume

Nơi làm việc:
Công ty Kumamoto Hino Motors



SILVADINAYADURA GIFANCHANAKA
Từ Sri Lanka Xuất thân: Học viện giáo dục văn hoá Nhật Bản

Đề nghị làm việc:
Công ty cổ phần Netz Toyota



LÊ QUỐC CƯỜNG
Từ Việt Nam Xuất thân: Học viện YMCA Kumamoto

Đề nghị làm việc:
Công ty cổ phần Isuzu Motors Chugoku Shikoku



KHULAL ANJAN
Từ Nepal Xuất thân: Cao đẳng đo lường Kyusyu

Mục tiêu đạt được chứng chỉ

- Chứng chỉ tiếng Nhật N1, N2**
- Chứng chỉ thợ bảo dưỡng cấp độ 2**
Chứng chỉ thợ bảo dưỡng ô tô sử dụng xăng cấp độ 2 (miễn thi thực hành)
Chứng chỉ thợ bảo dưỡng ô tô sử dụng dầu Diesel cấp độ 2 (miễn thi thực hành)
Người sử dụng xe điện Hybrid Vehicle với bộ sử lý điện áp thấp

Khoa công nghệ ô tô quốc tế

2 Hỗ trợ từ khoa công nghệ ô tô quốc tế

Nhà trường thiết lập bộ phận chuyên hỗ trợ để các bạn du học sinh có thể yên tâm học tập và sinh hoạt. Hỗ trợ từ phương diện học tập đến đời sống, tìm việc.

Hỗ trợ học tập

Học tiếng Nhật và học kỹ thuật bảo dưỡng ô tô trong 3 năm.

Giáo viên chủ nhiệm phụ trách

Mỗi lớp sẽ có giáo viên chủ nhiệm để hỗ trợ học sinh từ học tập đến đời sống.

Giờ học thực tiễn của giảng viên chuyên môn cao

Học sinh nhận được sự chỉ đạo từ đội ngũ giảng viên chuyên nghiệp có kiến thức và kinh nghiệm phong phú.

Hỗ trợ học tiếng Nhật

Ngoài giờ học bảo dưỡng ô tô thì nhà trường còn kết hợp giảng dạy tiếng Nhật.

Thời gian biểu trong tuần (Ví dụ)

	thứ 2	thứ 3	thứ 4	thứ 5	thứ 6
1	thực hành	thực hành	thực hành	thực hành	thực hành
2	thực hành	thực hành	thực hành	thực hành	thực hành
3	thực hành	Diesel	Khung xe	Xăng	Động lực học
Nghỉ trưa					
4		Bộ mạch	Điện tử		
5	Nghỉ	Tiếng Nhật	Vật liệu	Nghỉ	Nghỉ
6		Văn hoá Nhật Bản	Tiếng Nhật		

Thứ 2-5 học buổi sáng

Hỗ trợ đời sống

Hỗ trợ các bạn ngoại tỉnh quen với cuộc sống mới ở Kumamoto.



Hỗ trợ cuộc sống trường học

Cung cấp các hỗ trợ khác nhau để bạn làm quen với cuộc sống ở Kumamoto, nơi có môi trường hoàn toàn khác.



Giới thiệu việc làm thêm

Giới thiệu việc làm thêm phù hợp như quán ăn, cửa hàng tiện lợi, cây xăng đầu.



Hỗ trợ bảo lãnh nhà ở

Để thuê nhà ở Nhật thì cần có người bảo lãnh. Nhà trường sẽ hỗ trợ bảo lãnh cho các bạn nước ngoài khi thuê nhà tại Nhật Bản.

Giới thiệu sinh viên đang theo học



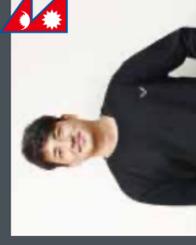
ARYAL SANDIP

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Trường Nhật ngữ HLA



SAYED MD ABU

Quốc tịch: Bangladesh
Xuất thân: Trường cao đẳng ngoại ngữ Tomifoji



THAPA MAGAR OM KRISHNA

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Trường Nhật ngữ HLA



ĐỒ VĂN MẠNH

Quốc tịch: Vietnam
Xuất thân: Trường Nhật ngữ Kyushu



ADHIKARI YUVRAJ

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Học viện văn hoá kinh tế Nhật Bản



GURUNG MANTOSH

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Cao đẳng Beppu Mizobe



SANB PAPE MEISSA TENDE

Quốc tịch: Senegal
Xuất thân: Trường chuyên môn ngoại ngữ & du lịch CODO



DHAKAL PRADIP

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Trường Nhật ngữ Hamamatsu



DANDAN JOMAR CALOG

Quốc tịch: Philipin
Xuất thân: Học viện YMCA Kumamoto



CHAUDHARY AMAR

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Học viện Aichi Kotonoha



WANNRACHICHE BIAGYA SAMPAXI

Quốc tịch: Sri Lanka
Xuất thân: Trường Nhật ngữ INC



GHATANI MAHESH

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Trường Nhật ngữ Kyushu Yokkachi



KC HARISH CHANDRA

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Khoa tiếng Nhật dành cho du học sinh, Cơ sở Nagoya, Đại học Phúc Lợi Tokyo



THAPA MAGAR SUBASH

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Học viện YMCA Kumamoto



ĐÀO VĂN TUẤN

Quốc tịch: Vietnam
Xuất thân: Học viện tiếng Nhật Life Junior



CHAND SANTOSH

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Trường Nhật ngữ ARMS



GHISING ANAMOL

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Trường chuyên môn Chuyên Viên Thông Tin Kinh Doanh Kagoshima



PULAMI THAMEL KUMAR

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Trường Nhật ngữ trực thuộc Trung tâm Ngôn ngữ & Văn hóa Quốc tế



PUN RAM

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Khoa tiếng Nhật, Trường chuyên môn Kamimura Gakuen



MAHATO RAJ KUMAR

Quốc tịch: Nepal
Xuất thân: Khoa tiếng Nhật, Trường chuyên môn Thông Tin Kinh Tế Tế Miyazaki

Hỗ trợ tìm việc

Hỗ trợ tìm kiếm việc làm từ giáo viên chủ nhiệm - người phụ trách chuyên ngành



Hướng dẫn tìm việc trong nước Nhật (viết sơ yếu lý lịch, luyện thi phỏng vấn)



Thực tập tại các doanh nghiệp theo chương trình thực tập hướng nghiệp



Để du học sinh có thể làm việc tại Nhật, cần chuyển đổi từ visa du học sang visa lao động. Nhà trường hỗ trợ chuyển đổi visa cho du học sinh. Các sinh viên tốt nghiệp năm 2022 đều chuyển đổi visa lao động thành công.

Danh sách các công ty xin việc

- Công ty cổ phần Toyota Kumamoto
- Công ty cổ phần Netz Toyota Kumamoto
- Công ty cổ phần Nissan Prince Kumamoto
- Công ty dịch vụ Kyusyu Sanko Auto Kumamoto
- Công ty cổ phần Suzuki Arena Higashi Kumamoto
- Công ty cổ phần Matsuo HDC Kyusyu
- Công ty cổ phần Isuzu Motors Chugoku-Shikoku
- Công ty cổ phần UD Truck

- Công ty cổ phần Netz Toyota Nankai Motors
- Công ty cổ phần KU Holdings
- Công ty cổ phần Toyota Corolla Nankai
- Công ty cổ phần Mitsubishi Fuso Truck Bus
- Công ty cổ phần Mazda Todai
- Công ty cổ phần Matsuda Kansai
- Công ty cổ phần Isuzu Shutoken Motors
- Công ty cổ phần Saitama Toyopet
- Công ty cổ phần Mirami Kanto Hino Motors
- Công ty cổ phần Kyusyu Hino Motors

TEACHER

Thầy Suresh (Sri Lanka)

Tôi tốt nghiệp tại ngôi trường này, có 4 năm kinh nghiệm làm việc tại xưởng bảo dưỡng ô tô, sau đó thi tôi trở về trường với tư cách giáo viên. Tôi không chỉ giảng dạy về kỹ thuật bảo dưỡng mà còn hỗ trợ các học viên trong cuộc sống hàng ngày.



Đw Kđ wđ vđ pđ e c'e'e'qepj 'p j k r' f'epj 'ej'q't'wđ e'ubpj'e c'u pi

Phỏng vấn sinh viên đang theo học

Cố gắng cùng thực hiện ước mơ và những mục tiêu giống nhau của các thế hệ đi trước

Bạn bè mới ngày càng nhiều, mỗi ngày đều rất vui!



SUTRADAR TONMOY Sinh viên năm 2 (Quốc tịch: Bangladesh)
Xuất thân Học viện nhật ngữ Osaka

Có cả giáo viên nước ngoài, nên có thể yên tâm tận hưởng cuộc sống học đường.



BOLAPAGE SADADULA HIRUSHAN Sinh viên năm 3 (Quốc tịch: Sri Lanka) Xuất thân: Trường cao đẳng ngoại ngữ Fukuoka



OLI MEGHRAJ Tốt nghiệp hệ 5 năm (Quốc tịch: Nepal) Xuất thân Coto College

Không chỉ hỗ trợ việc học mà còn hỗ trợ cả đời sống sinh hoạt!

Hỗ trợ việc làm rất đầy đủ, du học sinh cũng không cần lo lắng!



DHAKAL NIRAJAN Tốt nghiệp hệ 5 năm (Quốc tịch: Nepal)
Xuất thân Học viện giao lưu quốc tế Kurume

Vừa tiếp tục học tiếng Nhật, vừa trau dồi kỹ năng của một kỹ thuật viên sửa chữa ô tô!



NGUYỄN KHANH DŨNG Sinh viên năm 3 (Quốc tịch: Vietnam)
Xuất thân: Học viện YMCA Kumamoto

10. 宮崎福祉医療カレッジパンフレット

(ベトナム語版)

Sách hướng dẫn 2025

Học viện Tổng hợp Miyazaki

Được chỉ định bởi Bộ trưởng Bộ Y tế, Lao động và Phúc lợi
Cơ sở đào tạo chúng tôi nhận viên xã hội, Cơ sở đào tạo nhân viên chăm sóc



Phúc lợi và Y tế Miyazaki

Khóa học phúc lợi
thể thao, Khoa phúc
lợi tổng hợp

Khóa Chăm sóc và
Phúc lợi, Khóa học
Nhân viên Chăm sóc

Có những điều chúng ta có thể làm vì chúng ta là NICHINAN.



Bóng chày

Khóa học Thể thao và Phúc lợi

Nhân viên chăm sóc

Khóa học phúc lợi chăm sóc

Bộ Giáo dục, Văn hóa, Thể thao, Khoa học và Công nghệ công nhận khoa học chuyên

Bộ Y tế, Lao động và Phúc lợi cấp văn bằng trình

độ quốc gia

Khóa học Nhân viên Chăm sóc Điều dưỡng

Khoa học 2 năm



Lòng trắc ẩn và công nghệ tiên tiến

Những gì cần có ở một chuyên gia chăm sóc và phúc lợi là một trái tim nhân hậu và những kỹ năng chuyên sâu.

Ngoài việc cung cấp cho sinh viên kiến thức chuyên môn có hệ thống, nâng cao và các kỹ năng chuyên môn, khoa của chúng tôi còn thúc đẩy sự phát triển cá nhân thông qua nhiều cơ hội học tập khác nhau.

Chương trình giảng dạy đa dạng và chuyên sâu của chúng tôi bao gồm đào tạo thực hành tại cơ sở của chúng tôi, học tập trải nghiệm tại các cơ sở phúc lợi, hoạt động tình nguyện và thăm chi đạo tạo máy tính để phát triển các kỹ năng lãnh chính. Chúng tôi hướng đến mục tiêu phát triển nguồn nhân lực có thể đóng góp ngay lập tức cho xã hội.

Bằng cấp có thể nhận

- Huân luyện viên giải trí (Được chứng nhận bởi Hiệp hội giải trí Nhật Bản)
- Ngôn ngữ kỹ hiệu
- Điều phối viên Môi trường Sống Phúc lợi

Việc làm sau khi tốt nghiệp

Viện dưỡng lão đặc biệt dành cho người cao tuổi (Cơ sở chăm sóc điều dưỡng thực chi định dành cho người cao tuổi), Cơ sở chăm sóc điều dưỡng cho người cao tuổi, Cơ sở hỗ trợ cho người khuyết tật, Hội đồng phúc lợi xã hội, Nhân viên điều dưỡng tại các cơ sở y tế, Nhóm Trại chầu, Nhà dưỡng lão có phi, Nhà ở cho người cao tuổi có dịch vụ, v.v.

Bóng chày & Bằng cấp quốc gia

Sinh viên theo học **Khoa Điều dưỡng và Phúc lợi** cũng có thể đăng ký tuyển thủ.

Việc làm nhân viên tương lai

Những sinh viên khác cũng đã tìm được việc làm ở nhiều nơi khác nhau!

Quý Kojumakai General Incorporated NGUYỄN THỦY KIỀU Từ Việt Nam	Quý Kojumakai General Incorporated TRẦN HOÀI THƯƠNG Từ Việt Nam	Công ty TNHH Hakuai MORRIS ANTONIO SAYSON Từ Philippines	Tổng công ty phúc lợi xã hội Hiệp hội phúc lợi Mahoroba Momori Abe Từ nghiệp trường trung học phổ thông Itanjo	Tập đoàn Y khoa Shunkokukai LẠI NHƯ KIẾN Từ Việt Nam
Quý Kojumakai General Incorporated LƯU THỊ TRÀ MY Từ Việt Nam	Công ty Phúc lợi Xã hội Kowakai Chika Aman Trưởng trung học quốc tế Clark Memorial, cơ sở Miyazaki	Công ty Phúc lợi Xã hội Zeinjinkai Yunkari Toi Từ nghiệp trường trung học phổ thông Nichinan Gakuen	Bệnh viện Gamo Kokura của Tập đoàn Y khoa Nanami Oiso Từ nghiệp trường trung học phổ thông Nichinan Gakuen	Xe lăn đến giường Hỗ trợ đi chuyển Chăm sóc y tế
Tổng công ty phúc lợi xã hội tỉnh Miyazaki Chiho Inagaki Đường tại Satou	Công ty TNHH Tập đoàn Minato Mayu Murashita Từ nghiệp trường trung học Dream Memorial, cơ sở Miyazaki	Công ty Phúc lợi Xã hội Zeinjinkai Yuki Kato Từ nghiệp trường trung học phổ thông Itanjo	Công ty Phúc lợi Xã hội Zeinjinkai Yuki Kato Từ nghiệp trường trung học phổ thông Nichinan Gakuen	Chăm sóc y tế Chăm sóc y tế Chăm sóc y tế

Cựu sinh viên đã biến giấc mơ của mình thành hiện thực

Nhờ hai năm học đại học mà tôi mới có được công việc hiện tại và bản thân trở thành như ngày hôm nay.

Hiện nay, chúng tôi cung cấp đào tạo và hỗ trợ cho người dùng đến trung tâm của chúng tôi, bao gồm cả các hoạt động sản xuất và việc làm. Mặc dù có nhiều khía cạnh khó khăn, tôi cảm thấy thật bổ ích vì tôi có thể trực tiếp nhìn thấy sự thay đổi ở khách hàng, chẳng hạn như họ có thể làm mọi việc tốt hơn và đồng lực làm việc hơn, và tôi cảm thấy rằng mỗi ngày đều quá tuyệt vời. Tôi đã học được nhiều điều ở trường và cũng có nhiều sự kiện thú vị, nên tôi đã có khoảng thời gian rất quý giá và bổ ích. Tôi có được như ngày hôm nay là nhờ hai năm học tại trường.

Tổ chức đặc biệt phúc lợi nhân đạo: ONCE IN A LIFE TIME | Kurumi Kai



Một ngày của sinh viên

Chúng tôi xin giới thiệu lịch làm việc hàng ngày của Khoa Điều dưỡng và Phục lợi.

9:00 Đi học	9:10 Giới thiệu 1	10:50 Giới thiệu hai	12:30 Giờ nghỉ trưa	13:15 Giới thiệu thứ ba	14:55 Giới thiệu thứ tư	16:25 Về nhà
----------------	----------------------	-------------------------	------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------

Hãy tham gia lớp học hướng nghiệp của Khoa Điều dưỡng và Phục lợi ngay hôm nay!

Thực hành giảng dạy

Chúng tôi cung cấp những bài học thực tế giống hệt như những bài học trong lĩnh vực phúc lợi.

Xe lăn đến giường	Hỗ trợ đi chuyển	Chăm sóc y tế	Chăm sóc y tế	Hỗ trợ thay quần áo	Hỗ trợ tắm rửa

Giới thiệu cơ sở

Chúng tôi có đầy đủ các thiết bị để sử dụng trong các cơ sở phúc lợi.



11. 介護キャリア教材試作スライド

介護キャリア教材試作 パターンA

1. 導入

これから介護のキャリアについて学習を始めるにあたり、まずは介護という仕事の本質を理解することが欠かせません。介護とは、**高齢者や障害をもつ人々の日常生活を支援しながら、彼らが可能な限り自立した暮らしを続けられるようサポートする仕事**です。学習を通じて、介護の専門性ややりがい、さらに社会的な意義を総合的に理解しましょう。



介護とは？

高齢者や障害をもつ人々の日常生活を支援しながら、彼らが可能な限り自立した暮らしを続けられるようサポートする仕事



2. 「介護」の本質

介護とは、高齢者や障害をもつ方など、日常生活で何らかの支援を必要とする人々に対して、身体的・精神的ケアを提供し、その人の生活の質を向上させるための包括的なサポートを指します。従来の単なる「お世話」や「看護」と異なり、**利用者の暮らし全体を見据え、本人や家族、医療・行政などとも協力し合い、総合的なサポートを実現することが介護の本質**といえます。

具体的な仕事内容

- 食事や排泄、入浴、着替えなどの日常生活動作の援助
- 相手の能力や意欲を最大限に引き出し、自立を促す関わり

介護を行う現場

- 家庭、特別養護老人ホーム、デイサービス、訪問介護など
→多岐にわたるため、個々の状況や希望に応じた柔軟な支援体制が求められる

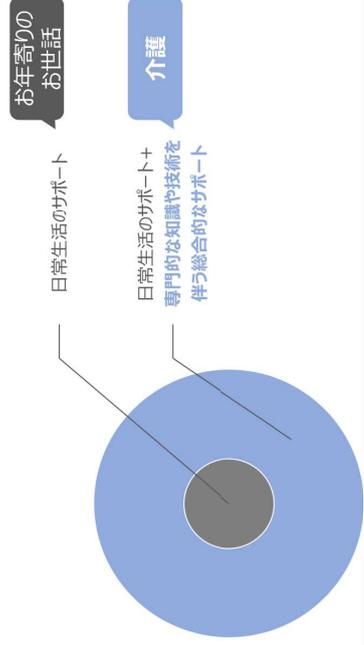
介護の理念・本質

- **利用者の尊厳や個性を尊重し、その人が持つ力をできるだけ維持しながら生活できるように支援することが大切な理念**
- 利用者の暮らし全体を見据え、本人や家族、医療・行政などとも協力し合い、**総合的なサポートを実現**することが介護の本質



3. 「お年寄りのお世話」と「介護」の違い

「お年寄りのお世話」は、家族や身近な人が高齢者の日常生活、たとえば買い物や掃除、食事の準備、通院の付き添いなど、**家事や送迎の延長線上で行うサポートが中心**です。一方で「介護」は、**生活上のお世話にとどまらず、高齢者や障害をもつ方の身体機能や精神状態を総合的に把握し、自立支援や生活の質の向上を目的とする点**が大きく異なります。



4. 「看護」と「介護」との違い

「介護」と「看護」は、どちらも人々の生活や健康を支えるという点では共通していますが、その目的やアプローチに明確な違いがあります。

比較項目	看護	介護
目的	医療行為を通じた治療や回復の補助	生活全般の支援と生活の質の向上
活動の対象	主に病気やケガで治療が必要な患者	日常生活支援が必要な高齢者や障害者
具体的な役割	薬の投与、創傷処置、バイタルサインのチェック	排泄・入浴・移動の身体介助、自立に向けたリハビリ的支援、コミュニケーション促進
主な活動場所	病院、診療所、医療施設	特別養護老人ホーム、訪問介護、自宅
重視する価値観	医療的視点で病気の治療・管理に焦点	利用者の尊厳を尊重し、その人らしい生活を支援
アプローチ	医師の指示に基づく医療行為中心	日常生活のサポート中心



5. 介護福祉士とは何か

介護福祉士とは、介護の専門職として国家資格を有し、高齢者や障害者をもつ方の身体的・精神的なケアを総合的に担うプロフェッショナルを指します。高齢化社会の進行とともにその需要は高まっています。

定義	• 国家資格を有し、高齢者や障害者の身体的・精神的ケアを行う専門職
資格取得要件	• 指定の養成校で学ぶ、または実務経験 + 国家試験合格
必要能力	• 身体介護技術、コミュニケーション技術、倫理観、自立支援知識など
業務内容	• 身体ケア、ケアプラン作成、訓練・調整、認知症対応
活躍の場	• 特別養護老人ホーム、デイサービス、グループホーム、在宅ケア
社会的意義	• 生活の質向上、地域福祉の向上、高齢化社会における需要の増加



1. はじめに

これから介護のキャリアについて勉強を始めようとしている人の中には、「介護はどんな仕事だろう?」とイメージしにくい方もいるかもしれません。介護の仕事は、**高齢の方や障害がある方の日常生活を手伝い、その人ができるだけ自分で生活できるようにサポートする**ことです。これからの学習を通じて、介護の仕事の具体的なイメージをつかんでいきましょう。

介護とは?

高齢の方や障害がある方の日常生活を手伝い、その人ができるだけ自分で生活できるようにサポートする仕事



介護キャリア教材試作 パターンB



2. 「介護」とは何か

介護とは、日常生活で助けが必要な人（たとえば、高齢の方や障害がある方）に対して、食事や排せつ、入浴などを手伝い、その人の生活を支えることです。ただ「お世話」をするだけでなく、できるだけ自分でできることを続けられるようにサポートすることが大切です。

仕事内容

- 身体的なケア：食事や排せつ、入浴など日常生活動作の補助
- 自立支援：できるだけ自分でできることを続けられるようサポート

介護する場所

- 家（在宅）、特別養護老人ホーム、デイサービスなど

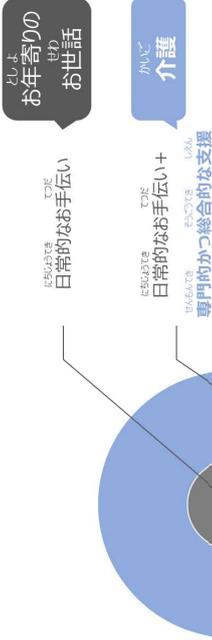
大切な考え方

- 尊厳の尊重：一人ひとりの個性を尊重する
- 思いやり：相手への思いやりをもって日常生活を支える



3. 「お年寄りのお世話」と「介護」との違い

「お年寄りのお世話」とは、家族や身近な人が、高齢の方の日常的なお手伝いをすることです。一方で「介護」は、日常的なお手伝いだけでなく、身体的・精神的なケアを専門に行い、その人が自分らしく生活できるように支援することをいいます。



日常のお手伝い

日常のお手伝い +
専門的かつ総合的な支援

お年寄りのお世話

介護



4. 「看護」と「介護」との違い

「介護」と「看護」は、どちらも人の健康や生活をサポートすることですが、それぞれ役割が少し違います。

比較項目

- 看護：病気を治す
- 介護：生活を支える、生活の質を高める

目的

- 看護：薬をあげる、血圧や体温を測る、傷の処置をする
- 介護：排せつや入浴、着がえの手伝い、認知症ケア

主な内容

- 看護：病院、診療所など医療の現場
- 介護：家、自宅介護、特養、デイサービス

主な活動場所

- 看護：病院、診療所など医療の現場
- 介護：家、自宅介護、特養、デイサービス

中心の考え方

- 看護：治療、回復が目的
- 介護：自立支援、生活の質向上

5. 介護福祉士とは何か

介護福祉士は、高齢者や障害のある方の介護を専門的に行うための国家資格をもつ人です。介護福祉士になるには、専門の学校で学んだり、一定の実務経験をつんだりしたあと、国家試験に合格する必要があります。高齢化が進む社会で、介護福祉士はますます必要とされる存在となっています。

定義

- 高齢者や障害のある人を介護する国家資格をもつ人

資格取得要件

- 専門の学校で学ぶか、または実務経験+国家試験

仕事の内容

- 身体介護、相談・調整、他の職種との連携、認知症ケア

働く場所

- 特別養護老人ホーム、デイサービス、グループホーム、在宅ケア

社会での役割

- 高齢化社会で福祉を支え、安定的な生活をつくる



介護キャリア教材試作 パターンC

1. はじめに

介護の仕事

高齢の方や障害がある方の日常生活を手伝い、その人ができるだけ自分で行えるようにサポートする仕事



この授業の目的

介護の仕事の説明する動画を見て、仕事の内容やその大切さを知ること



2. 「介護」とは何か

お世話をすること

日常生活で助けが必要な人に対して、食事や入浴、排せつなどのサポートをすること

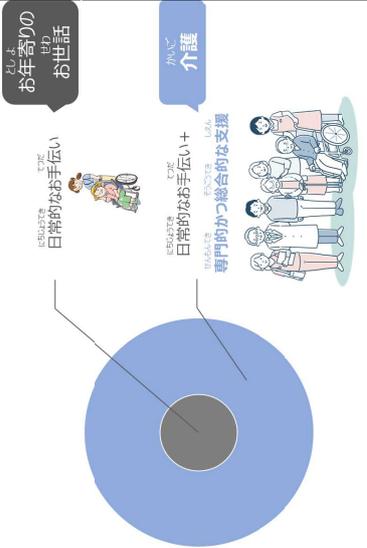


自立をサポートすること

その人の身体や気持ちが大切にしながら自立をサポートする。たとえば、歩くことができない人には、手を貸しすぎず、できるだけ自分で歩いてもらう



3. 「お年寄りのお世話」と「介護」の違い





4. 「看護」と「介護」との違い

看護	介護
目的 病氣やケガを治す 血圧や体温を測る、注射や傷の処置をする	目的 生活を支える、生活の質を高める 排泄や入浴、食事の介助



5. 介護福祉士とは何か

- どんな人？**
 - 介護のプロとして国家資格をもつ人
- どやってなるの？**
 - 試験に合格、学校で勉強
- どんな仕事？**
 - 身体介助、利用者や家族の相談にのる、他の職種との連携
- どんな役割？**
 - 高齢化社会で福祉を支え、安心してくらせるようにする



令和 6 年度 文部科学省
「専修学校の国際化推進事業」
九州地域での留学生受入強化および
就職・定着促進のための体制モデル構築事業
『成果報告書』

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、学校法人九州総合学院が実施した令和 6 年度「専修学校の国際化推進事業」の成果をとりまとめたものです。

発 行：令和 7 年 3 月

発行者：学校法人九州総合学院

〒860-0816 熊本県熊本市中央区本荘町 6 5 7

TEL 096-366-3862